

平成 26 年度 環境に関する市民意識調査

平成 26 年 9 月
横浜市

目次

調査概要	1
調査結果	2

■設問一覧

Q1. 横浜の環境の現状についてどのように感じているか	2
Q2. 横浜の環境は10年前と比べてどのようになったと感じているか	3
Q3. 市内の環境に関する満足度	3
Q4. 環境行動の実践状況	9
Q5. 環境に対する関心や行動	17
Q6. 関心のある環境問題や環境活動	18
Q7. 環境行動を実践するうえで難しい点、行動できない、行動しない理由	18
Q8. 環境に配慮した行動の後押しとなるもの	19
Q9. 東日本大震災の直後と現在を比較して、日常生活における省エネの取組状況	20
Q10. 環境の保全と生活の便利さ・快適さについて考えに最も近いもの	20
Q11. 環境の保全と家計の負担について考えに最も近いもの	21
Q12. 地域の環境活動に参加したいと思うか	22
Q13. どのような活動や取組に参加したことがあるか、参加したいと思うか	23
Q14. どのような形態の活動に参加したことがあるか、参加したいと思うか	24
Q15. どのような機会等があれば地域の環境活動に参加するか	25
Q16. 地域の環境活動に参加しない、あるいは参加できない理由	26
Q17. 環境問題や環境活動に関して、必要な情報は得られているか	26
Q18. 環境の情報を得る主な手段は何か	27
Q19. 横浜市環境創造局で、情報を発信するためにツイッターを利用していることの認知	27
Q20. 家庭でのCO2排出削減・省エネ行動を進める補助ツールの認知	28
Q21. 風力発電所(ハマウイング)の認知	30
Q22. 生物多様性という言葉を知っているか	30
Q23. 近年、生物多様性の危機が問題として挙げられているが、身近な問題と思うか	31
Q24. 「ヨコハマbプラン」について、特に必要と思うもの	31
Q25. 身近に緑を感じられる環境があるか	32
Q26. 公園や森林、水辺の広場など身近な自然環境に足を運ぶ頻度	32
Q27. 緑との関わりや活動について、行っていること、今後行ってみたいこと	33
Q28. 都市部に緑や水辺が多くないことについて優先的に必要なこと	40
Q29. 横浜市が住宅用雨水浸透ますの設置に補助金制度を設けていることの認知	41
Q30. 横浜産の農産物を購入したことがあるか	42
Q31. 農産物直売所やその他の場所で横浜産農産物を購入しようと思う理由	42
Q32. 市民利用型農園で農作業を体験してみたいと思うか	43
Q33. 市の環境に関する取組	44
Q34. 今後、横浜市に優先的に取り組んで欲しい事項	53
Q35. 災害対策として優先的に取り組むべきこと	54
性別	55
年代	55
居住地区	56
職業	56

■調査概要

1 調査目的

今後の環境行政における施設立案の基礎資料として活用するため、市民の環境に関する意識や市政に対する満足度、要望等を把握することを目的とする。

2 調査地域

横浜市在住者

3 調査対象者

対象者条件：20歳以上の男女

「平成25年中の人口動態と平成26年1月1日現在の年齢別人口」より、
人口構成比に基づき、性・年代別に割付け

対象者数：1,000人

(人)

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	78	101	107	78	142	506
女性	71	96	100	74	153	494
合計	149	197	207	152	295	1,000

※グラフ中の地域の分けは、以下のとおり。

地域 東部（鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区）

西部（保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区）

南部（港南区、磯子区、金沢区、栄区）

北部（港北区、緑区、青葉区、都筑区）

4 調査方法

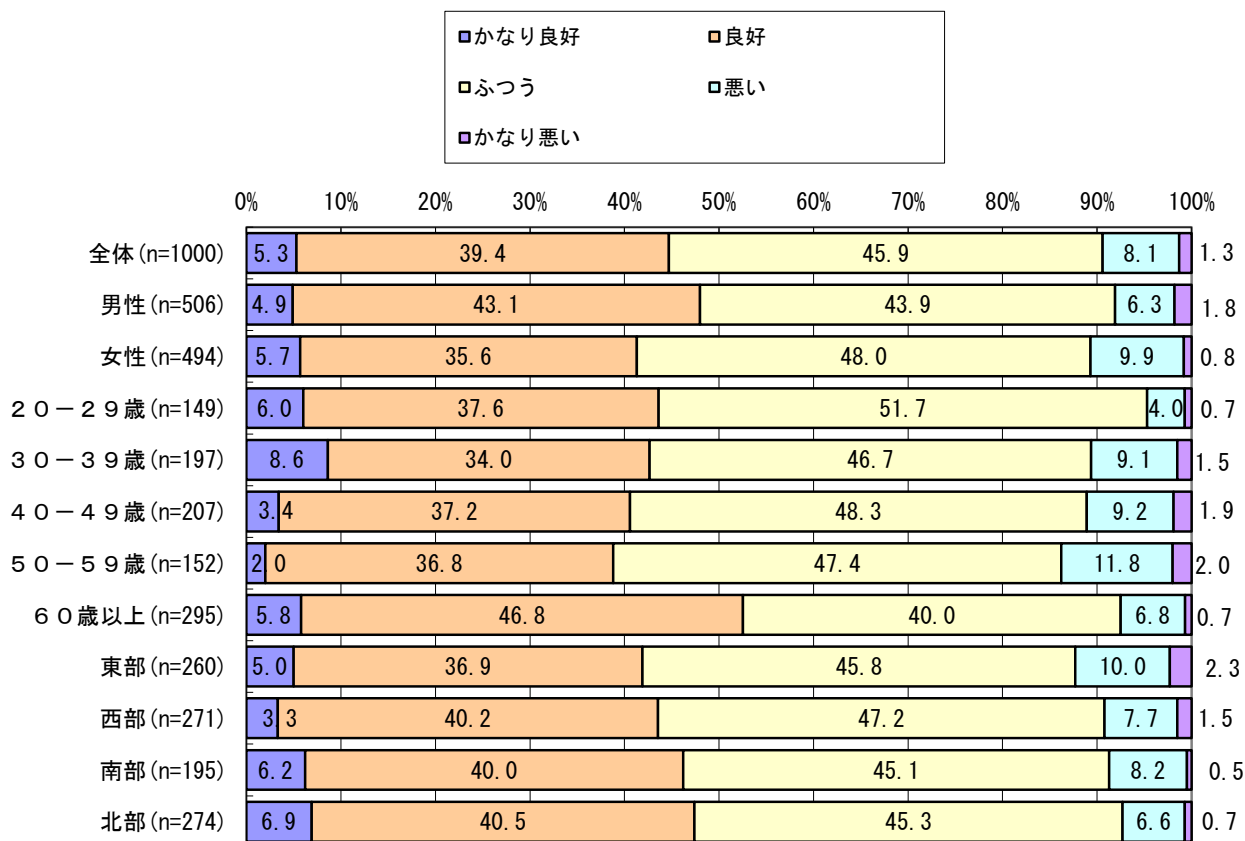
インターネット調査（登録モニターによるWEB調査）

5 実施時期

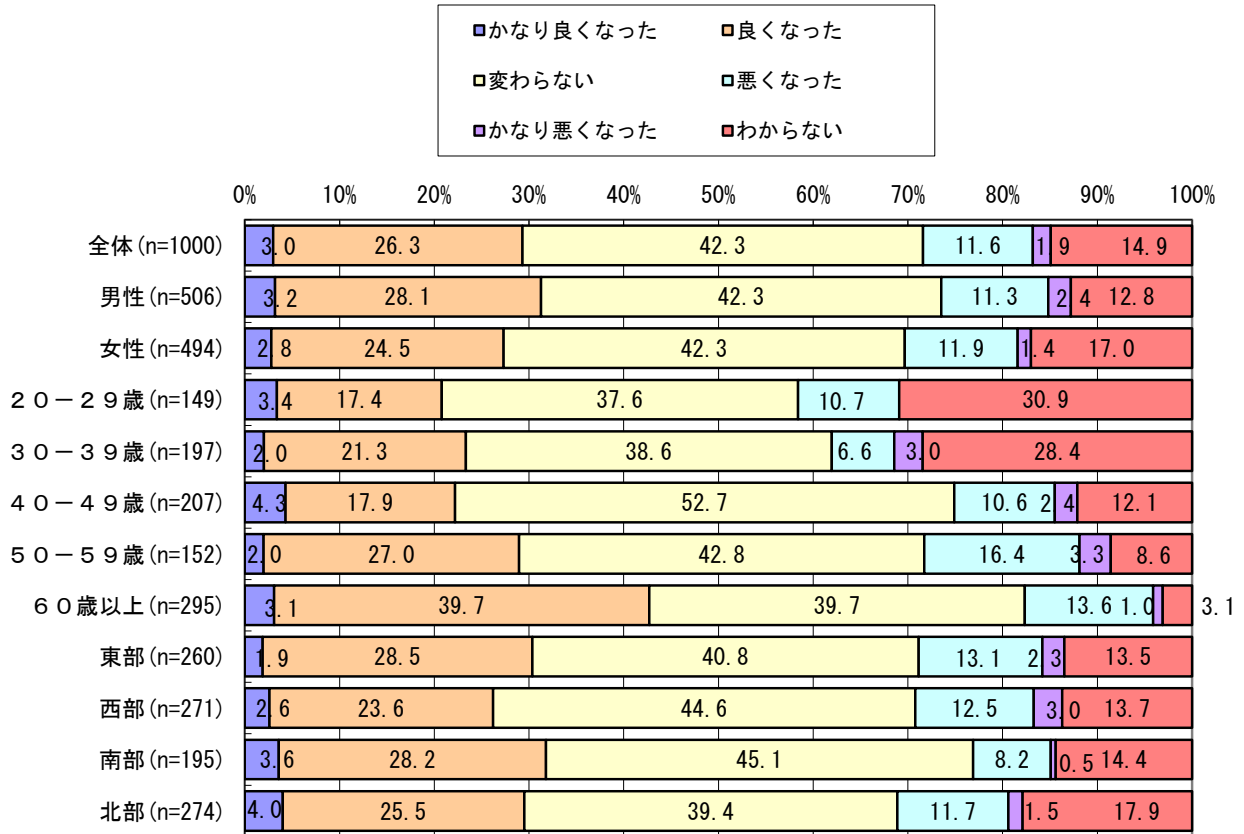
平成26年8月7日（木）～8月13日（水）

■ 調査結果

Q1. 横浜の環境の現状について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

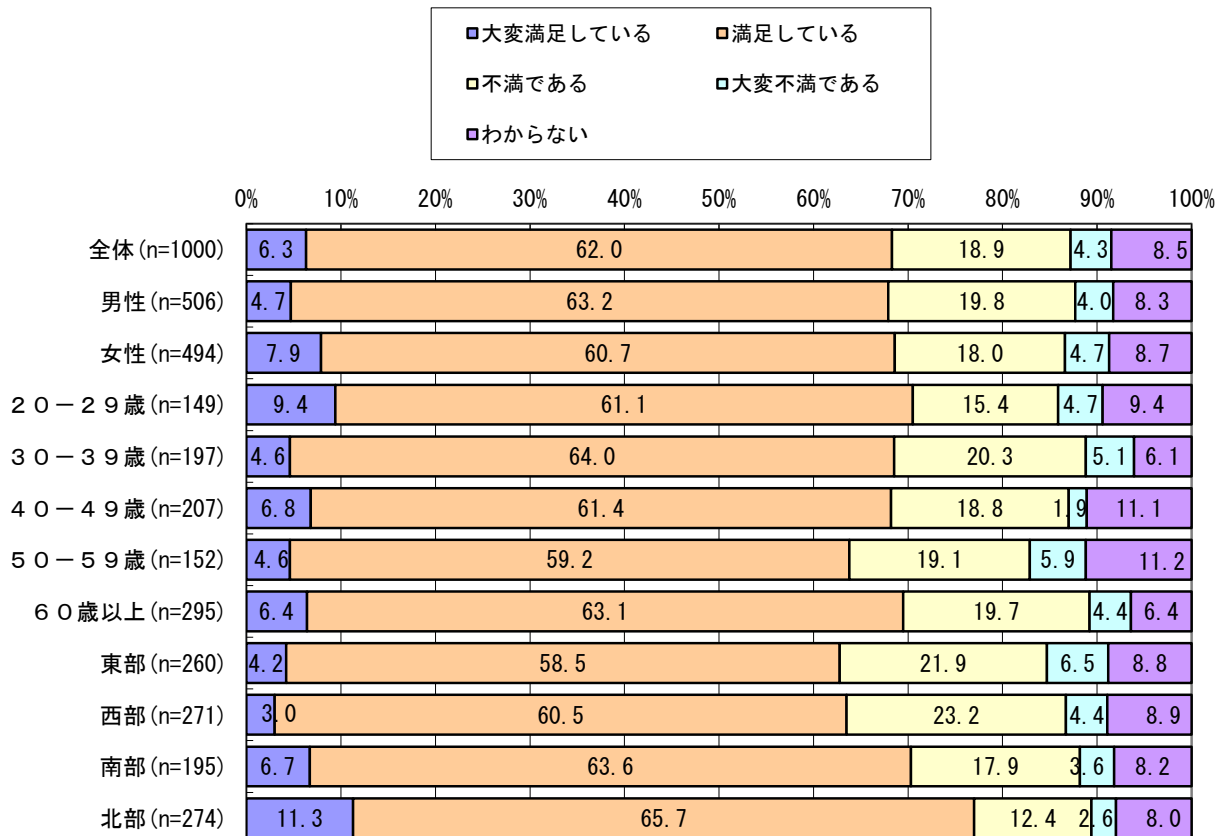


Q2. 横浜の環境は10年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

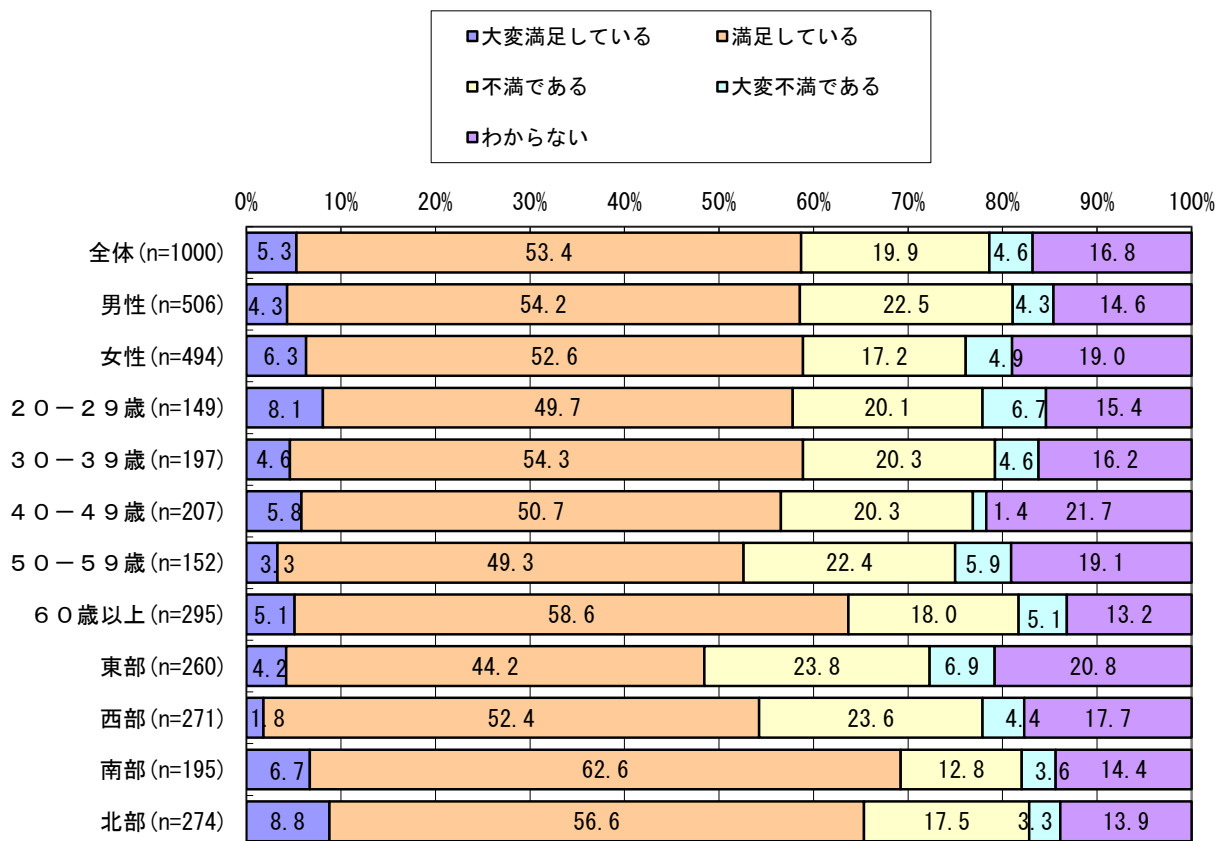


Q3. 横浜市内の、次の1~11について、どのように感じていますか。項目ごとに、最も近いものを1つお選びください。

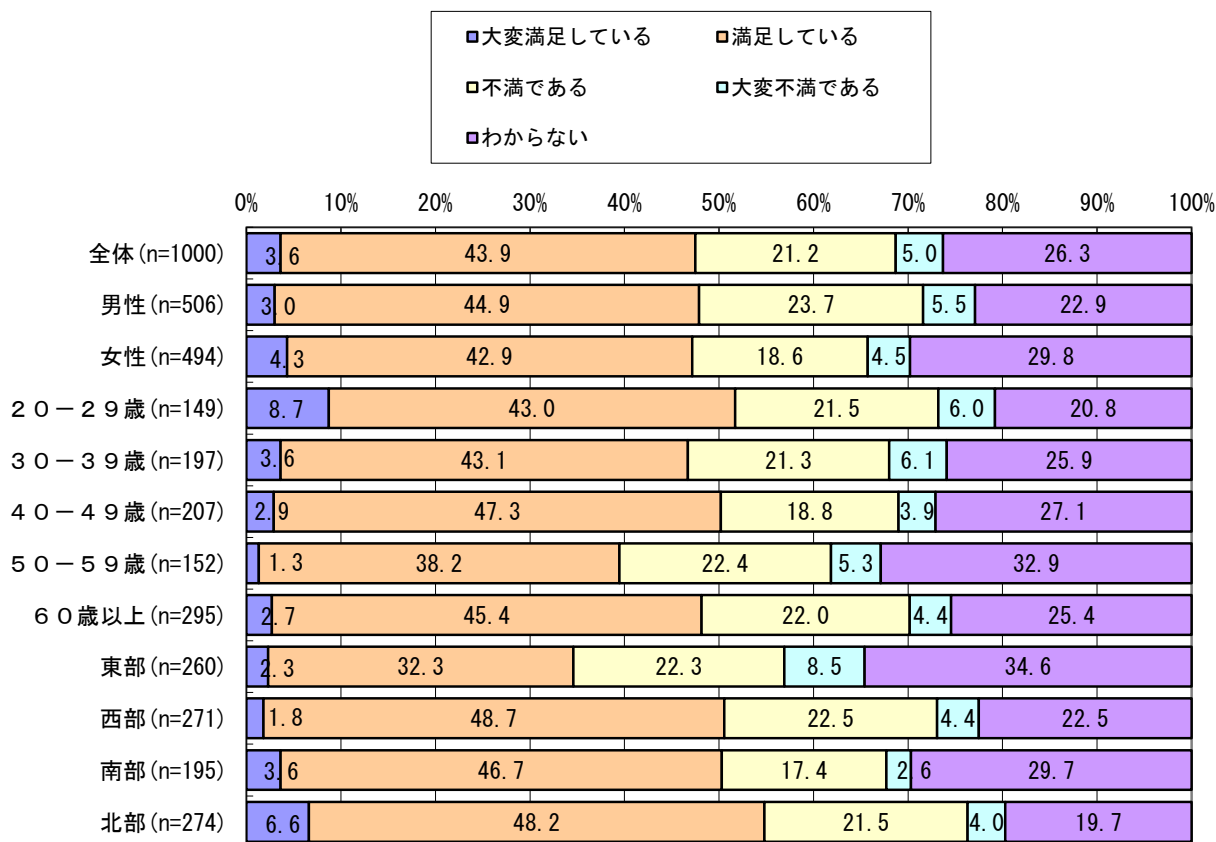
1. 公園や街路樹などの緑



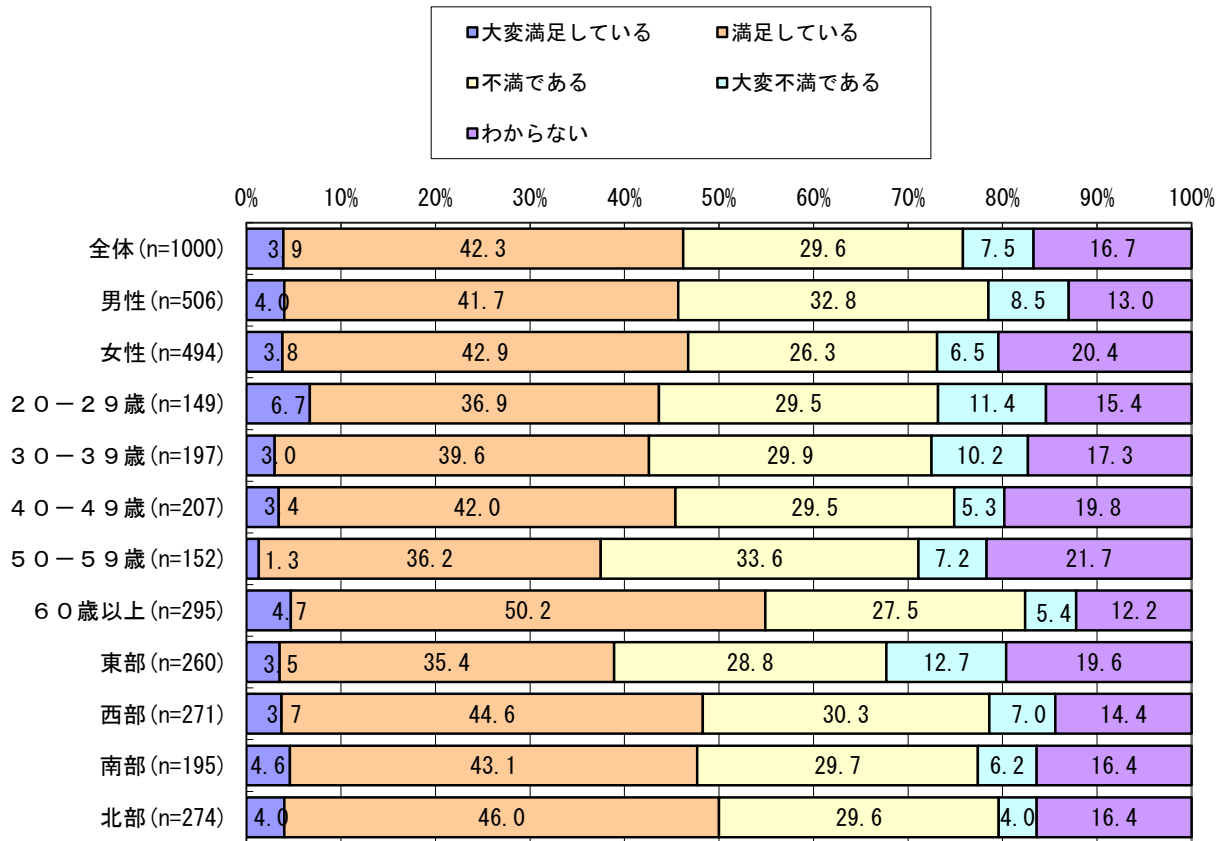
2. 里山や森林などの緑



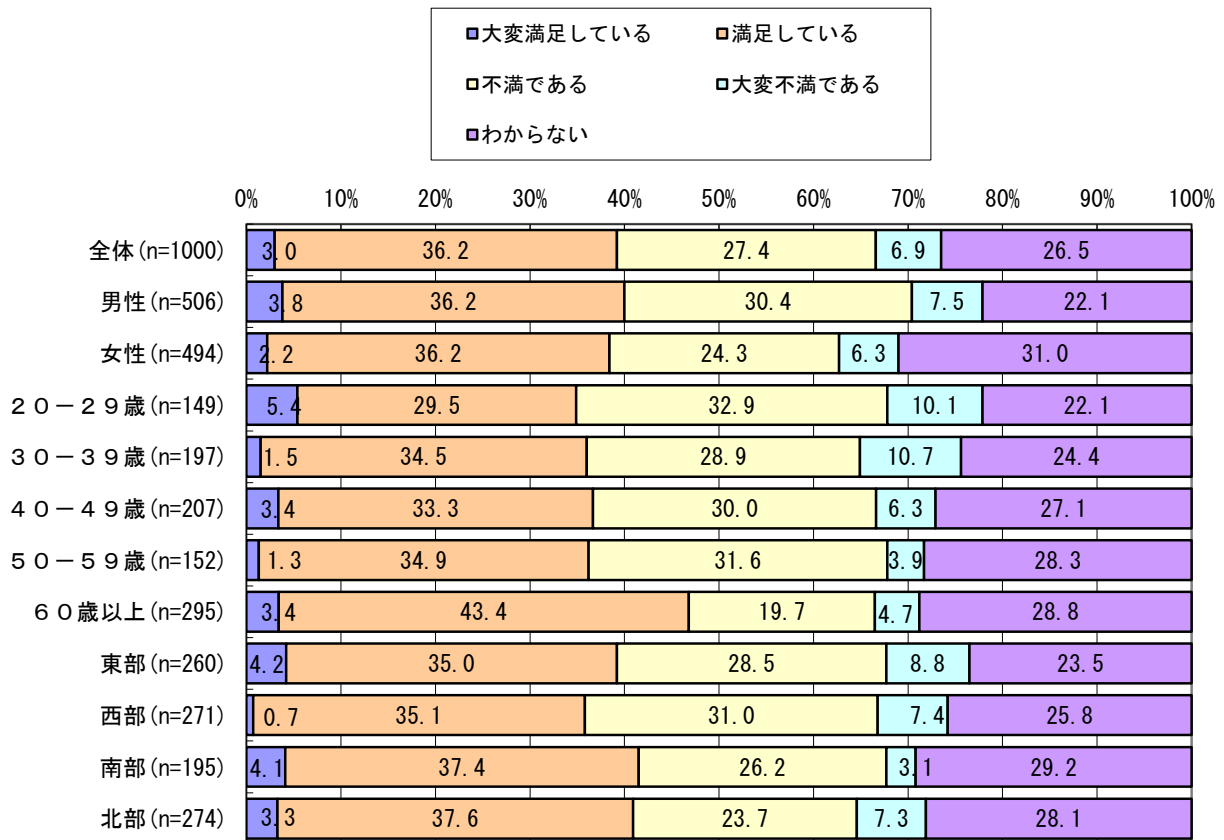
3. 農地等の緑



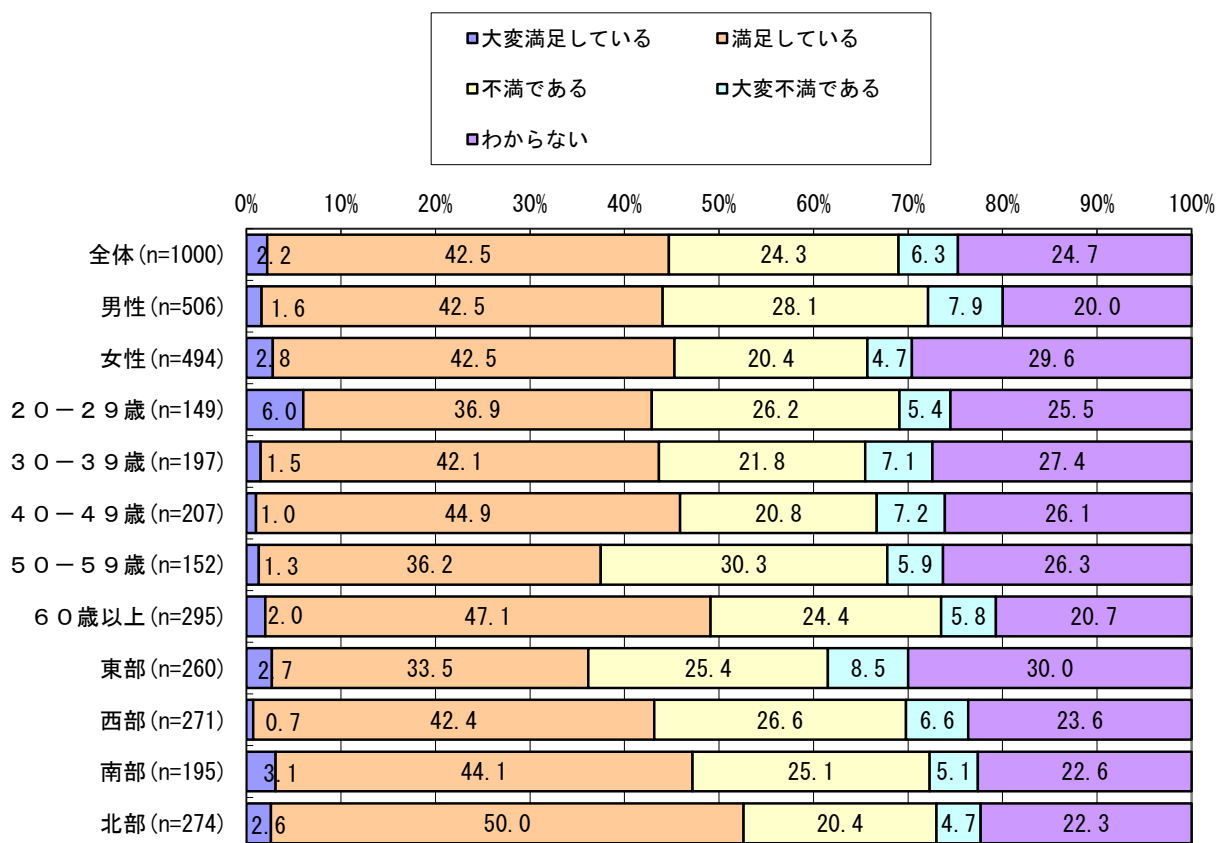
4. 河川や池などの水辺



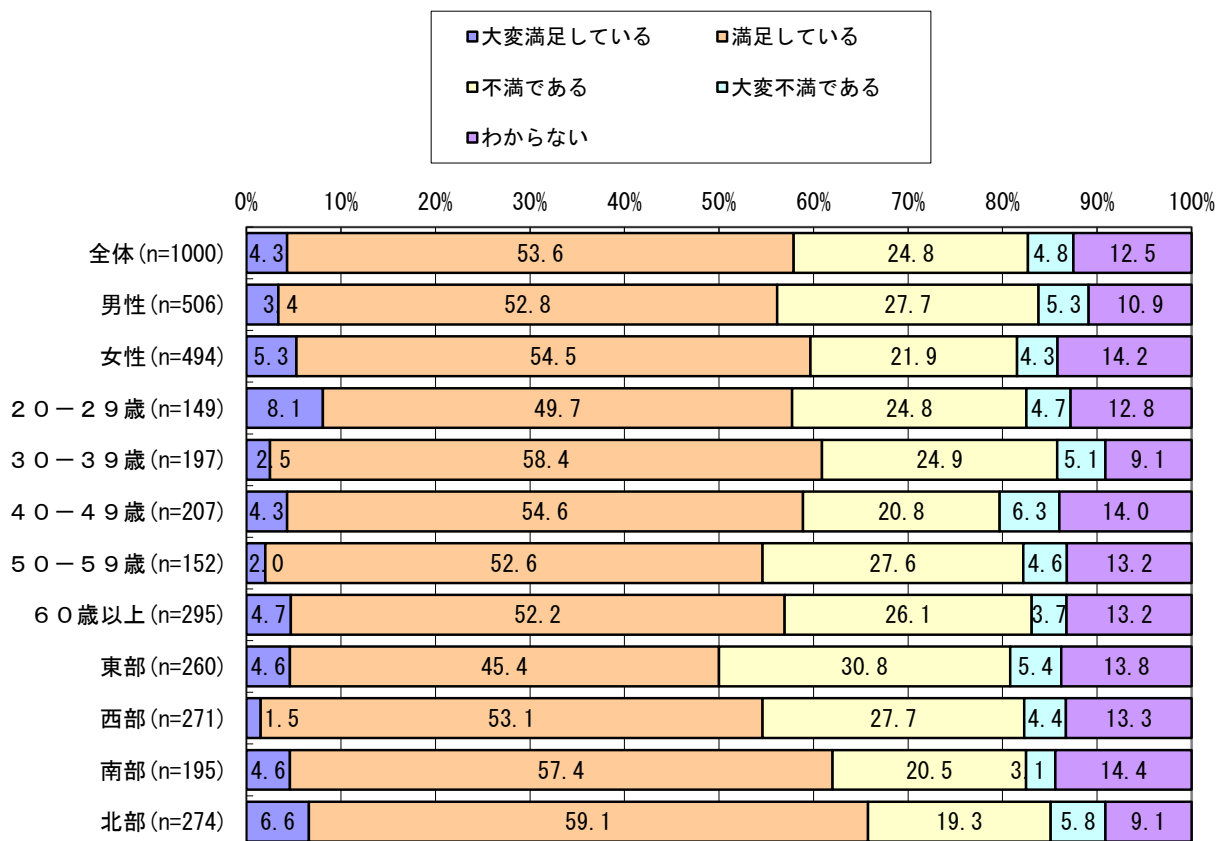
5. 横浜港の水質の状況



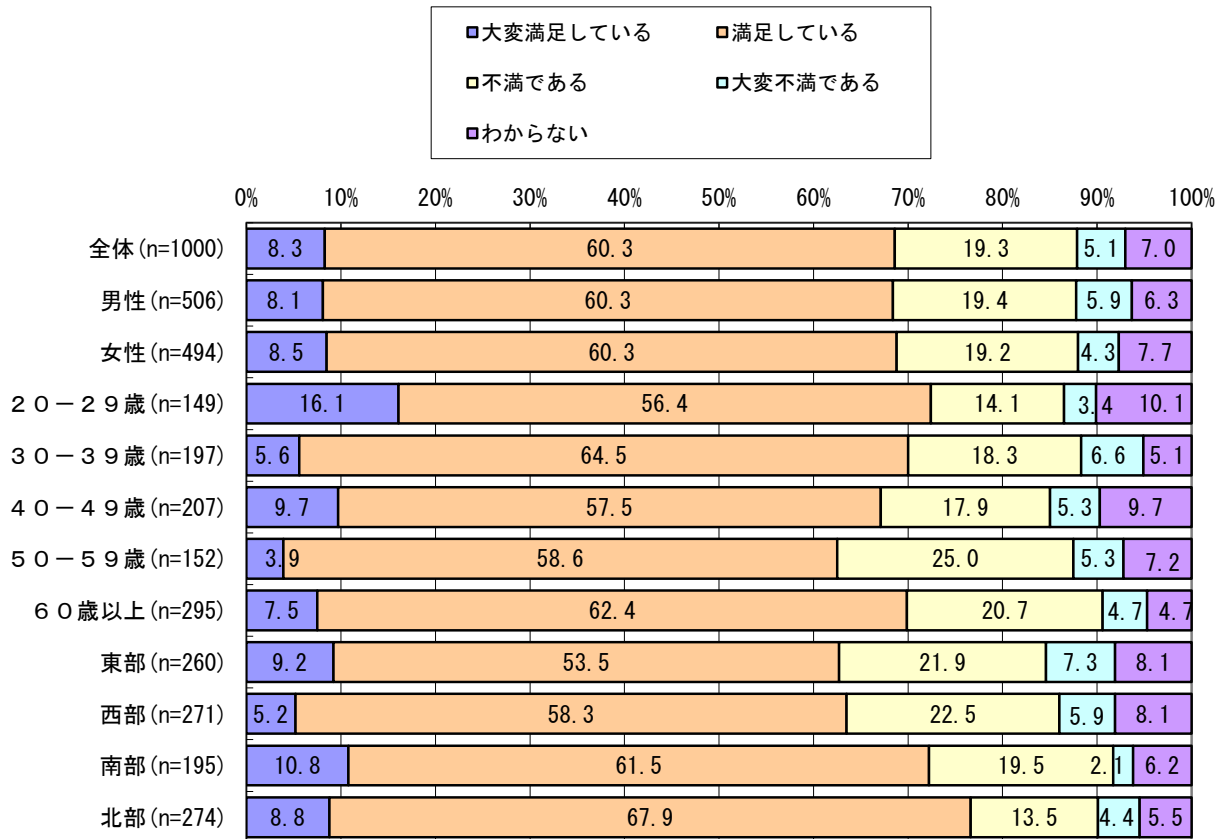
6. 昆虫や魚、鳥などの自然の中の生き物の状況



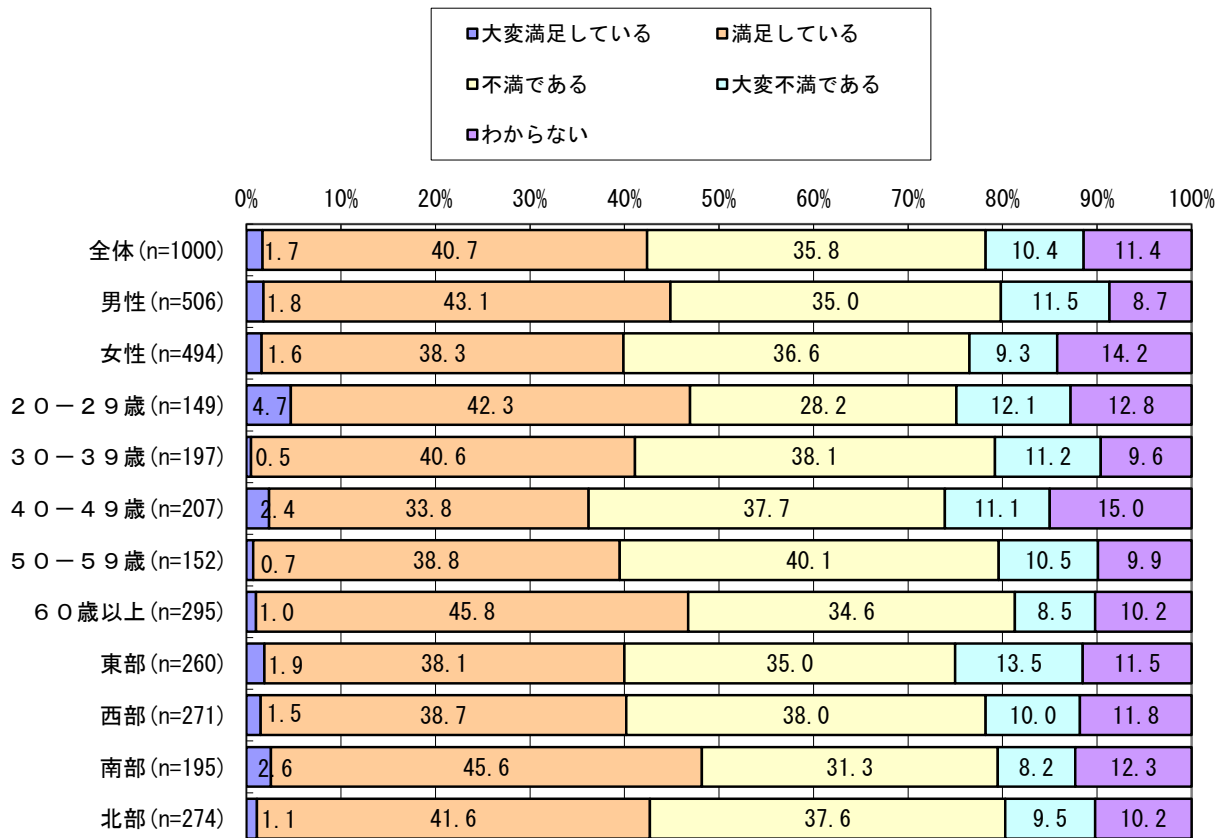
7. 市街化と自然とのバランス



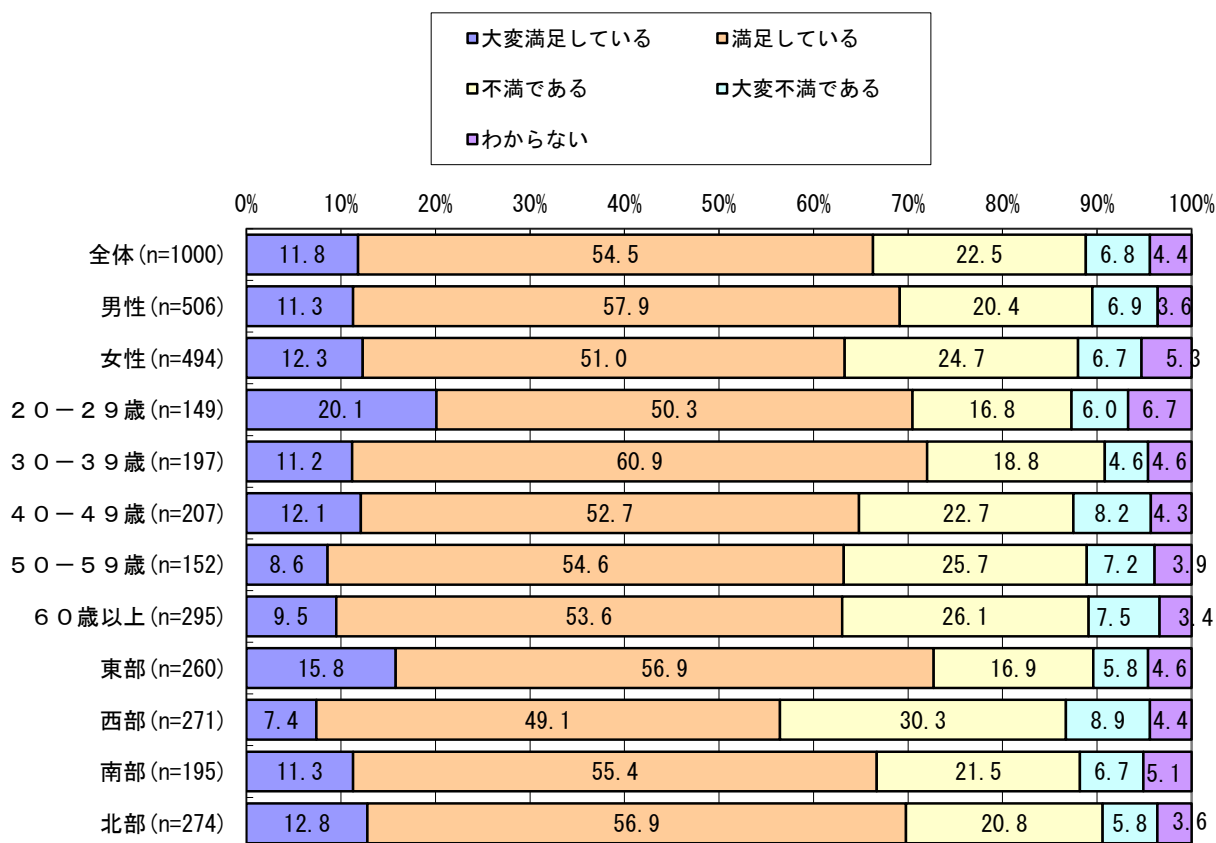
8. 街並み、景観



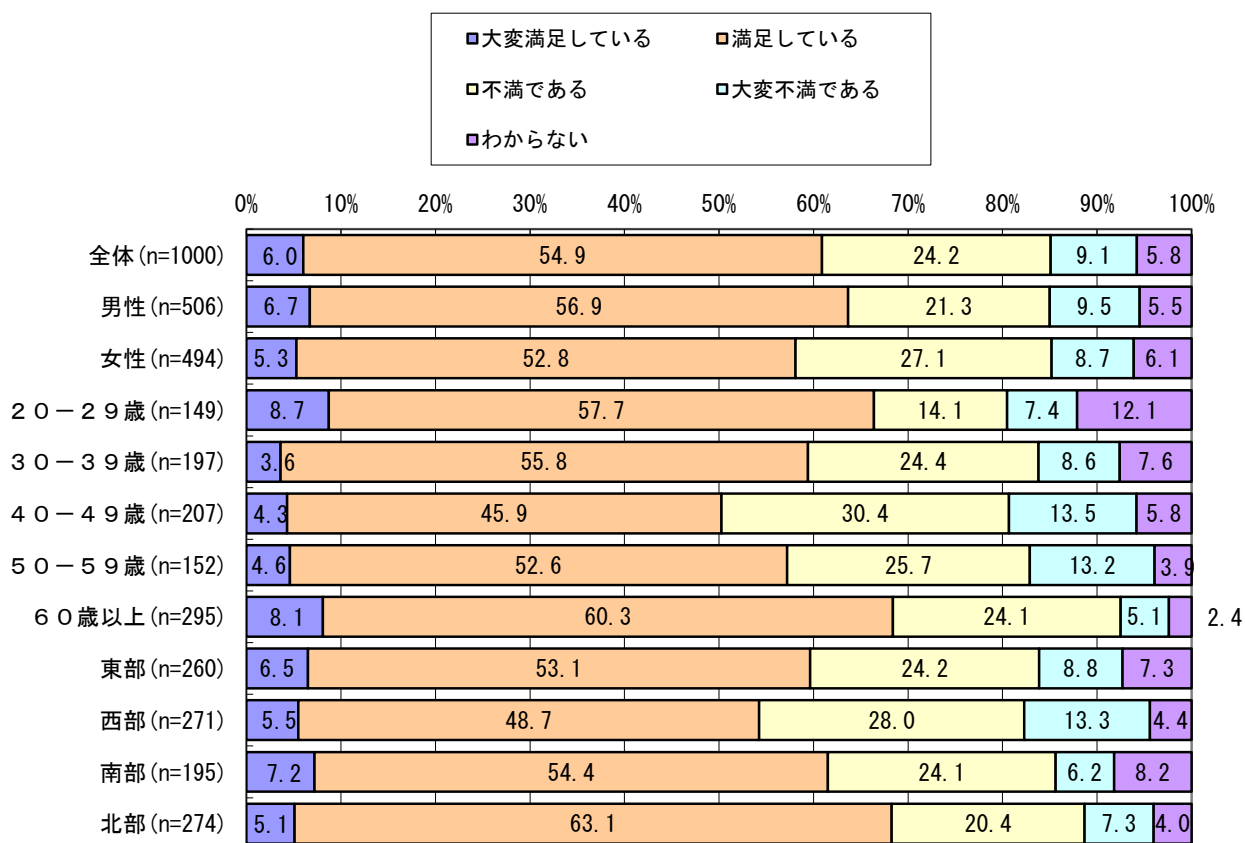
9. 大気や騒音・振動などの状況 (生活環境の状況)



10. 鉄道やバスなど、公共交通の使いやすさ

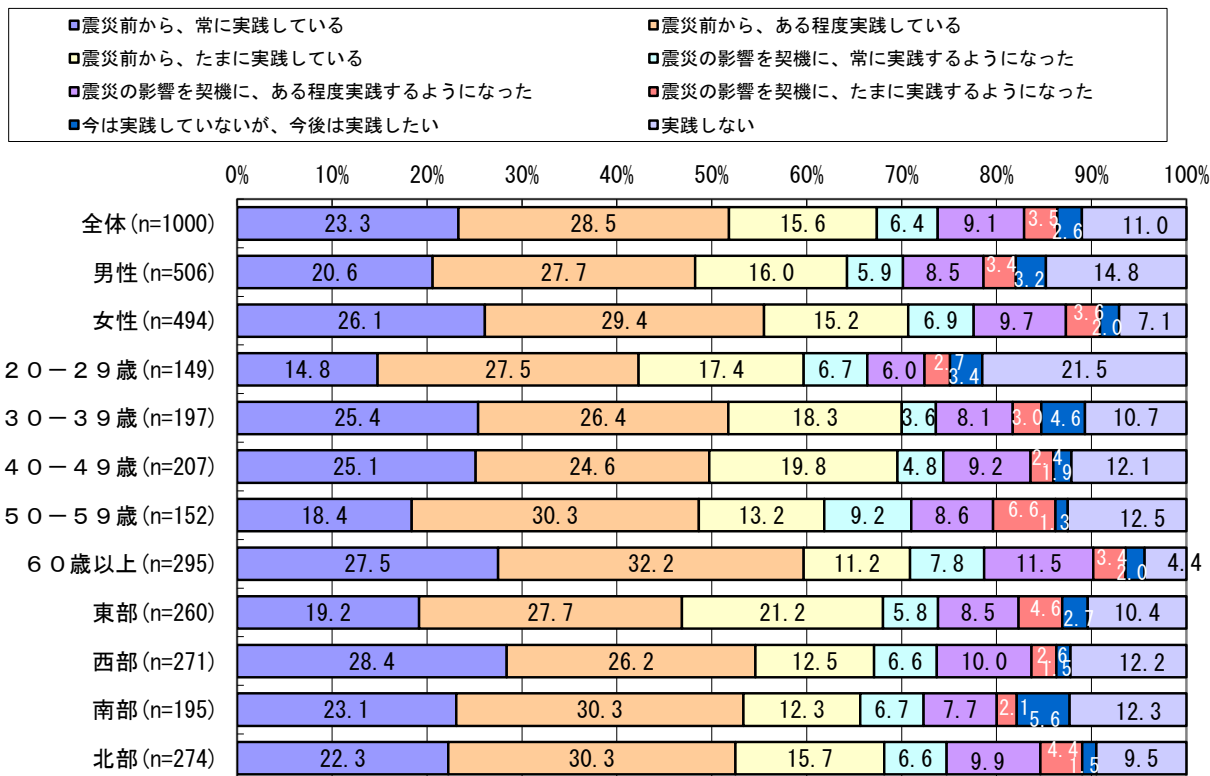


11. ごみ処理 (資源回収や分別収集など) の状況

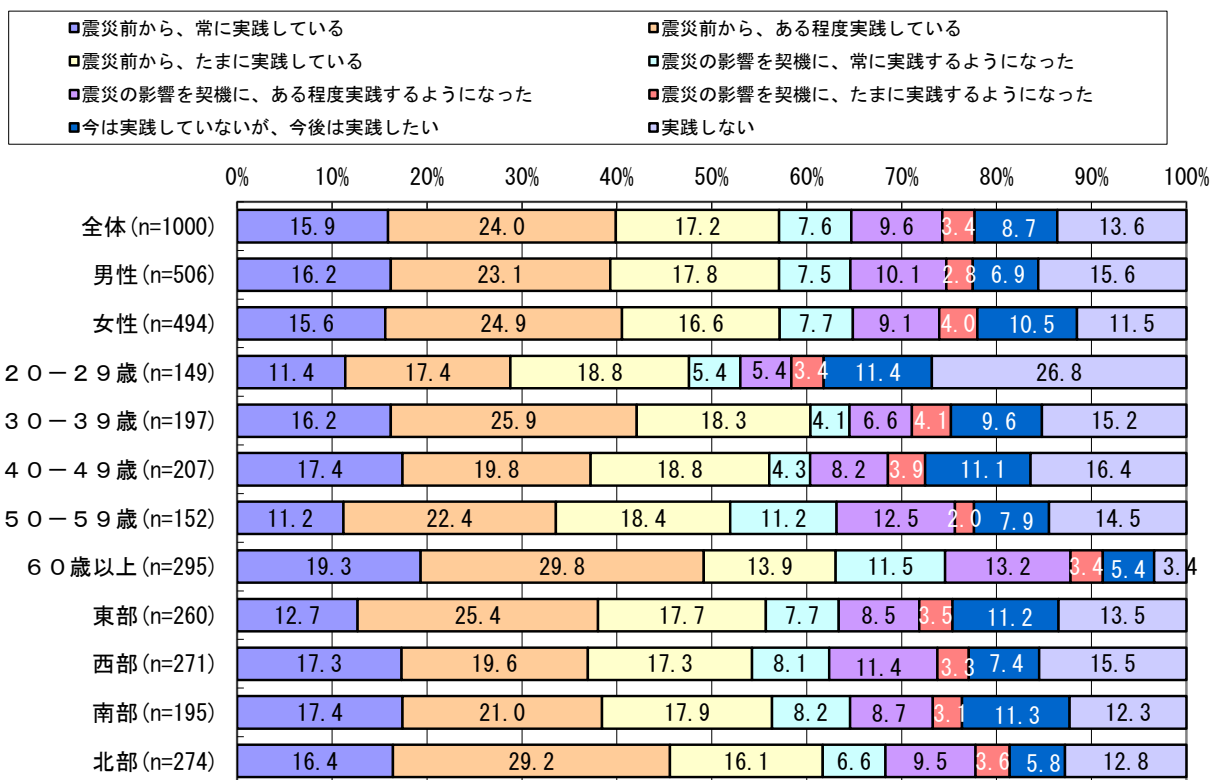


Q4. 環境にやさしい生活をするために、実践していること（環境行動）はありますか。また、東日本大震災の前と比較して、日常生活において意識や行動に変化はありましたか。項目ごとに、最も近いものを1つお選びください。

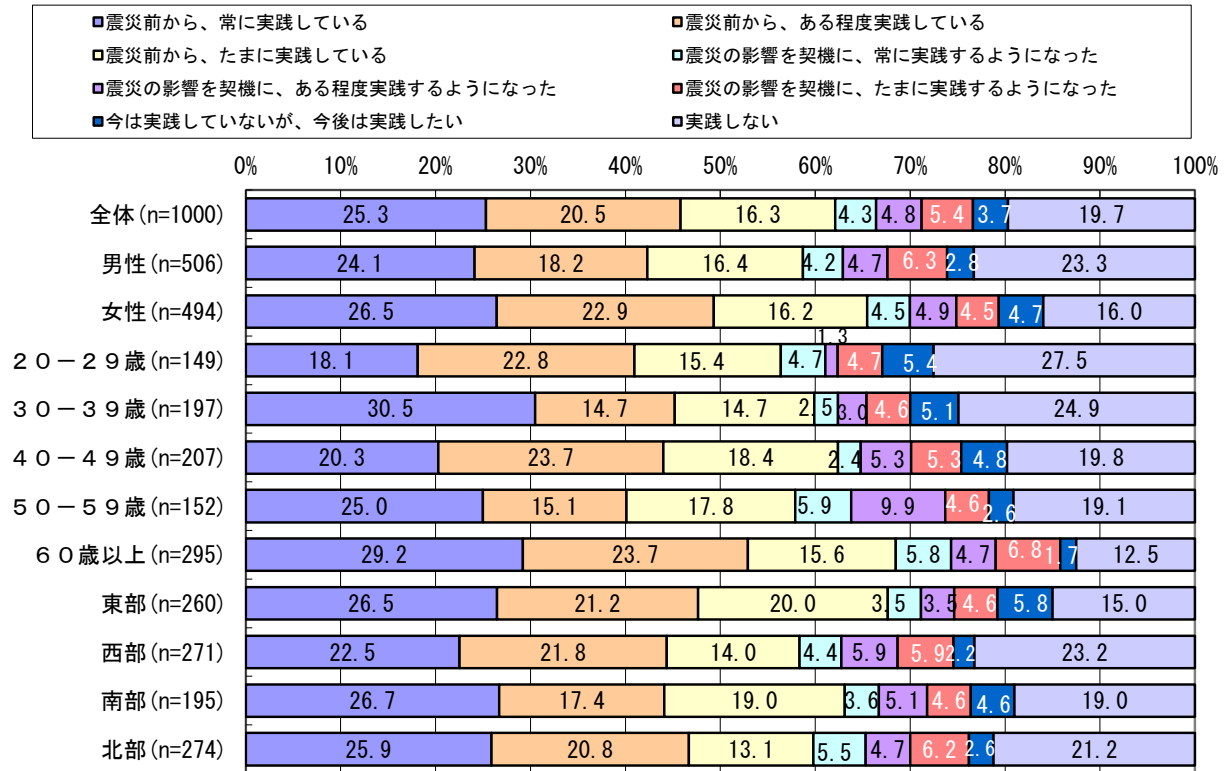
1. 家庭で省エネルールをつくり、電気やガス、水のムダづかいに気をつける（こまめにコンセントを抜く、冷暖房の適切な温度設定など）



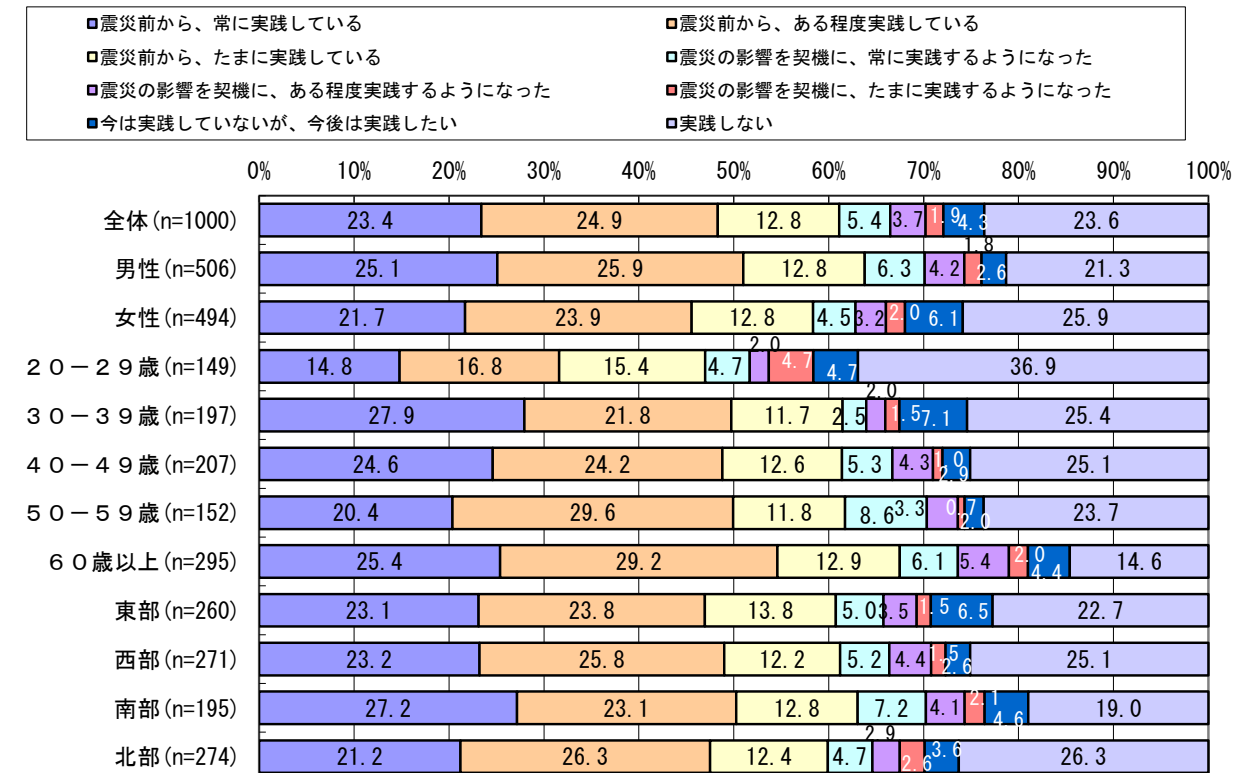
2. エネルギー効率のよい製品等を選択して購入する（買い替え時に省エネ型家電製品を選択するなど）



3. 自家用車の利用を減らし、公共交通機関の利用や徒歩や自転車での移動を増やす

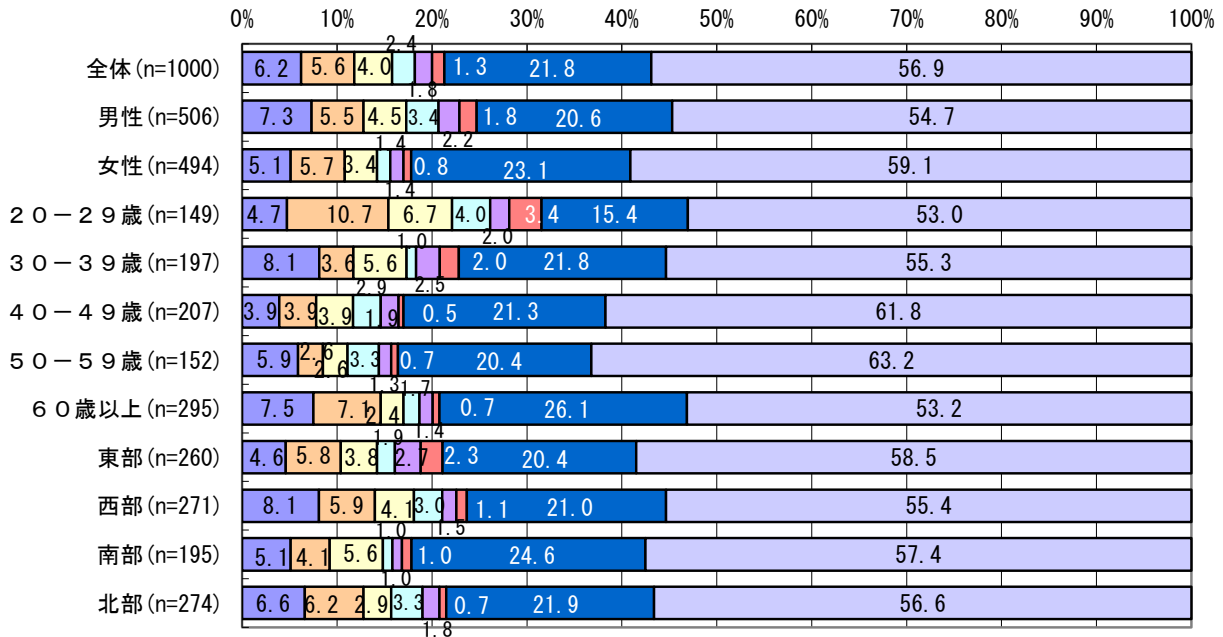


4. 車に乗るときは、エコドライブ（急発進、急加速を避けるなど環境に配慮した運転）に気をつける



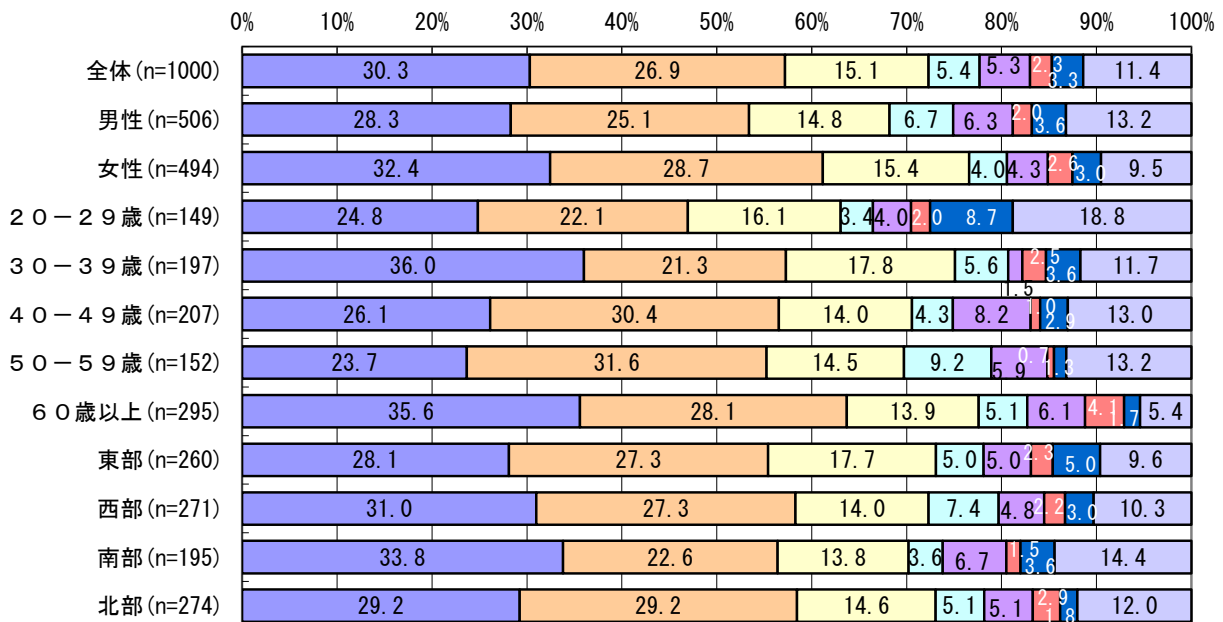
5. 太陽熱やヒートポンプ技術を利用した給湯設備、太陽光を利用した発電設備などを自宅に設置する

- 震災前から、常々実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災の影響を契機に、常々実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない

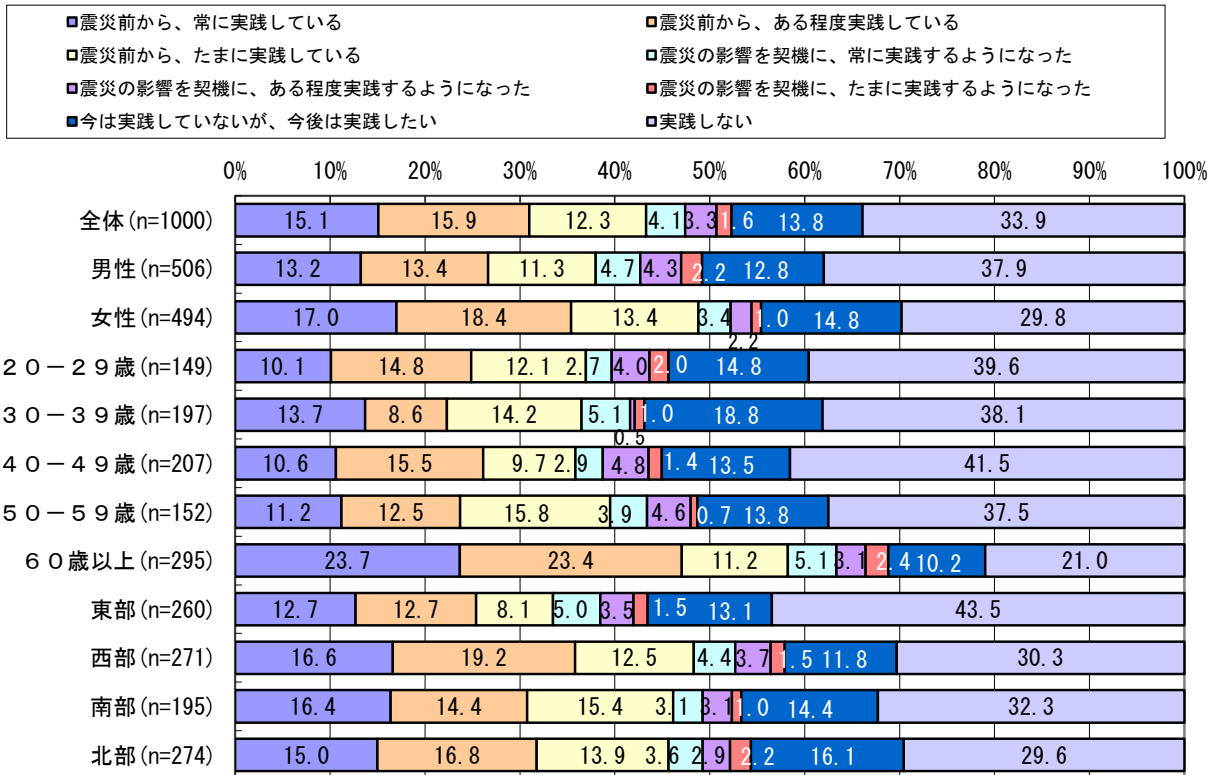


6. クールビズやウォームビズなど、適温冷房・適温暖房にあわせた服装を選択する

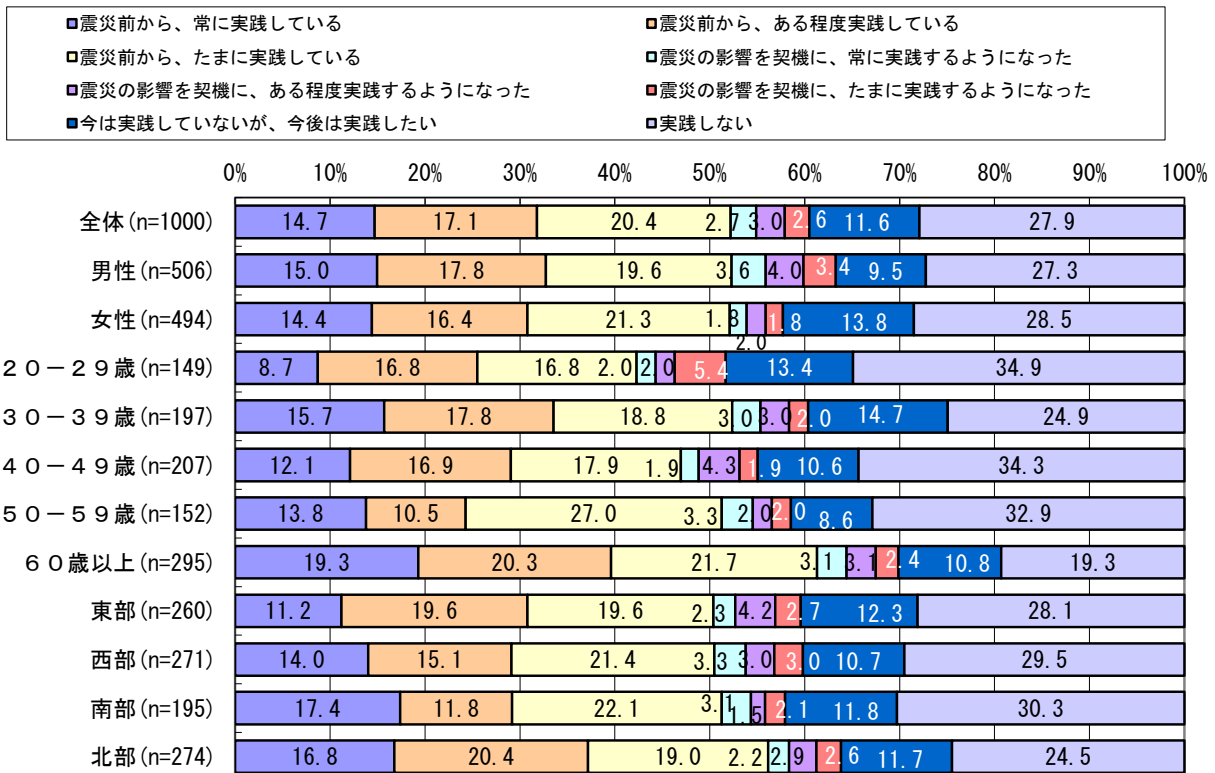
- 震災前から、常々実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災の影響を契機に、常々実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない



7. 緑のカーテンを取り入れたり、生け垣や庭、ベランダなどで緑を育てている

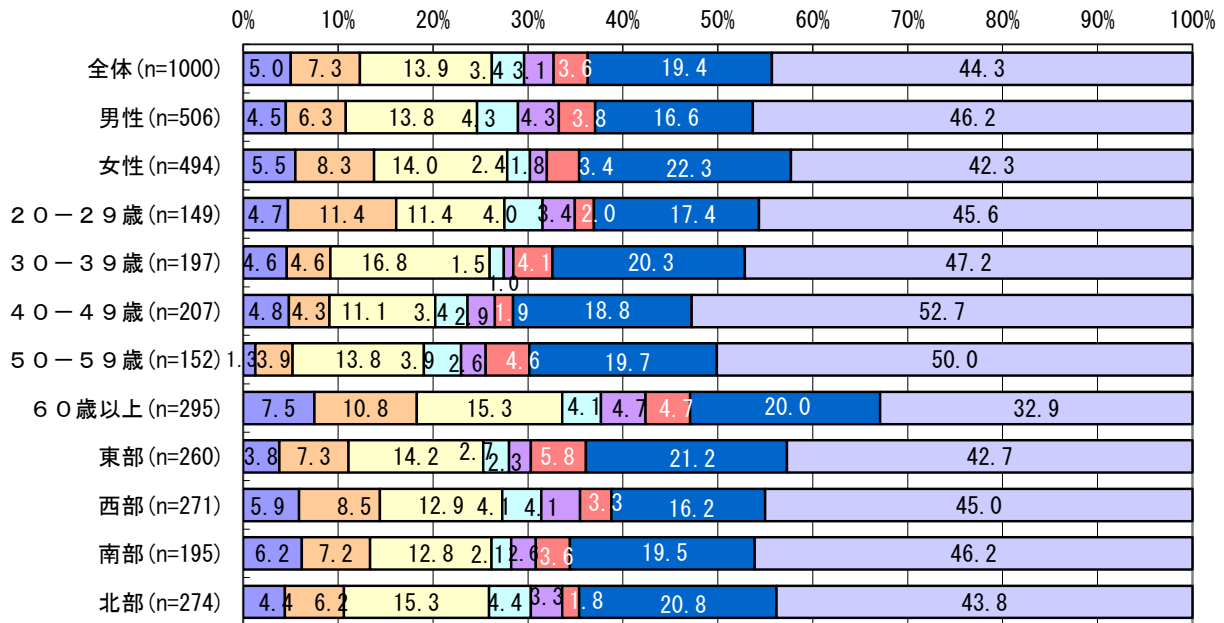


8. 近くの川や公園・森や里山などに出かけ自然環境に触れ合う



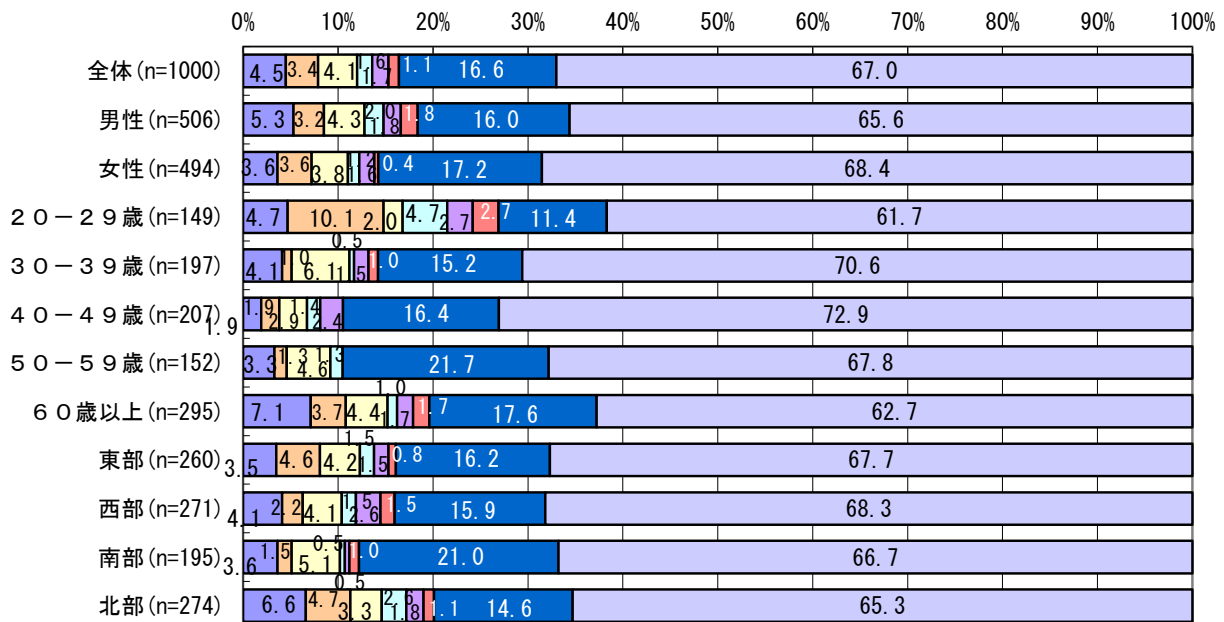
9. 水辺や緑の保全と創造のための募金などに応じる

- 震災前から、常々実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災の影響を契機に、常々実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない



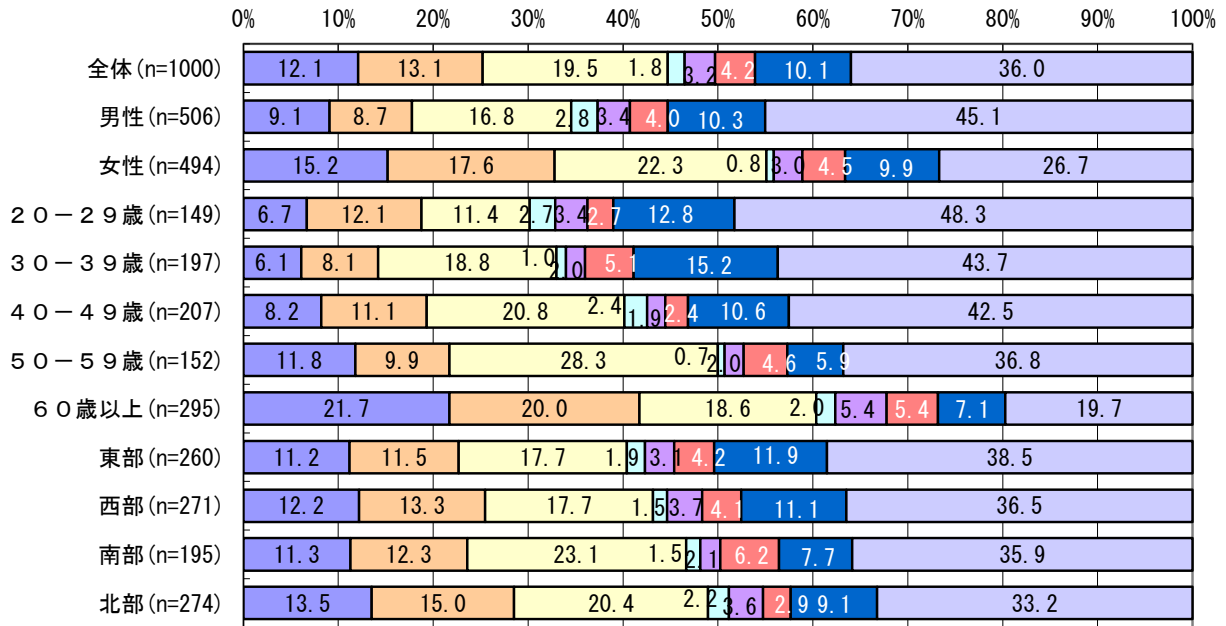
10. 雨水浸透ますや雨水貯留タンクを設置する

- 震災前から、常々実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災の影響を契機に、常々実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない



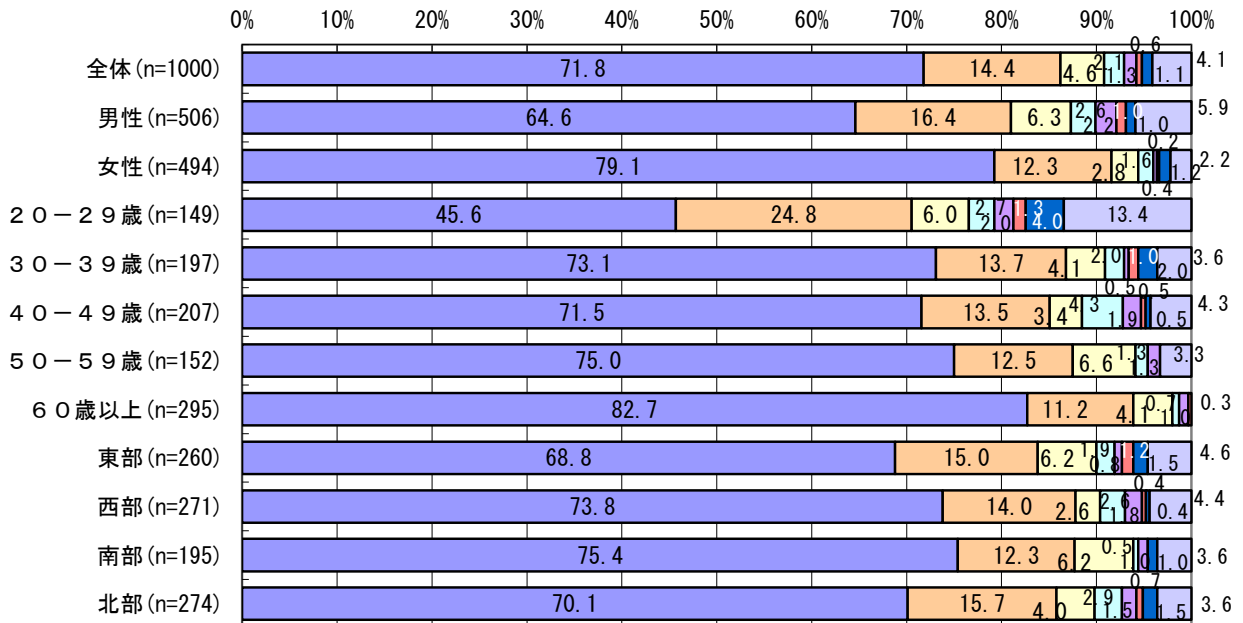
11. 横浜産の野菜や果物を選んで買う

- 震災前から、常々実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災の影響を契機に、常々実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない



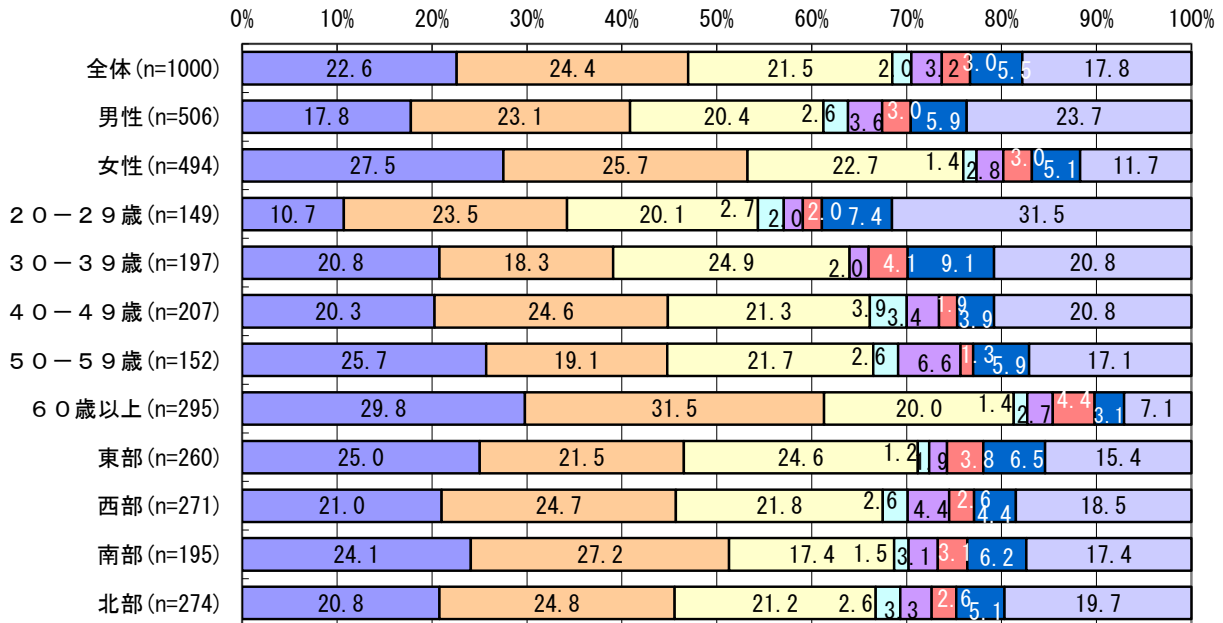
12. ごみは分別して出す

- 震災前から、常々実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災の影響を契機に、常々実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない



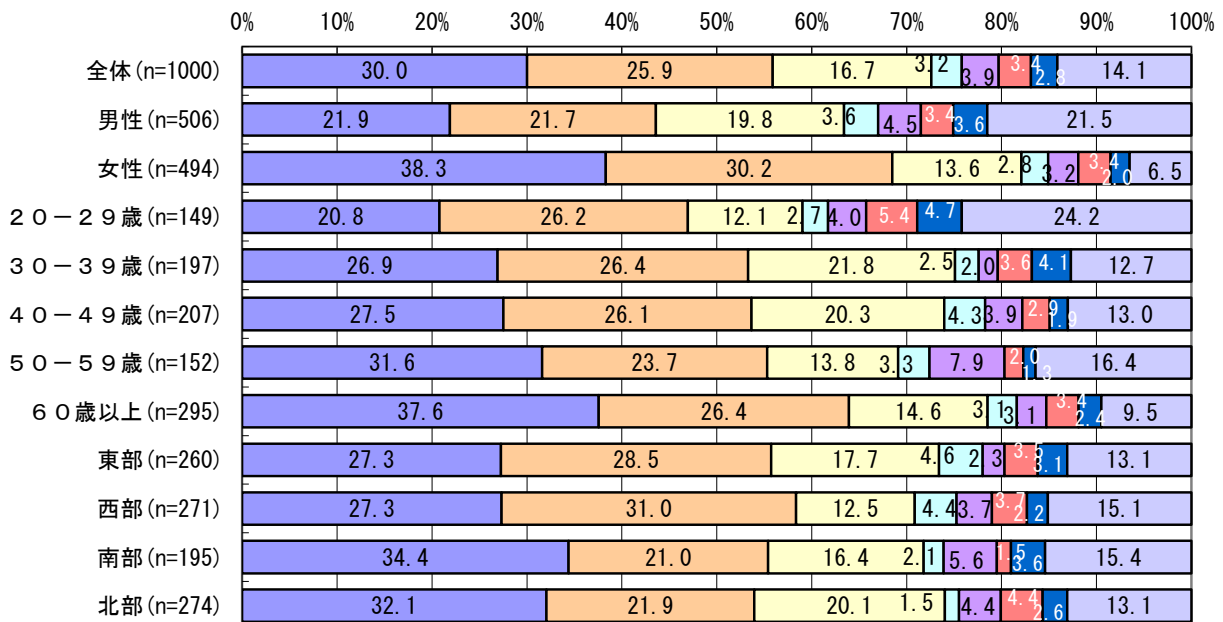
13. 資源を大切に使うためにもなるべく使い捨てるものは使わない

- 震災前から、常実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災の影響を契機に、常実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない

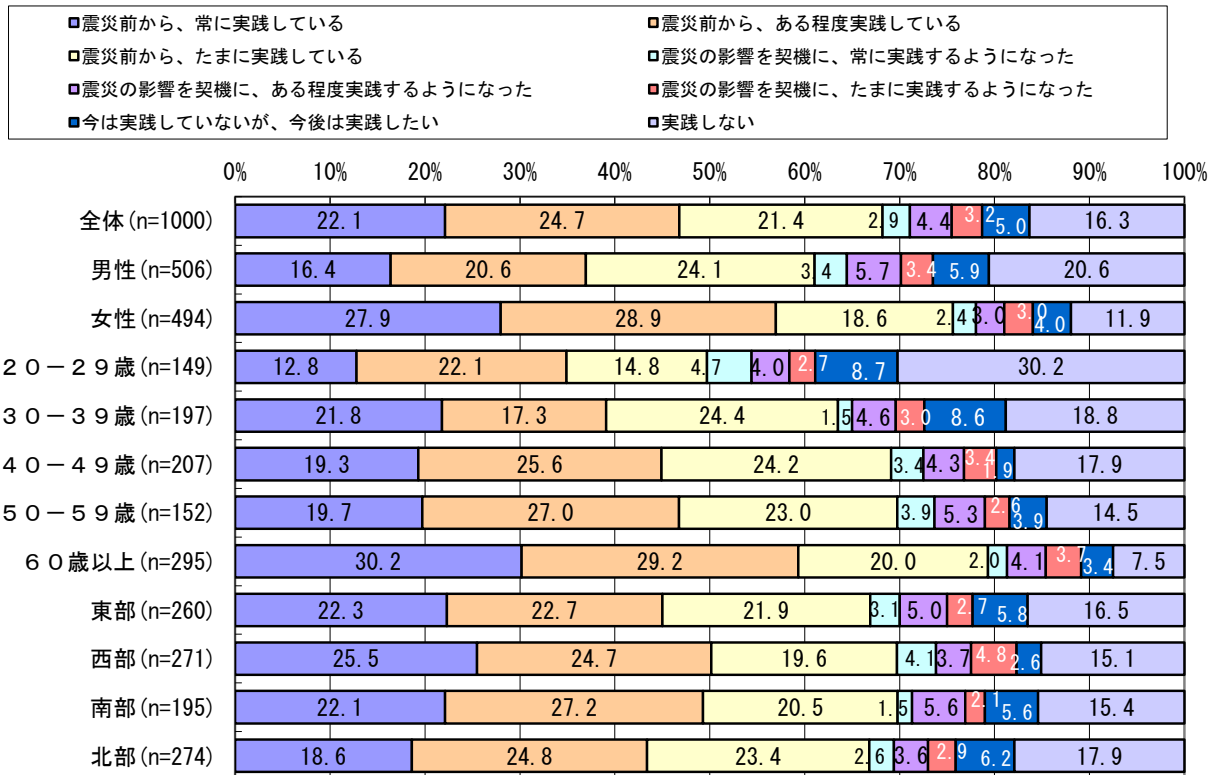


14. 買い物では商品の過剰な包装は断っている、あるいはレジ袋をなるべくもらわない

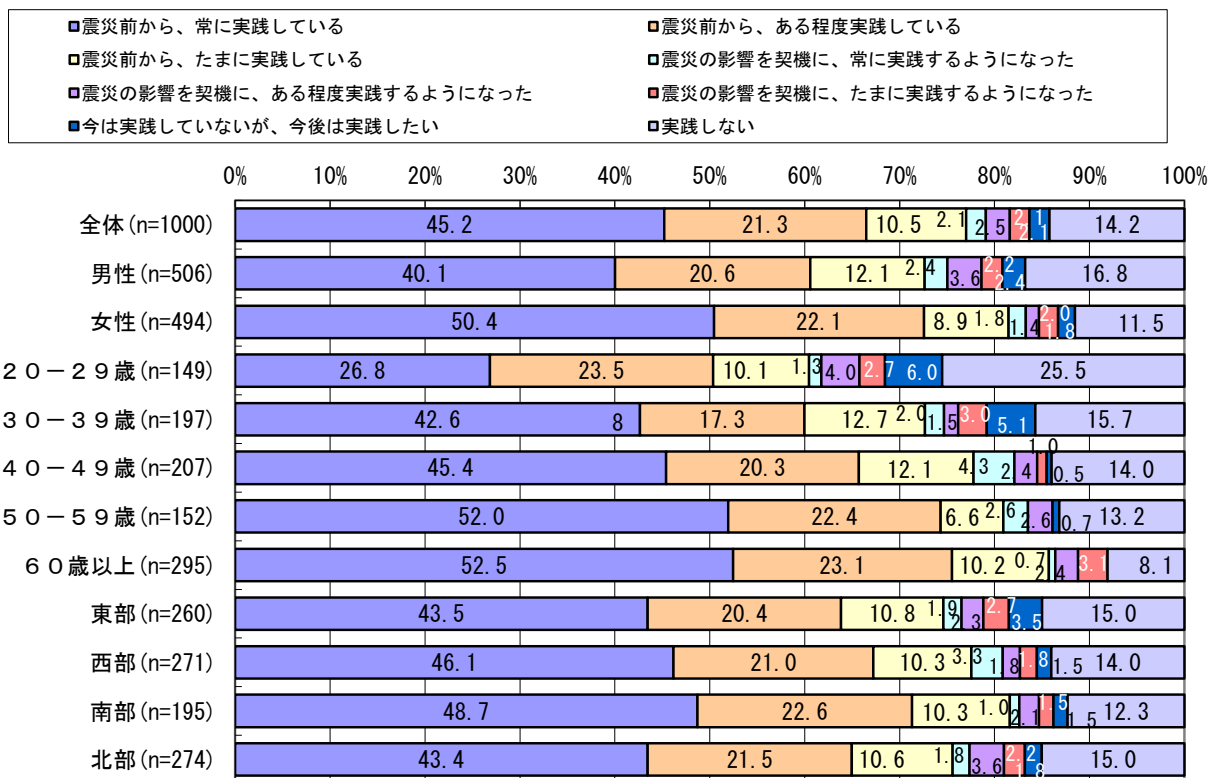
- 震災前から、常実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災の影響を契機に、常実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない



15. 環境にやさしい原材料を使用した製品やリサイクルしやすい製品などを選んで買う（詰替え商品、再生材を用いた商品など）

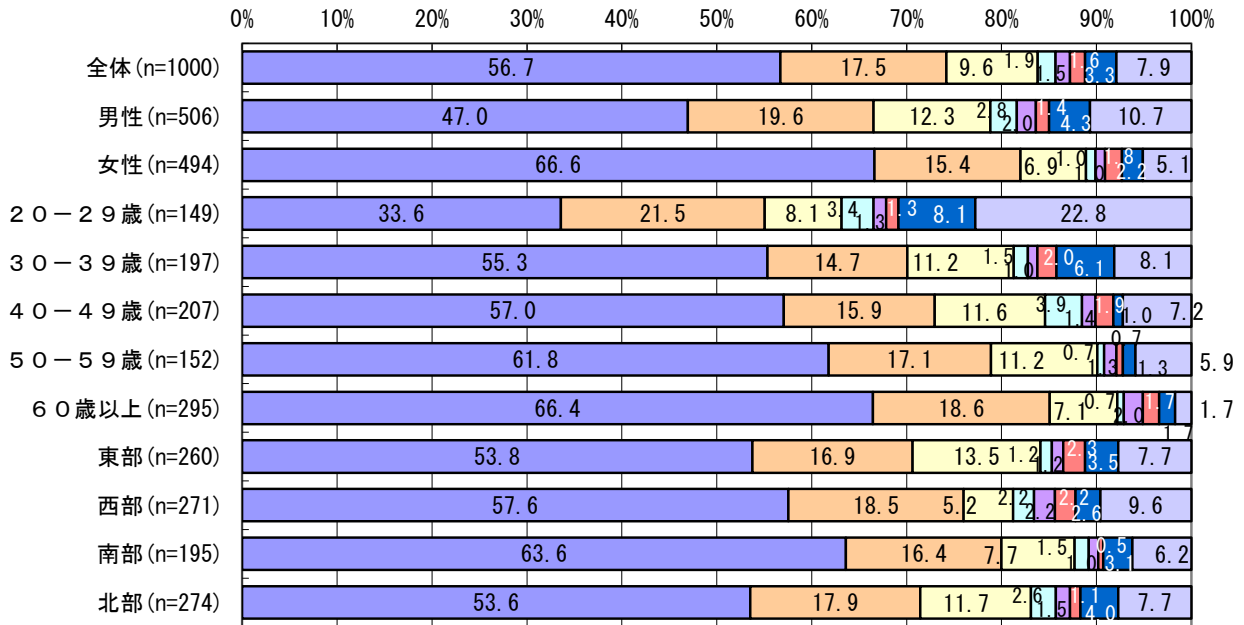


16. 自動車の運転や音響装置（楽器、ステレオなど）の使用にあたって、騒音を出さない



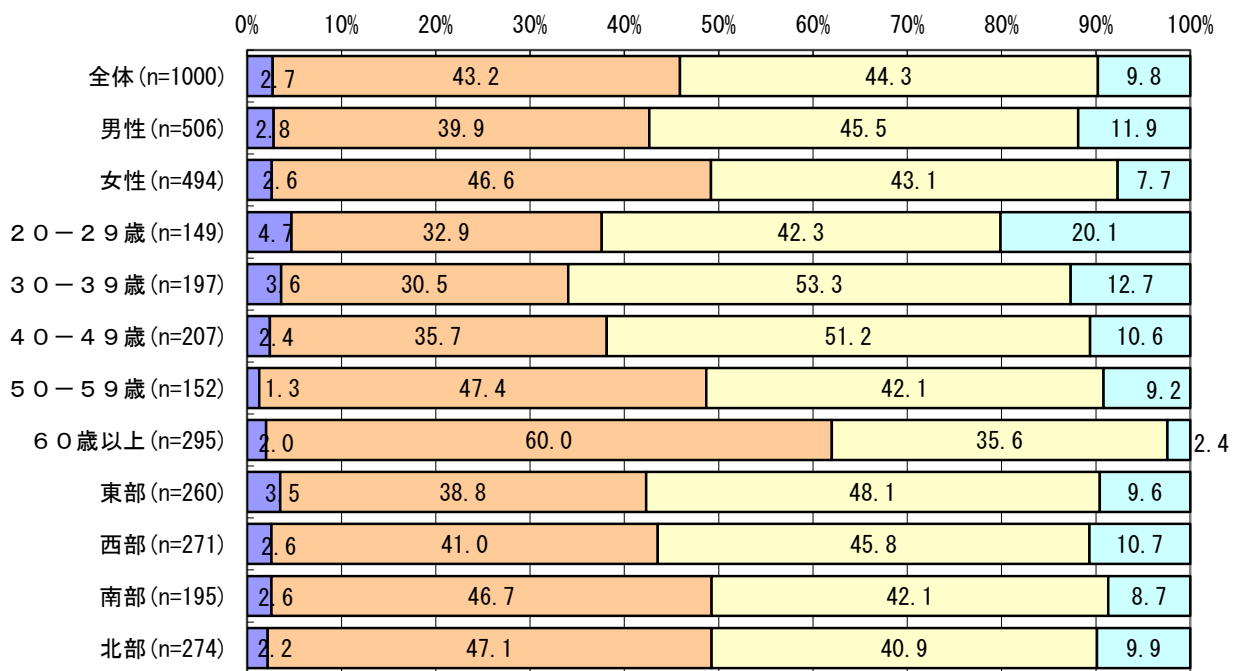
17. 食用油を排水口（下水）に流さない

- 震災前から、常実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災の影響を契機に、常実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない

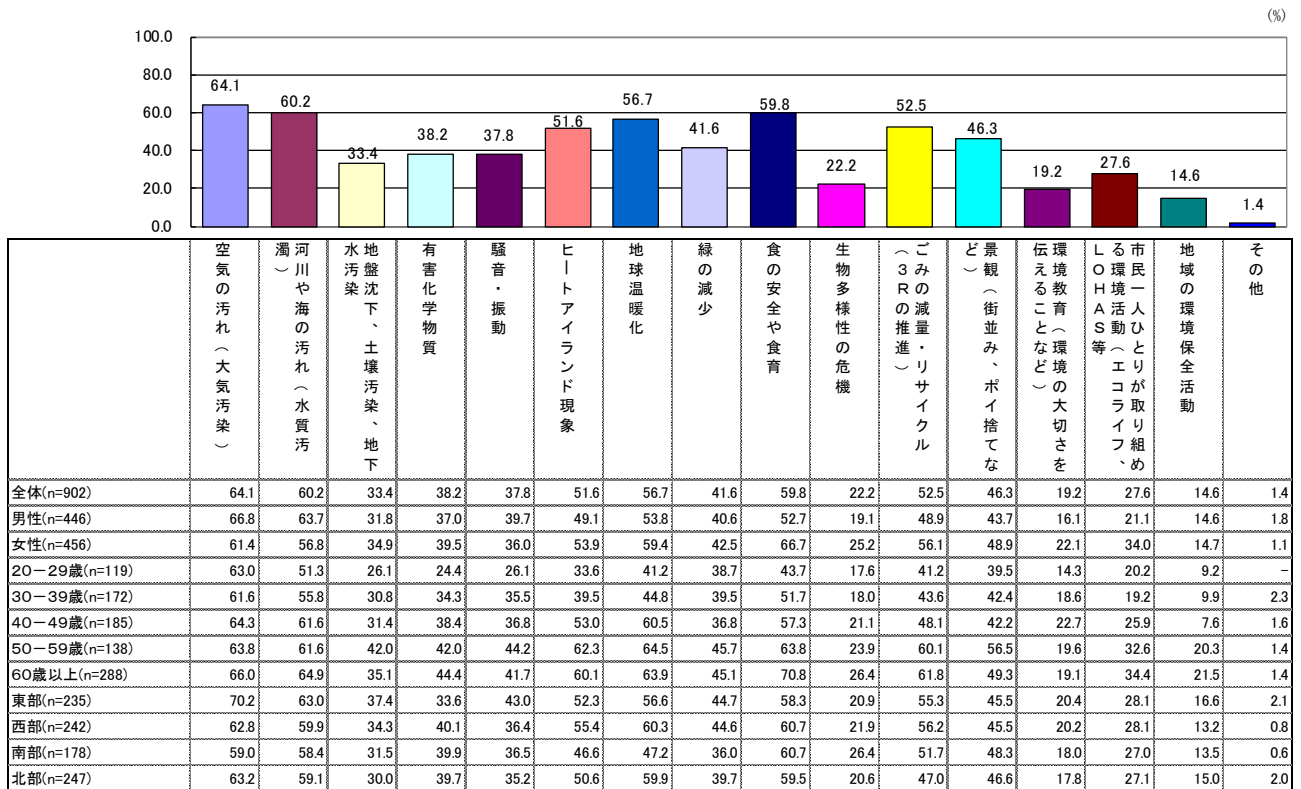


Q5. 環境に対する関心や行動（環境行動・地域や環境活動団体の環境活動）について伺います。最も近いものを1つお選びください。

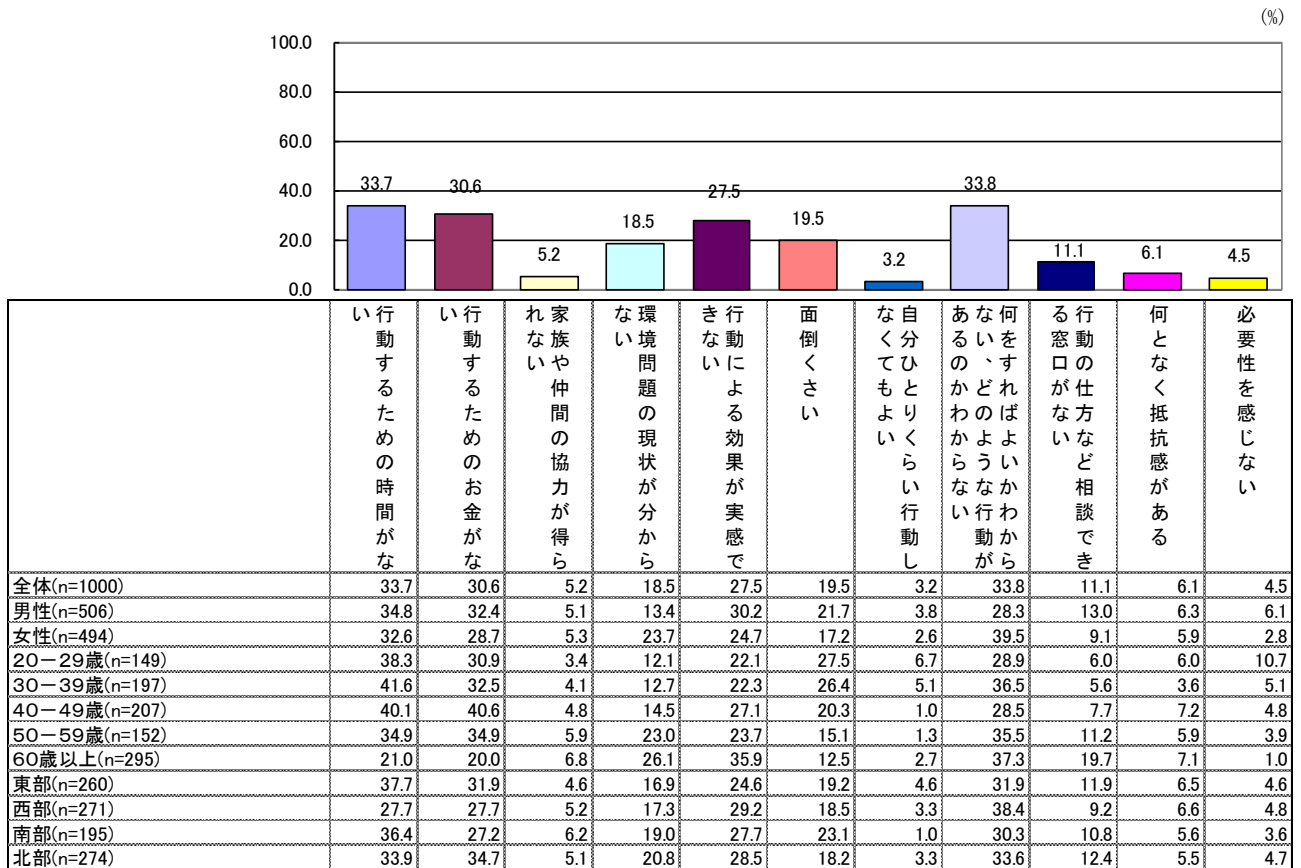
- 関心があり、地域や環境活動団体で環境活動を進めている
- 関心があり、個人のできる行動をしている
- 関心はあるが、特に何もしていない
- まったく関心がない



Q6. 次の環境問題や環境活動について、関心のあるものをすべて選んでください。(複数回答可)
 [Q5で「まったく関心がない」以外を選んだ方のみ回答]

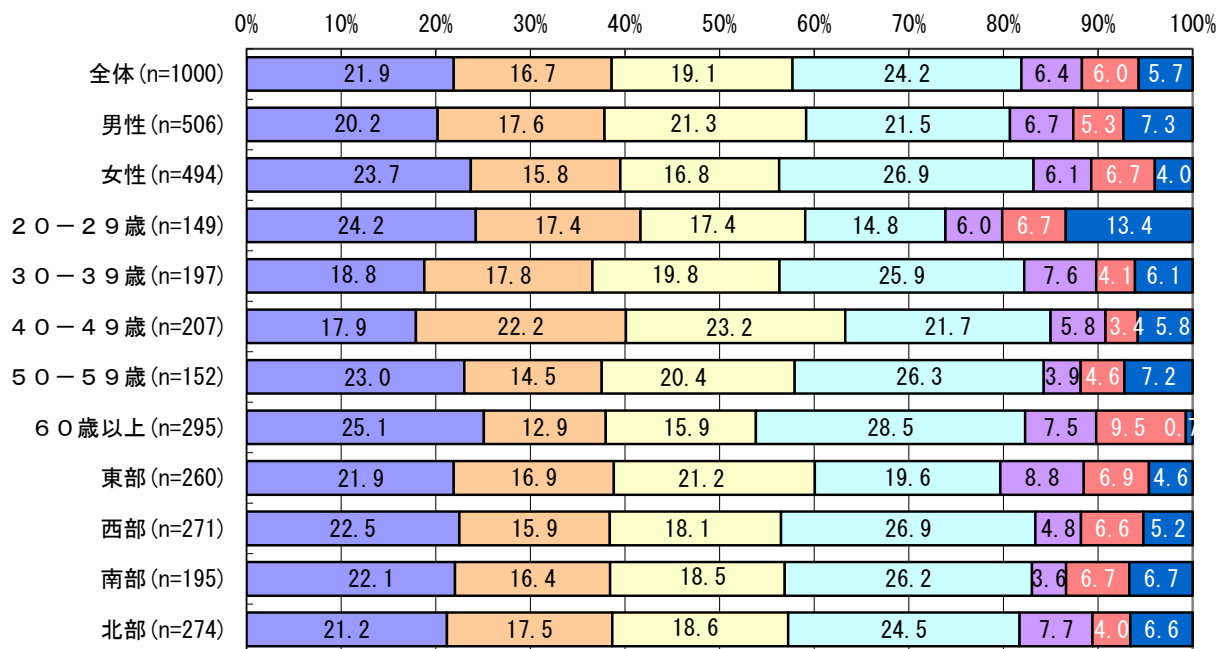


Q7. 様々な環境行動がありますが、実践するうえで難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は何ですか。1~11の中であなたの考えに近いものを3つまでお選びください。(複数回答可)

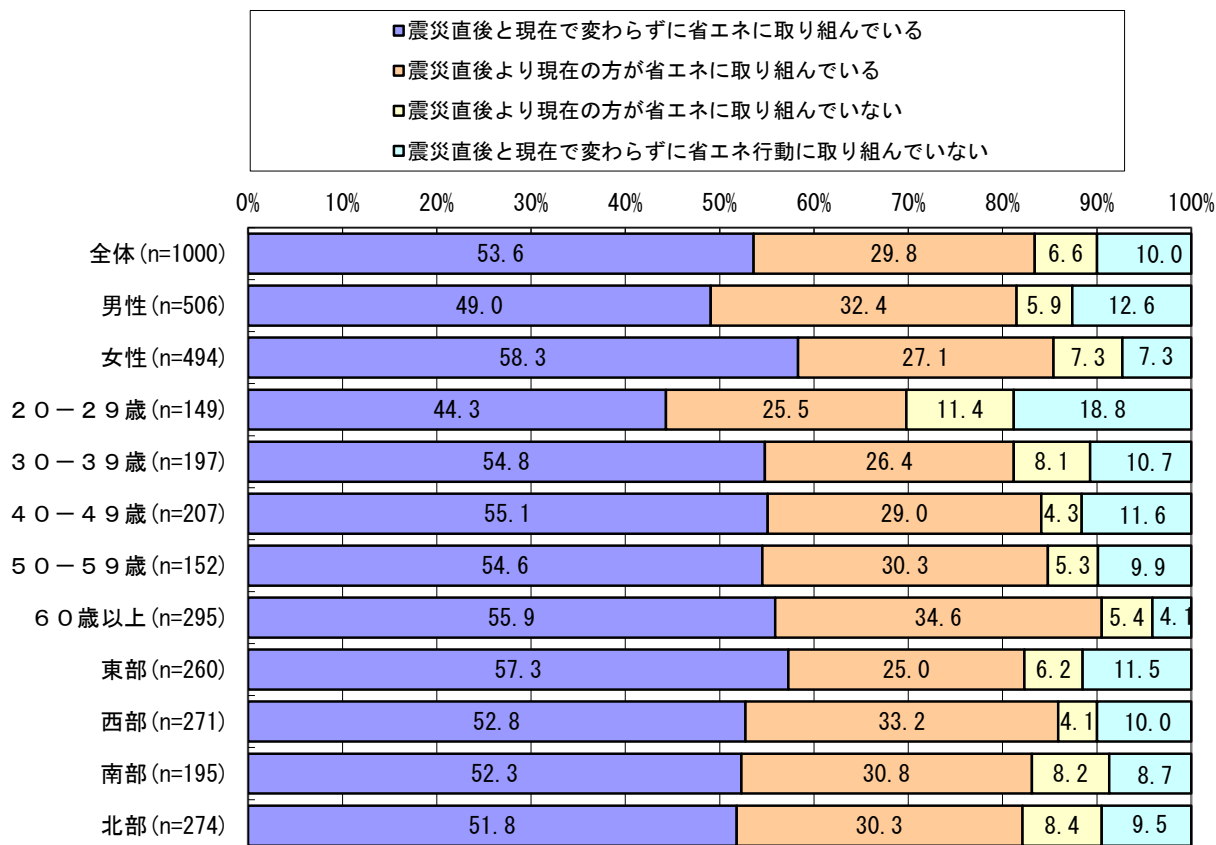


Q8. 日常生活の中で環境に配慮した行動をさらに進めるにあたって、後押しとなるものは何ですか。次のうち、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

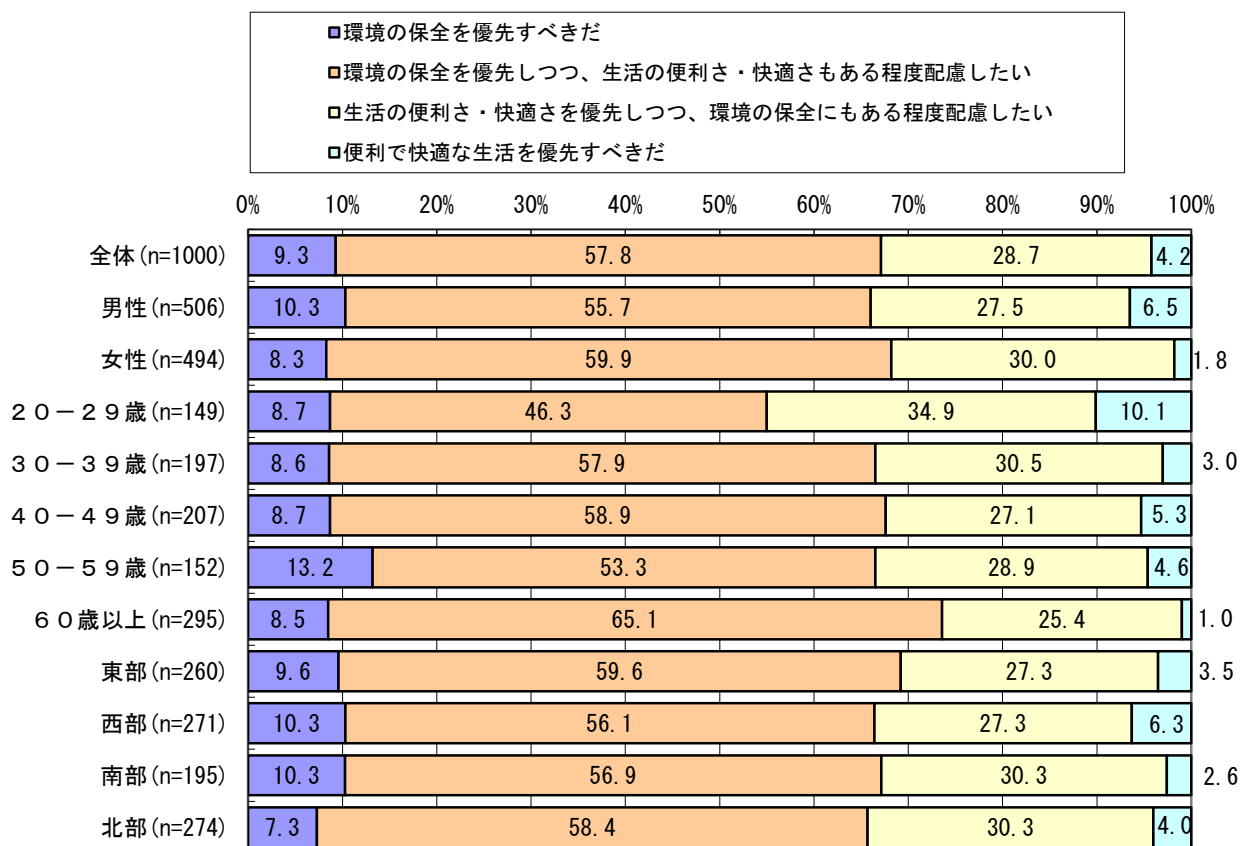
- 自分の行動が環境に貢献していることが目に見えて実感できること
- 時間的な余裕があること
- 経済的な余裕があること
- 経済的な効果が期待できること
- 環境イベントや環境教育が楽しそうと思えること
- 地域で活動している環境団体の取組に賛同できること
- 日常生活の中で環境に配慮した行動はしない



Q9. 東日本大震災の直後と現在を比較して、日常生活における節電やエコドライブといった省エネの取組状況に変化はありますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

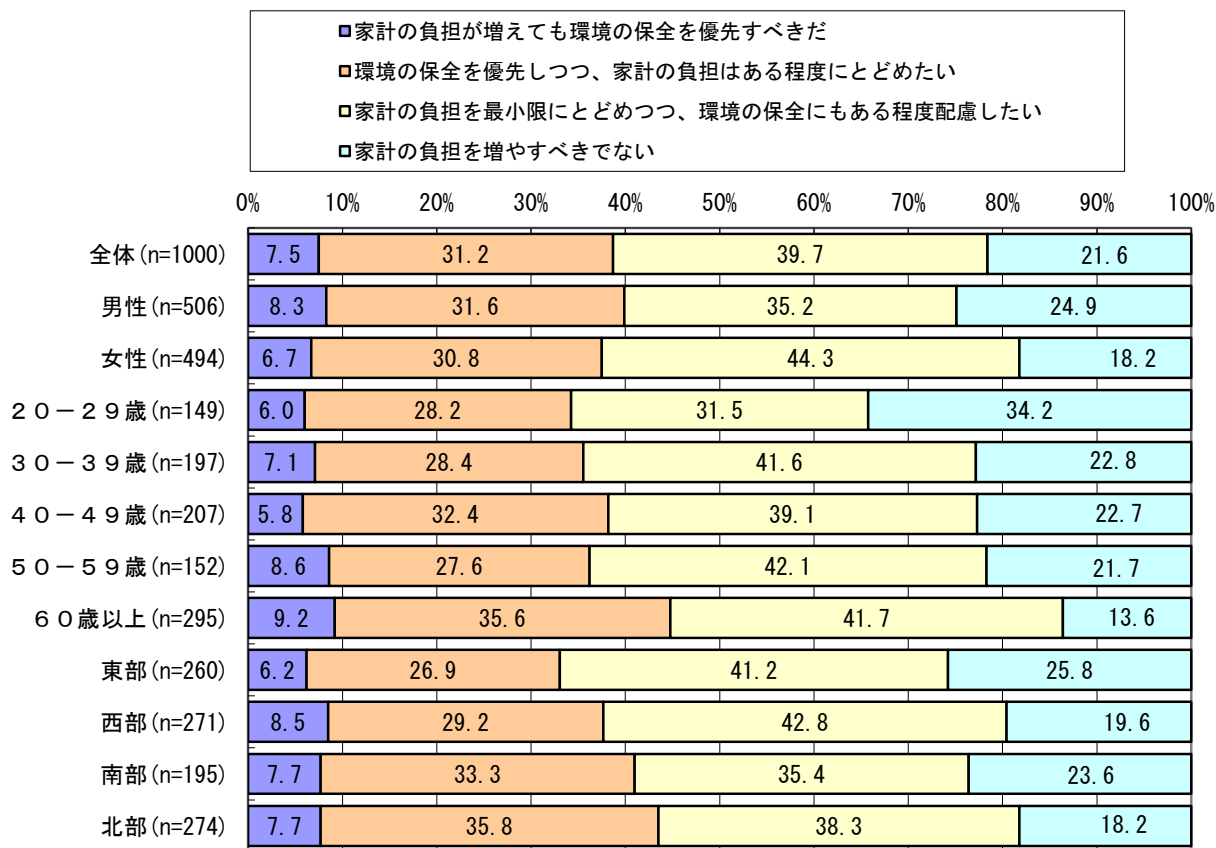


Q10. 環境の保全と生活の便利さ・快適さについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

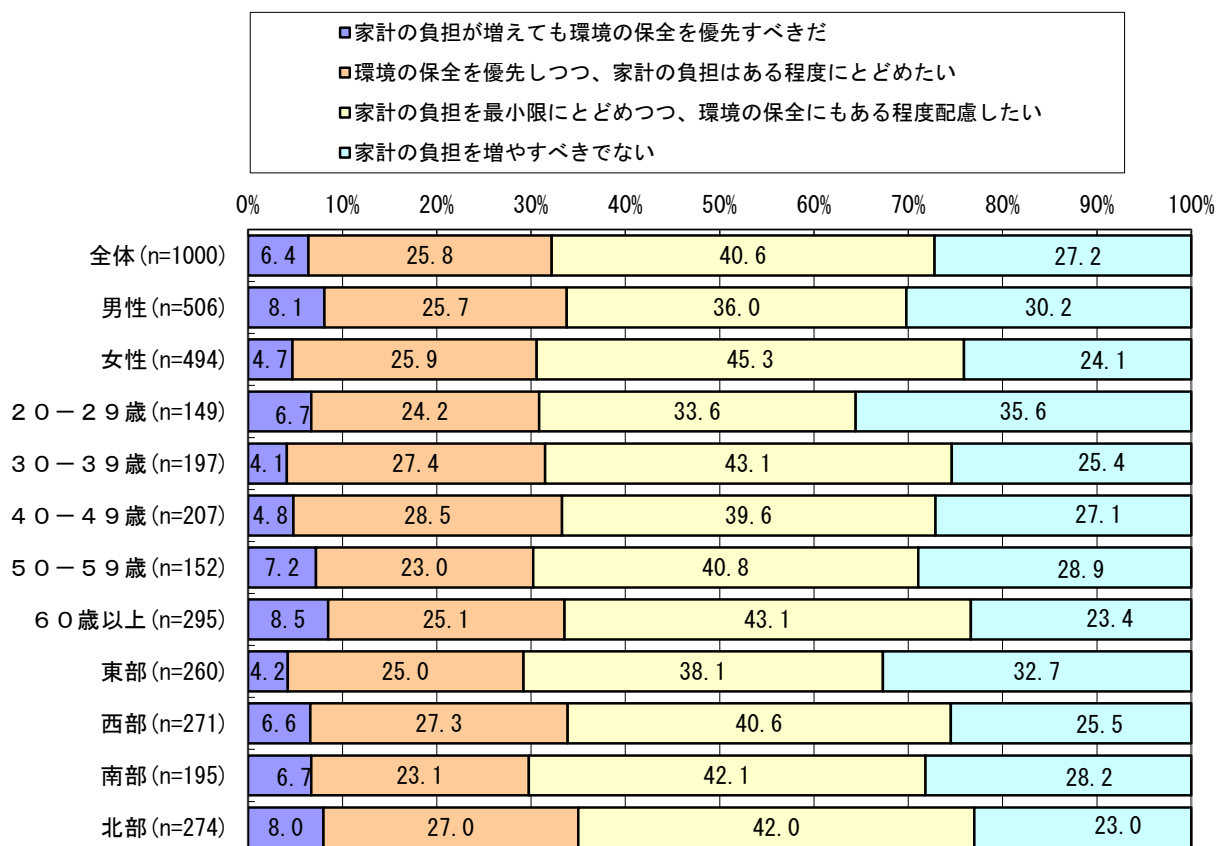


Q11. 次の各項目は環境の保全につながるものですが、ある程度まとまった初期投資（家計負担）が必要です。これらについてどのように考えますか。項目ごとにあなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

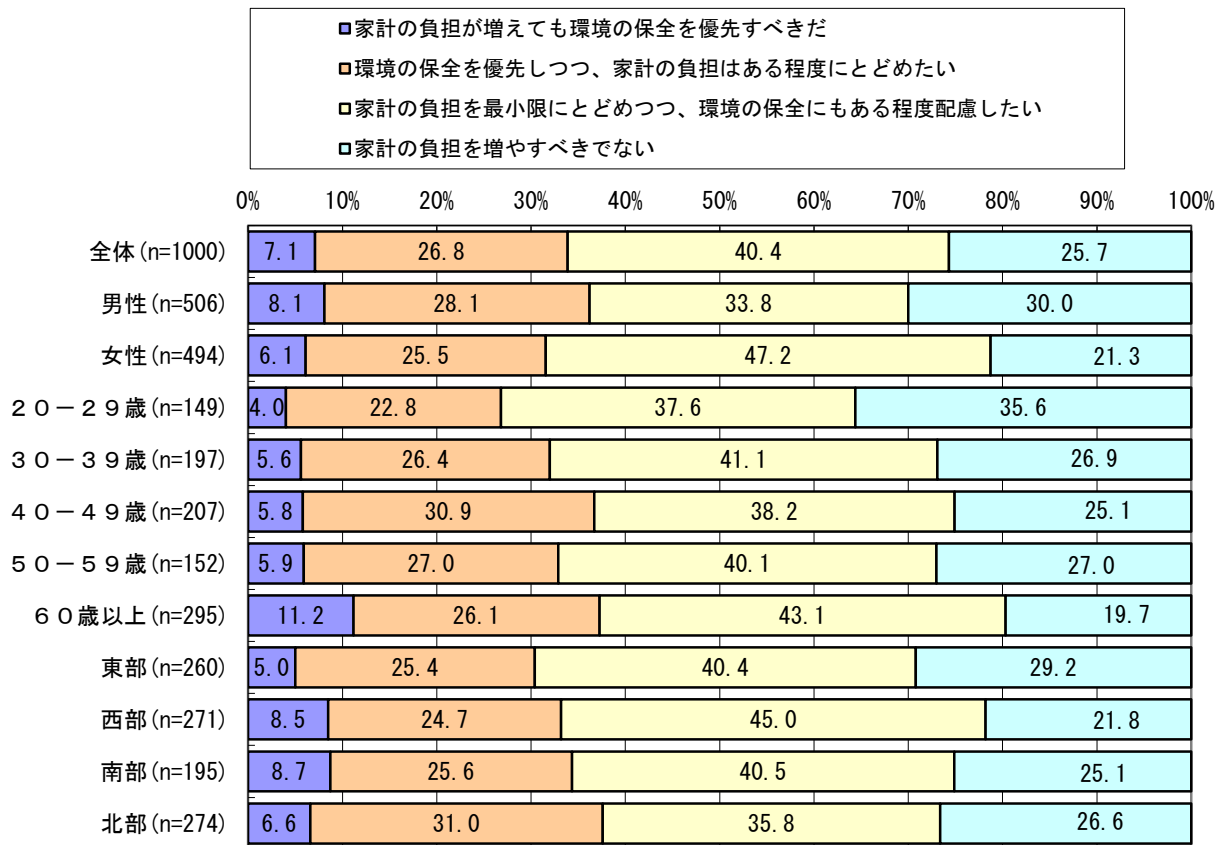
1. 自宅の省エネ性能を高めるため、新築や改修にあたり、外壁、窓、天井、床などの断熱工事を行う



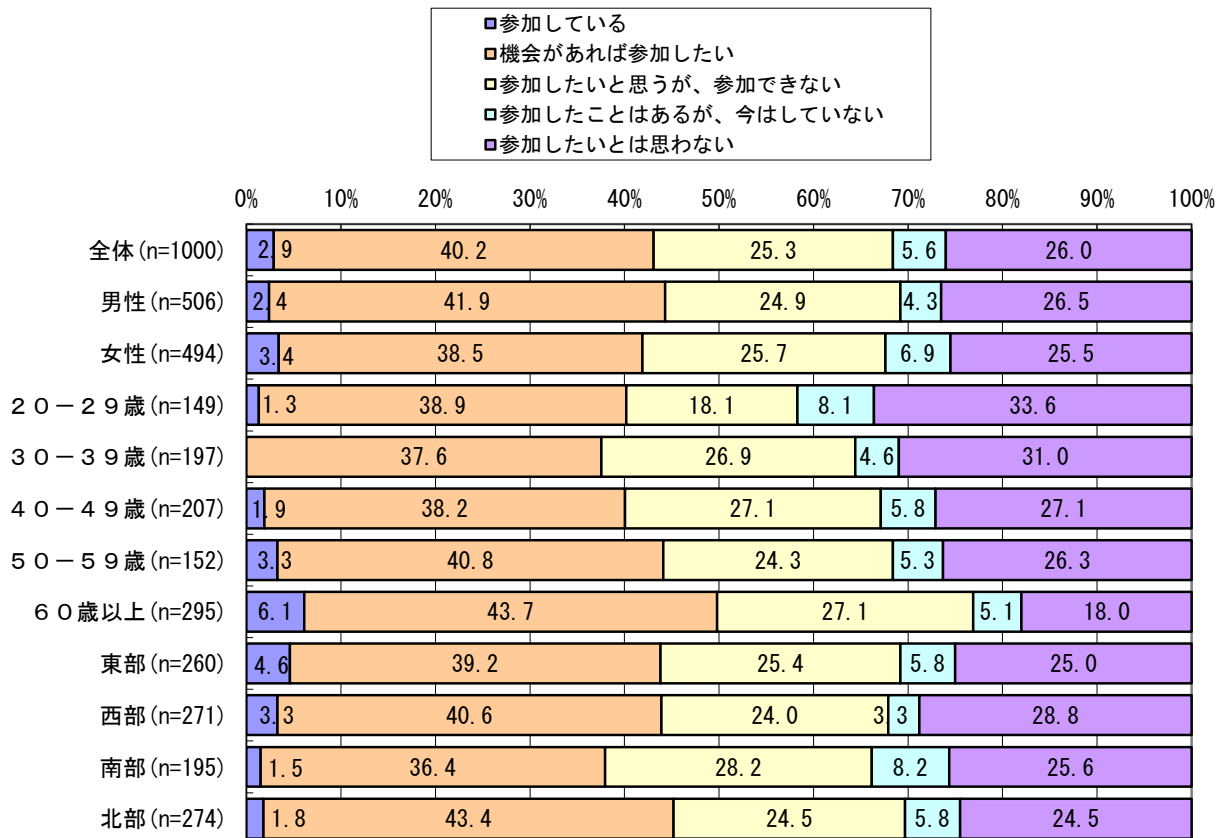
2. 太陽熱やヒートポンプ技術を利用した給湯設備、太陽光を利用した発電設備などを自宅に設置する



3. 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車などの次世代自動車を購入する

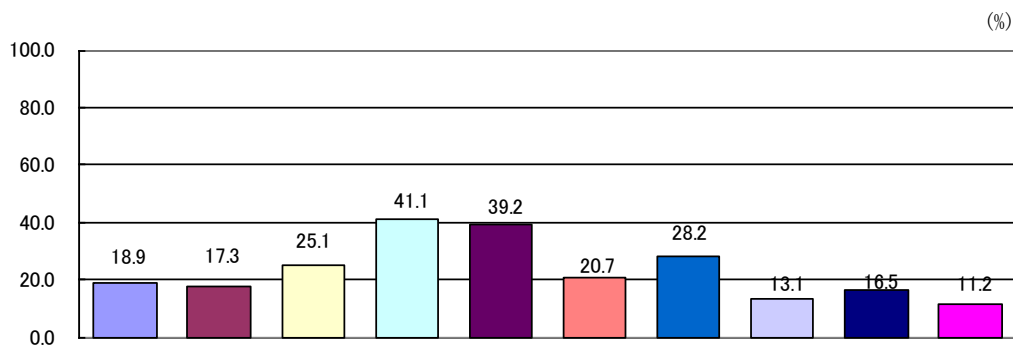


Q12. 地域の環境活動に参加したいと思いませんか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



Q13. どのような活動や取組に参加したことがありますか、あるいは参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

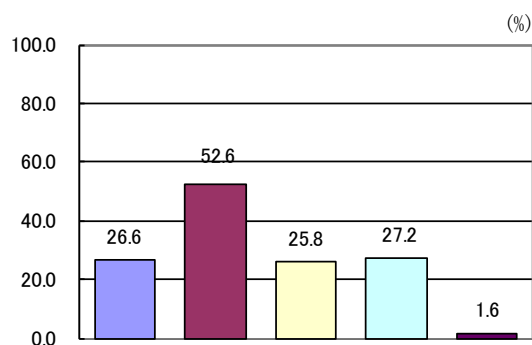
[Q12で「参加したいとは思わない」以外を選んだ方のみ回答]



	環境にやさしい生活など	環境保全に関する地域	ホタルなどの生き物を呼び戻す活動	花や緑を育てる活動	公園・道路などの清掃活動	歴史的な遺跡や建物を保全する活動	川をきれいにする活動	健全な水循環の再生に関する活動(雨水の浸透機能の強化など)	生き物を観察する活動	環境保全に係る募金など
全体(n=740)	18.9	17.3	25.1	41.1	39.2	20.7	28.2	13.1	16.5	11.2
男性(n=372)	16.7	18.5	25.8	35.2	37.6	22.0	34.4	15.3	16.1	10.8
女性(n=368)	21.2	16.0	24.5	47.0	40.8	19.3	22.0	10.9	16.8	11.7
20-29歳(n=99)	19.2	9.1	29.3	33.3	36.4	19.2	35.4	15.2	15.2	8.1
30-39歳(n=136)	19.1	10.3	30.9	44.1	39.7	19.1	27.9	14.7	22.8	8.1
40-49歳(n=151)	19.2	17.2	25.2	32.5	35.8	13.2	29.8	10.6	16.6	14.6
50-59歳(n=112)	21.4	24.1	29.5	42.9	34.8	25.0	28.6	18.8	20.5	8.9
60歳以上(n=242)	17.4	21.5	18.2	47.1	44.2	24.8	24.4	10.3	11.6	13.2
東部(n=195)	16.9	17.9	22.1	36.9	35.4	24.6	28.7	14.9	14.9	14.9
西部(n=193)	22.8	18.1	29.0	41.5	40.9	21.2	30.6	13.0	16.1	14.0
南部(n=145)	15.2	20.7	24.8	45.5	36.6	20.0	30.3	12.4	17.2	10.3
北部(n=207)	19.8	13.5	24.6	41.5	43.0	16.9	24.2	12.1	17.9	5.8

Q14. どのような形態の活動に参加したことがありますか。あるいは参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

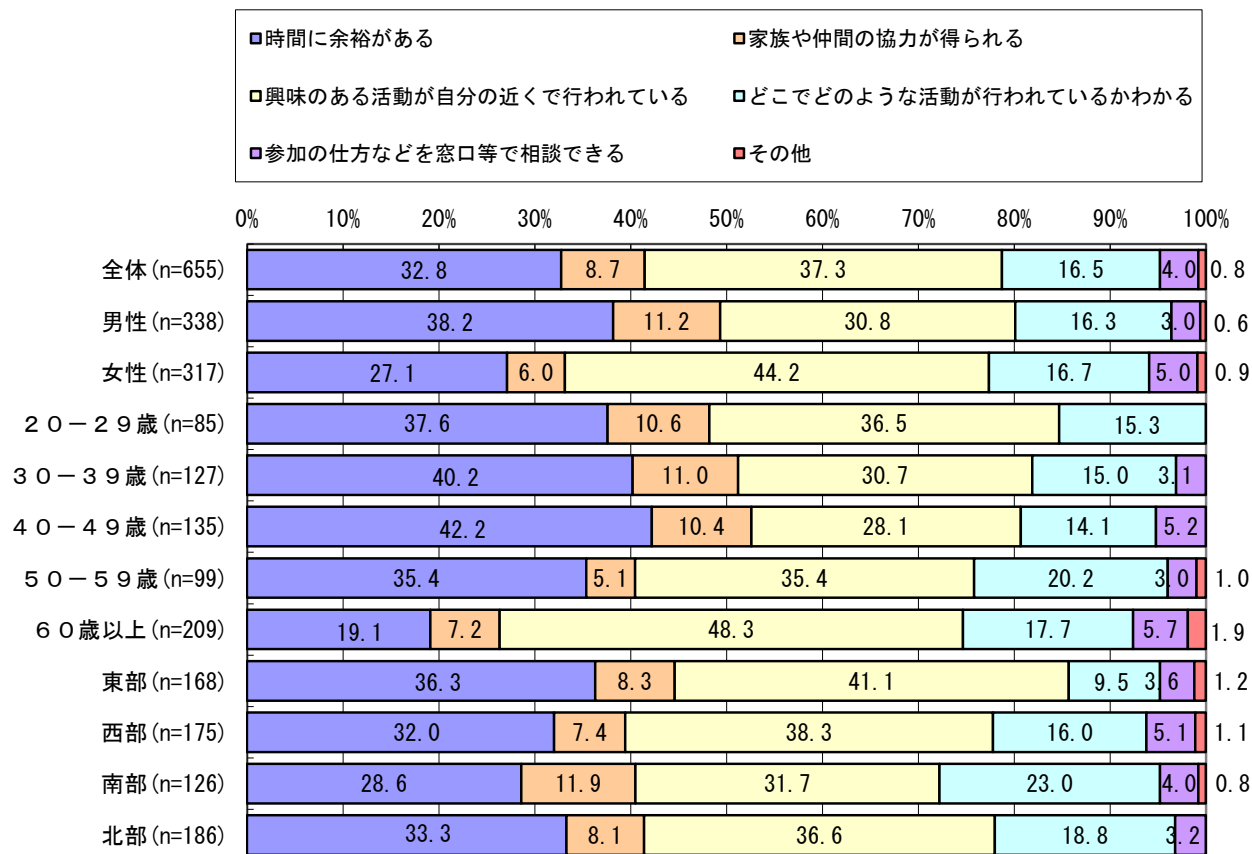
[Q12で「参加したいとは思わない」以外を選んだ方のみ回答]



	地域のグループ活動	自治会・集まりでの活動	環境活動団体やNPO	学習会や講習会などのイベント・セミナー	その他
全体(n=740)	26.6	52.6	25.8	27.2	1.6
男性(n=372)	29.3	53.0	25.8	26.6	0.8
女性(n=368)	23.9	52.2	25.8	27.7	2.4
20-29歳(n=99)	35.4	49.5	26.3	25.3	1.0
30-39歳(n=136)	31.6	50.0	25.7	28.7	2.2
40-49歳(n=151)	20.5	52.3	26.5	28.5	-
50-59歳(n=112)	26.8	39.3	29.5	38.4	3.6
60歳以上(n=242)	24.0	61.6	23.6	21.1	1.7
東部(n=195)	21.0	53.3	27.7	26.2	1.5
西部(n=193)	25.4	54.4	29.0	24.9	2.1
南部(n=145)	30.3	52.4	22.8	27.6	2.1
北部(n=207)	30.4	50.2	23.2	30.0	1.0

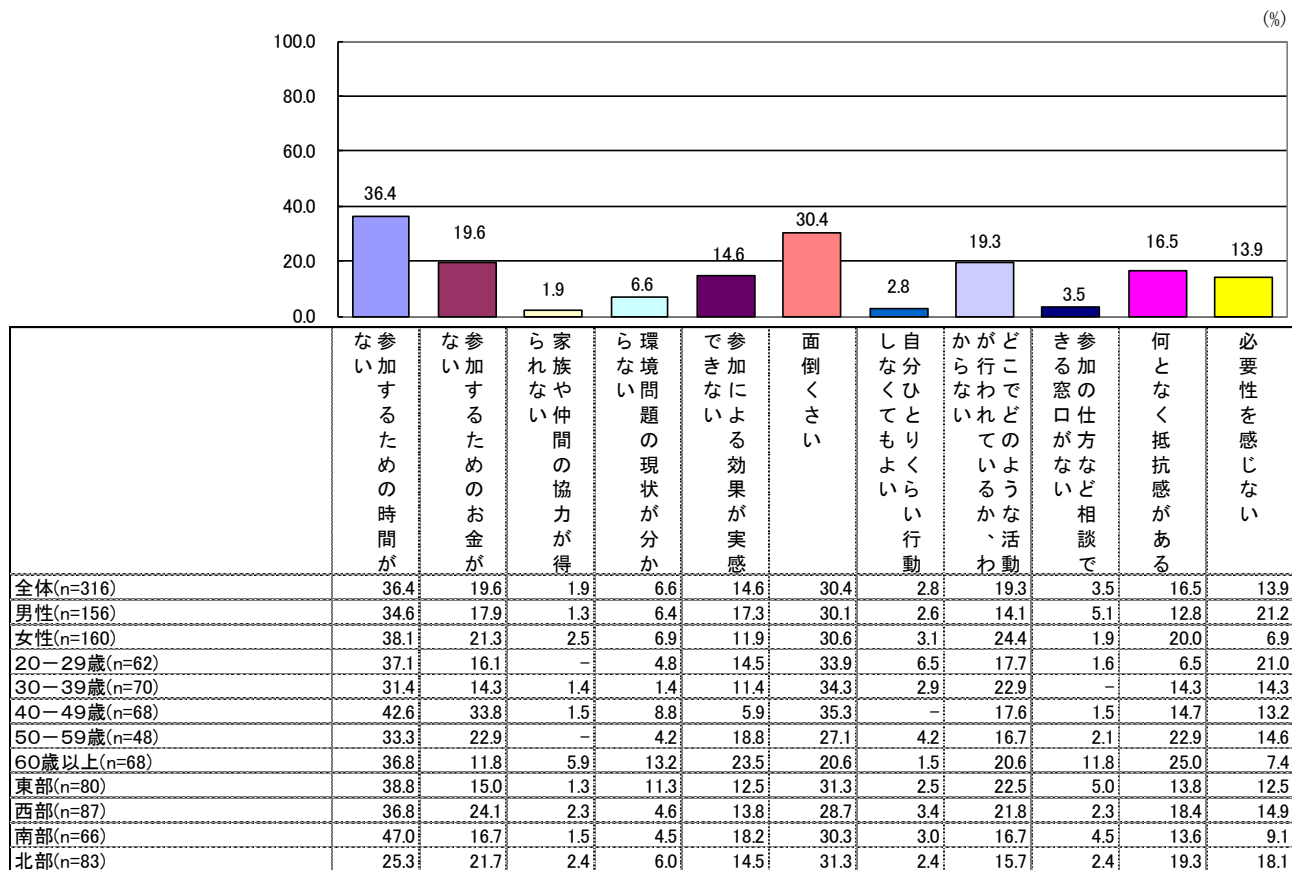
Q15. 地域の環境活動に参加しない、あるいは参加できない理由は何ですか。1～11の中であなたの考えに近いものを3つまでお選びください。(複数回答可)

[Q12で「機会があれば参加したい」「参加したいと思うが、参加できない」を選んだ方のみ回答]



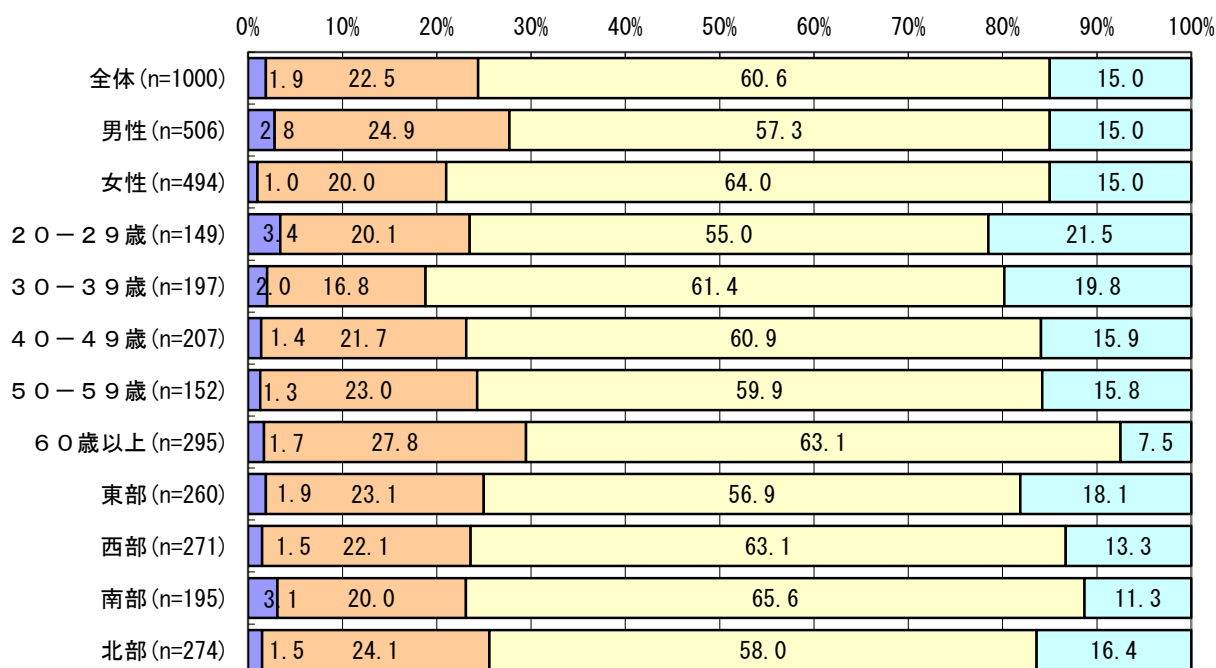
Q16. 地域の環境活動に参加しない、あるいは参加できない理由は何ですか。1～11の中であなたの考えに近いものを3つまでお選びください。(複数回答可)

[Q12で「参加したことはあるが、今はしていない」「参加したいとは思わない」を選んだ方のみ回答]

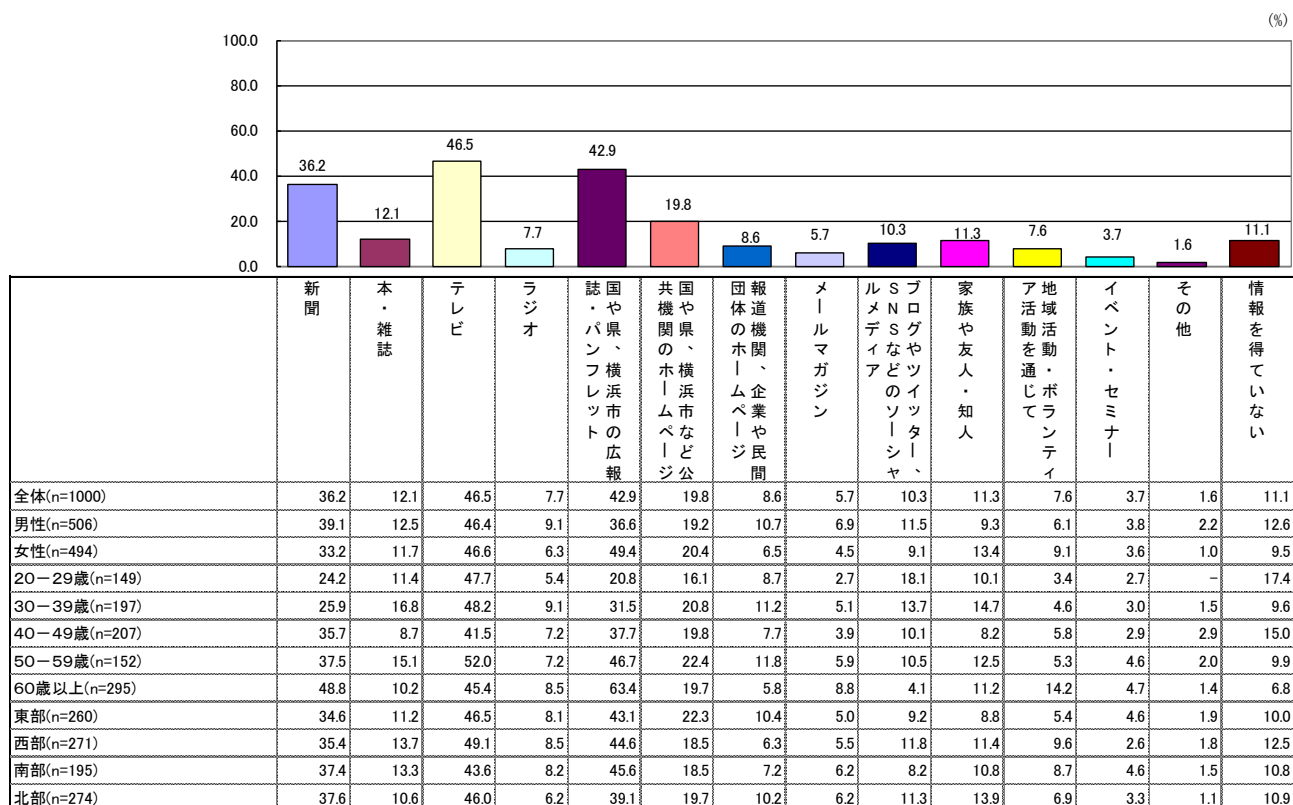


Q17. 環境問題や環境活動に関して、必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

- 十分に得られている
- だいたい得られている
- あまり得られていない
- まったく得られていない

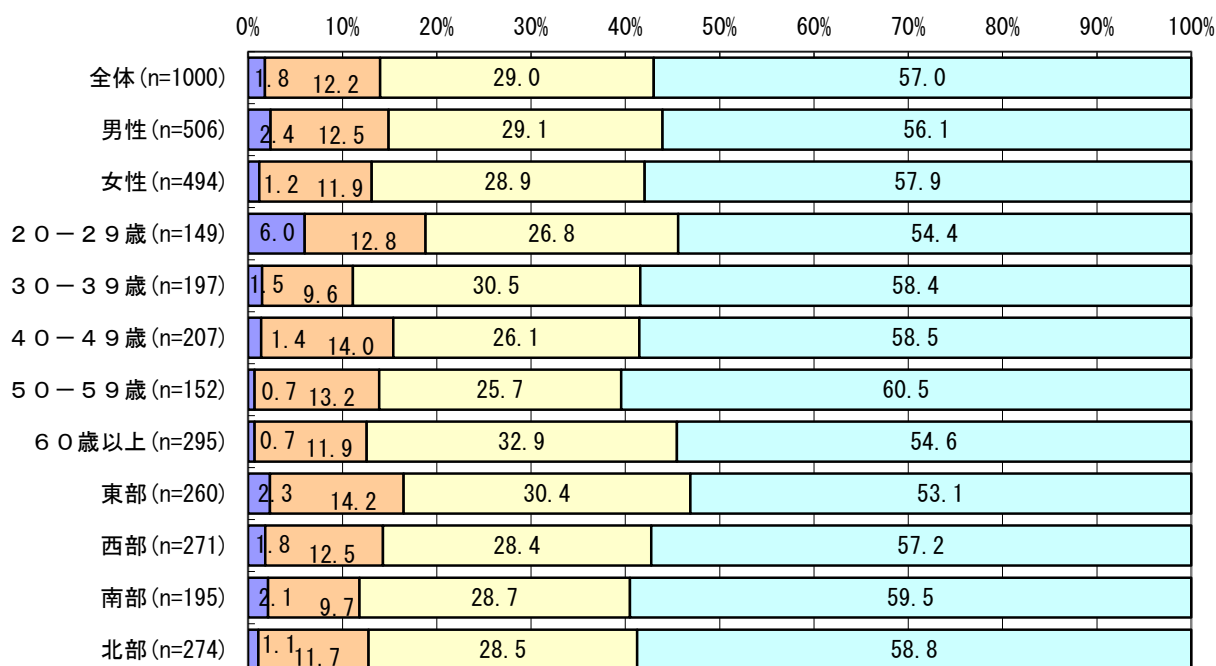


Q18. あなたが環境の情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。
(複数回答可)



Q19. 横浜市環境創造局では、環境イベント情報やエコライフに役立つ情報などを発信するため、Twitter (ツイッター) ※を利用していることを知っていますか。
※140文字以内の短文情報を投稿・閲覧するインターネット上のコミュニケーションサービス

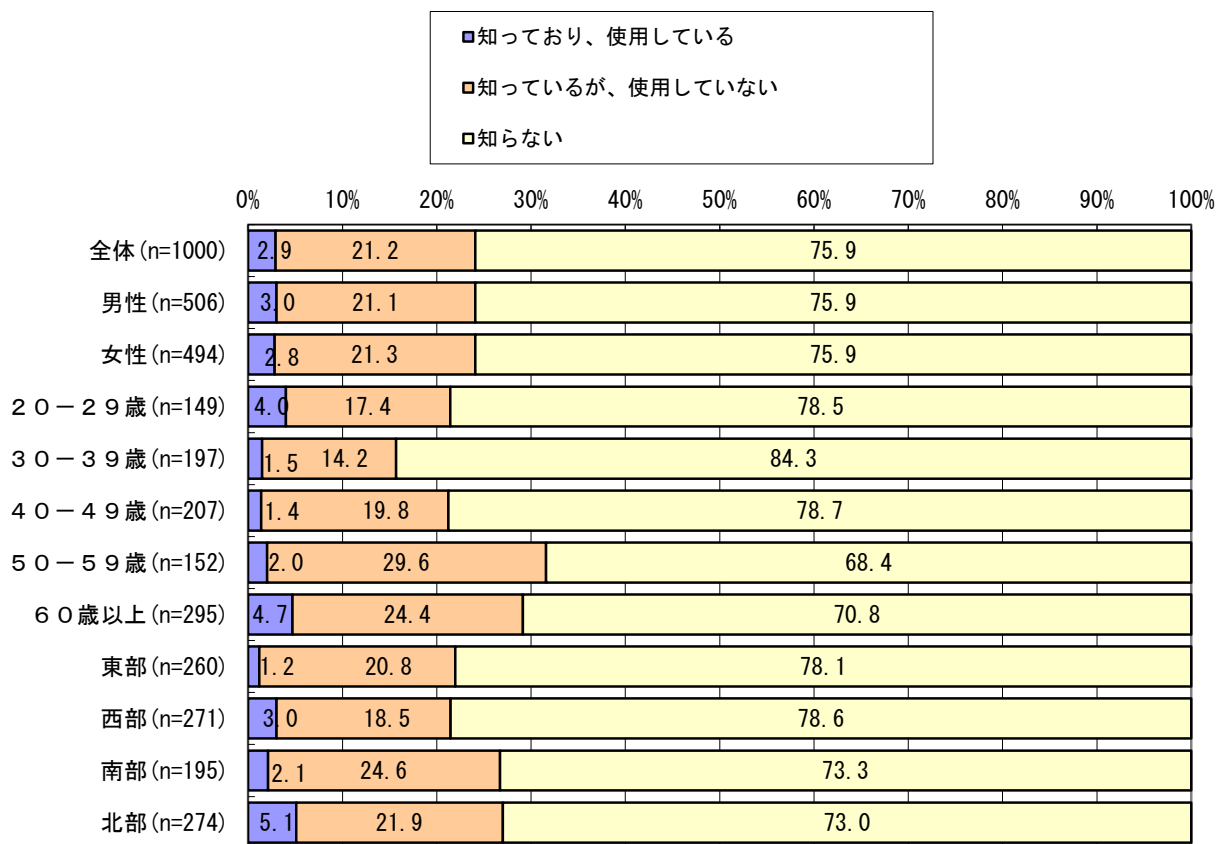
- 知っていて定期的に利用している
- 知っているがあまり利用していない
- 知らなかったが、今後利用してみたい
- 知らなかったし、今後も利用する予定はない



Q20. 次のCO2 排出量削減・省エネ行動を進めるための補助ツールについて、項目ごとに最も近いものを1つお選びください。

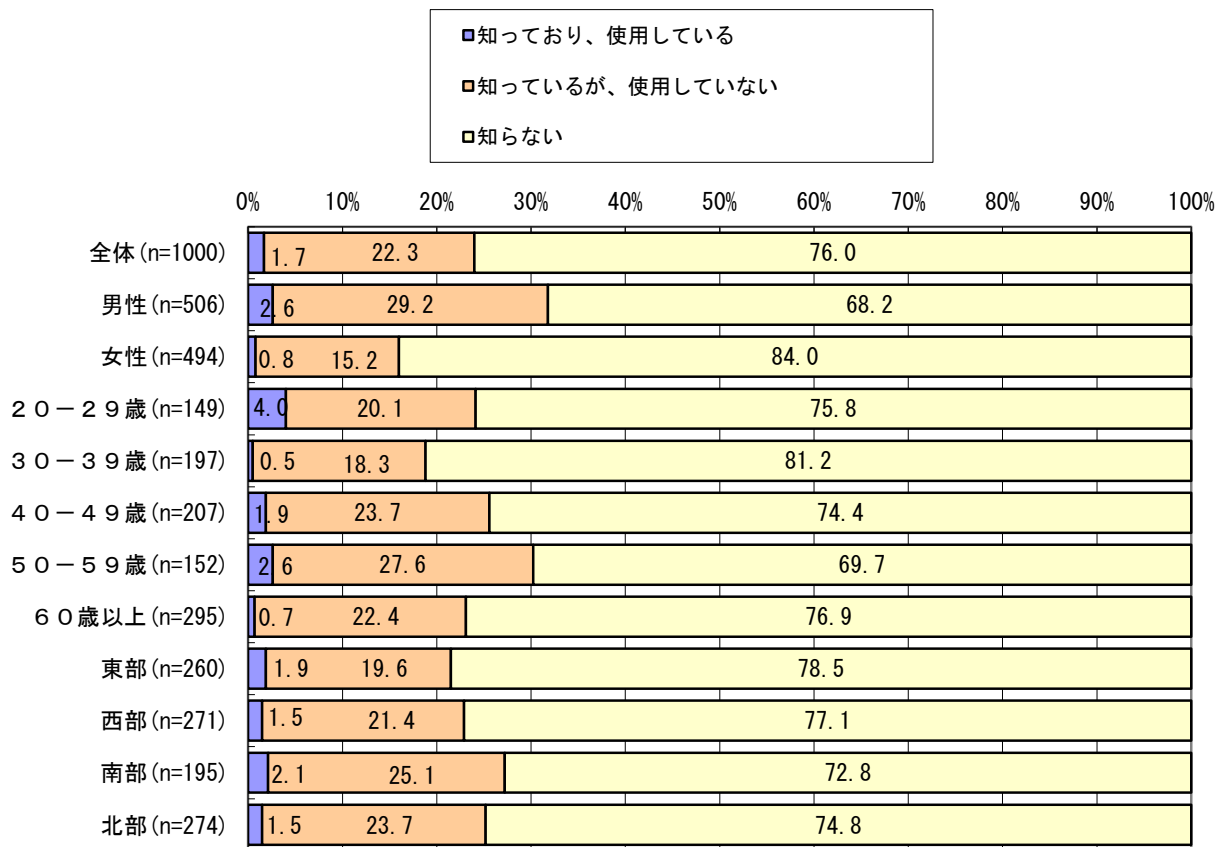
1. 環境家計簿※1

※1 環境家計簿は、電気やガスなどの使用量を記録し、家庭のCO2 排出量を計算できる家計簿です。横浜市環境創造局のホームページで公開しています。



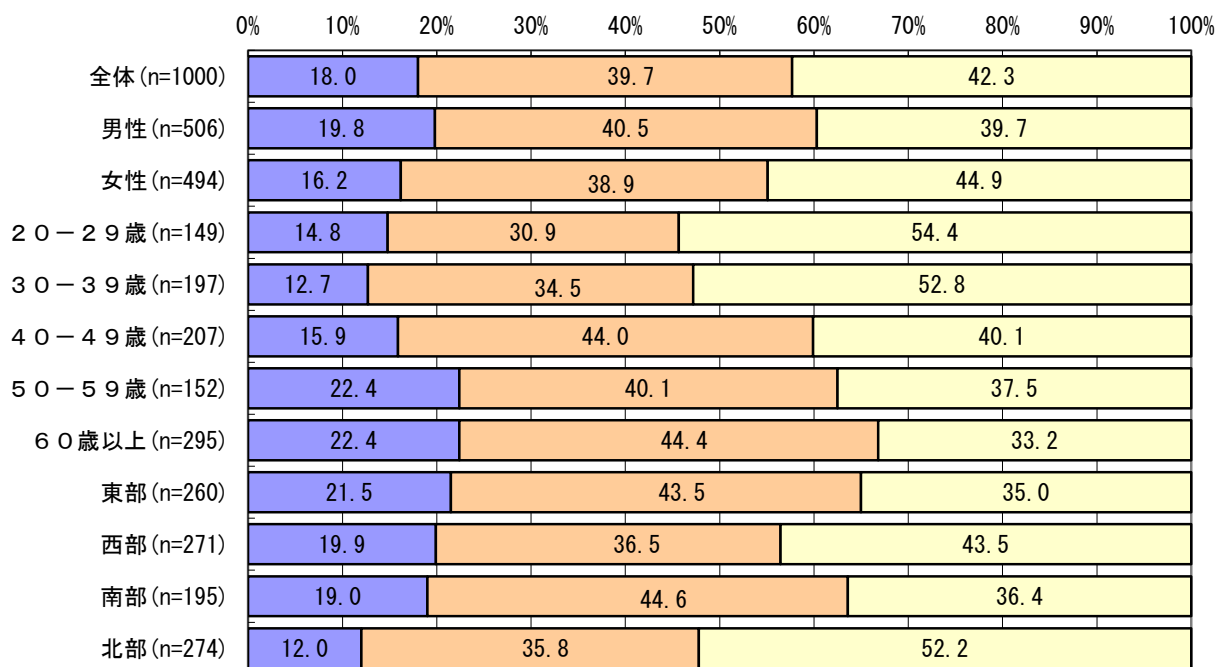
2. HEMS (ホームエネルギーマネジメントシステム) ※2

※2 HEMSは、自宅の部屋ごとや機器ごとのエネルギー使用量を「見える化」し、いつ、どこで、何に電気を使っているかを把握して、省エネ、節電に役立つことができます。これと太陽光発電システムなどの自然エネルギーを組み合わせることによって、更なる省エネ・節電につながります。



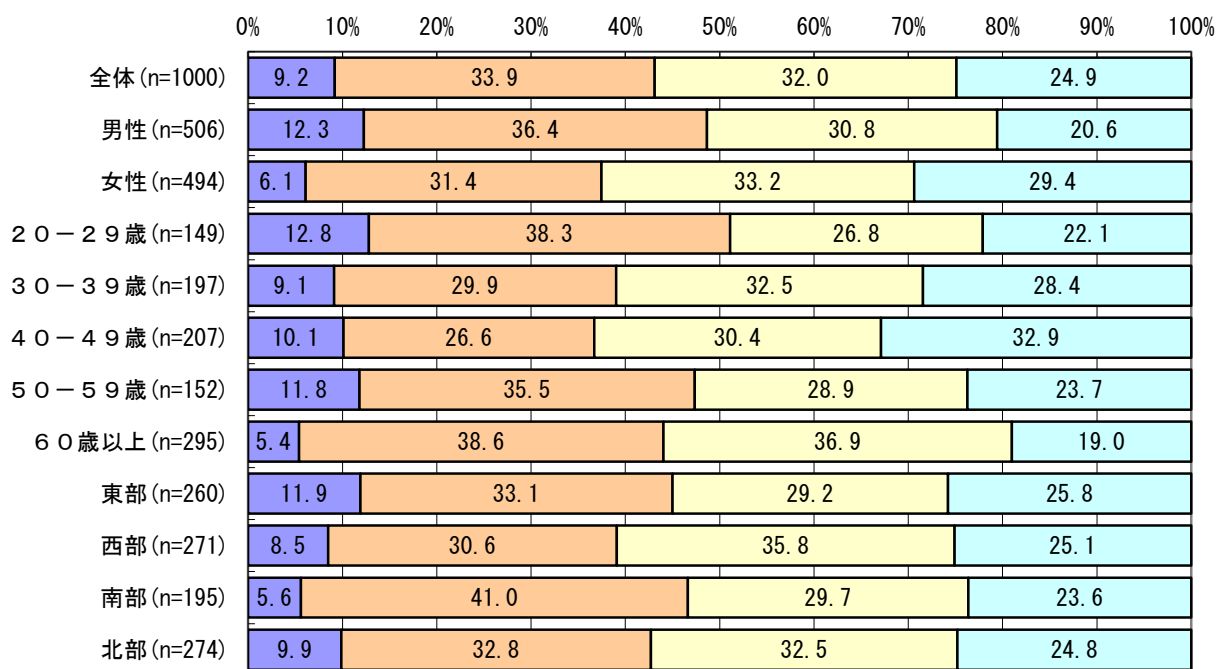
Q21. みなとみらいの臨港パークの対岸（神奈川区瑞穂埠頭）には、横浜市が風力発電所（愛称「ハマウィング」）を設置しています。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

- 風車があるのを知っているし、横浜市が事業として設置していることも知っている
- 風車があるのは知っているが、横浜市が事業として設置していることは知らない
- 知らない

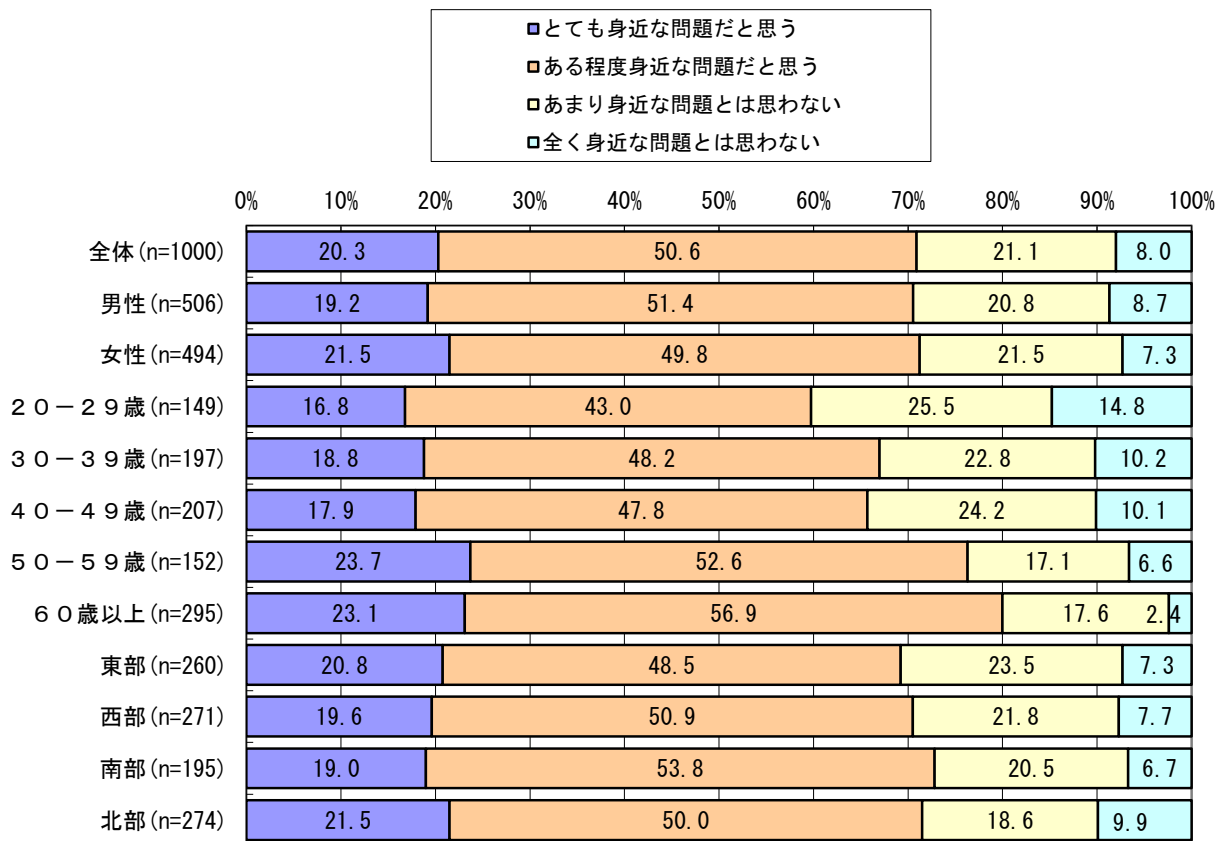


Q22. 生物多様性という言葉を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

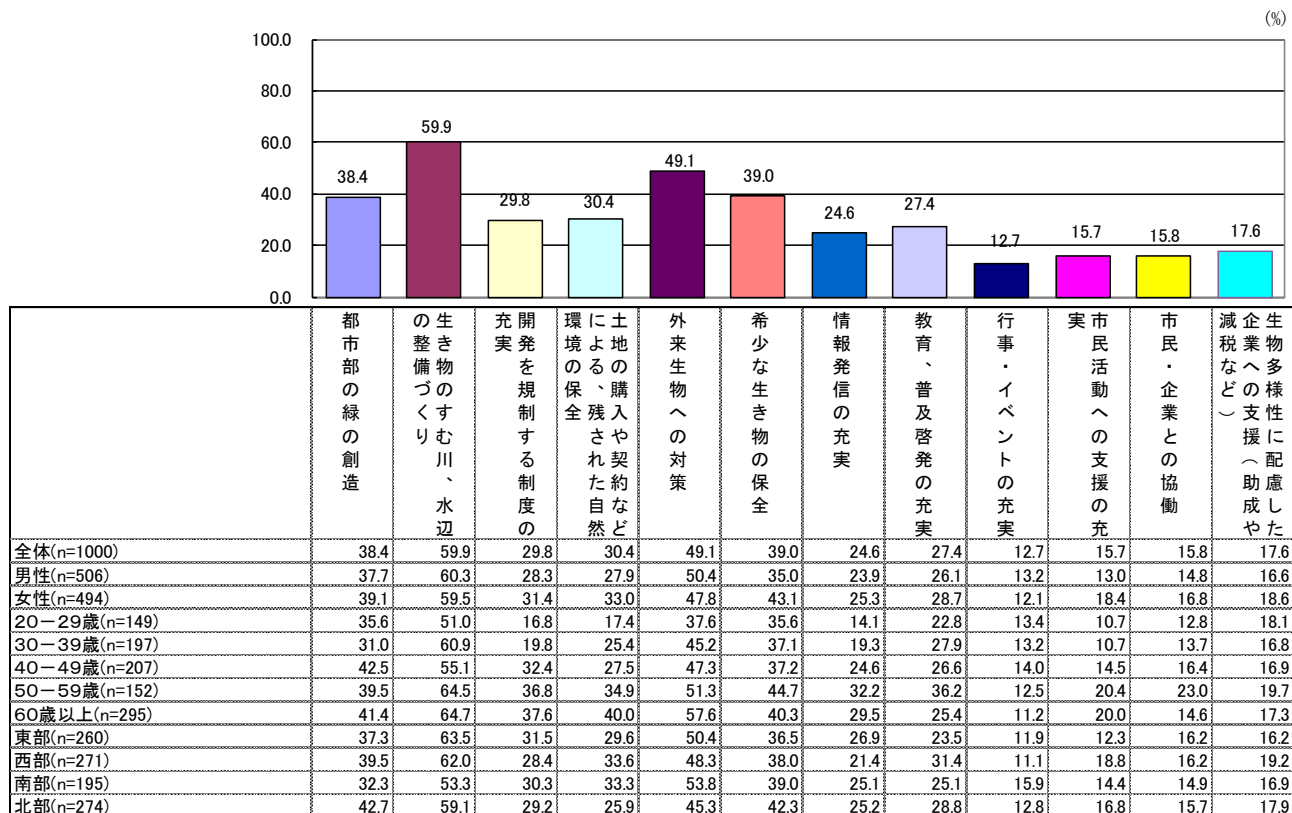
- よく知っている
- ある程度知っている
- 言葉は聞いたことがあるが意味は分からない
- 知らない



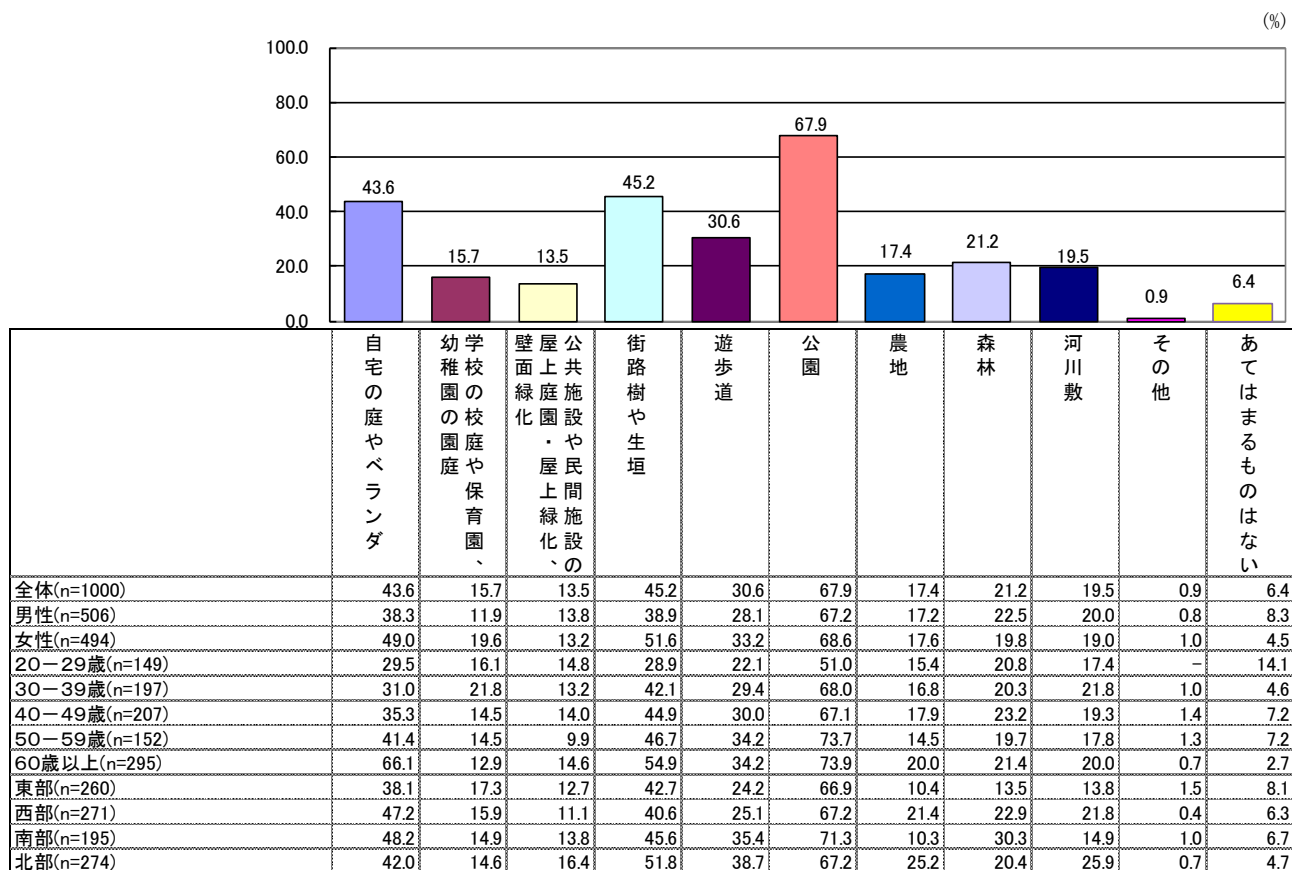
Q23. 近年、生物多様性の危機（開発や乱獲による生き物やその生息域の減少など）が問題として挙げられていますが、身近な問題としますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



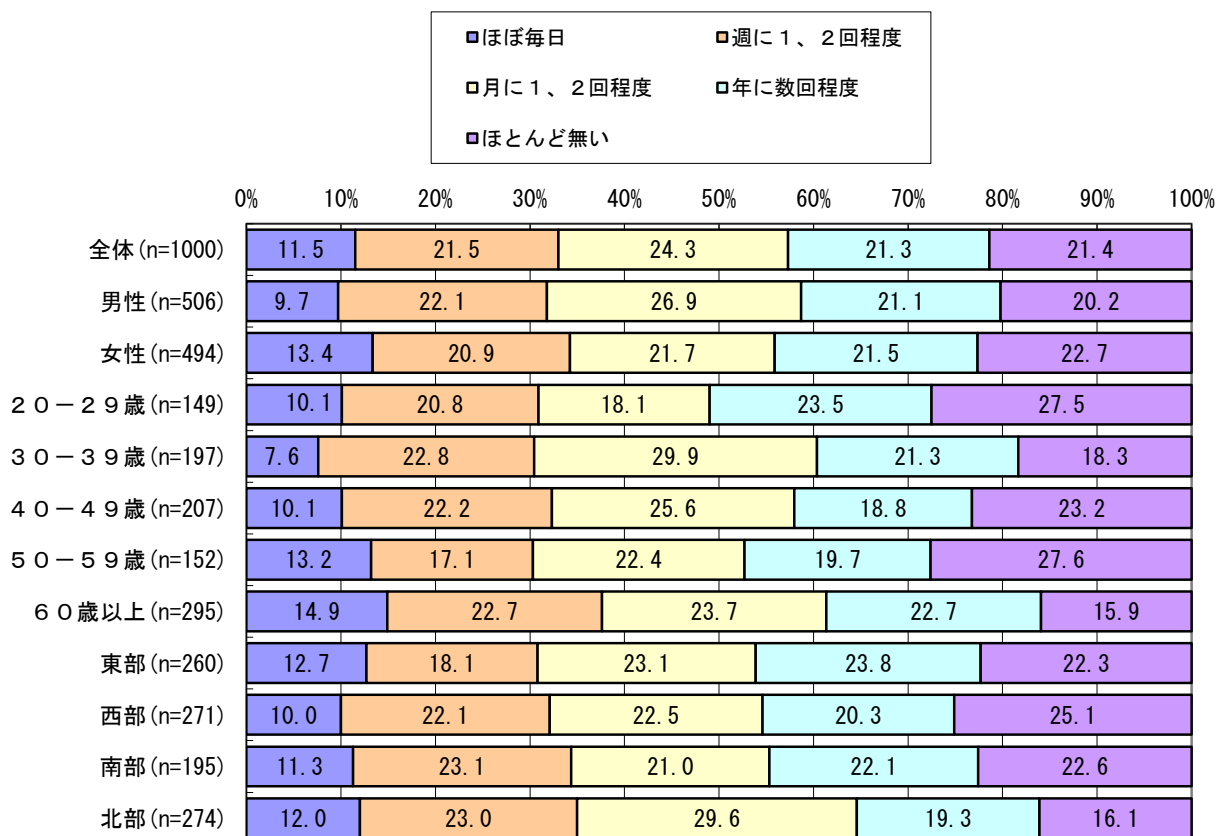
Q24. 横浜市では、「ヨコハマb (ビー) プラン (生物多様性横浜行動計画)」を策定し、生物多様性を守る取組を進めています。横浜市の取組のうち、特に必要だと思うものは何ですか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。



Q25. 身近に緑を感じられる環境はありますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

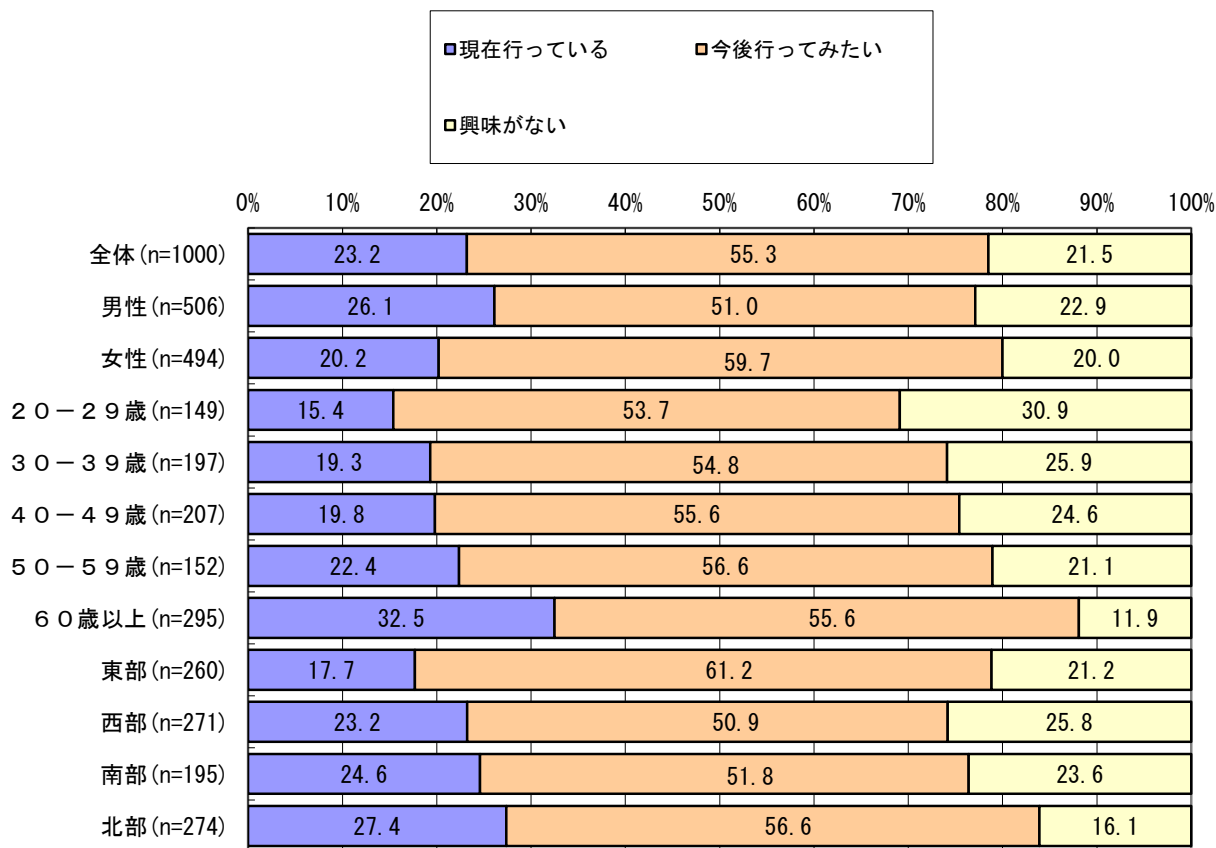


Q26. どれくらいの頻度で、公園や森林、水辺の広場など身近な自然環境に足を運んでいますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

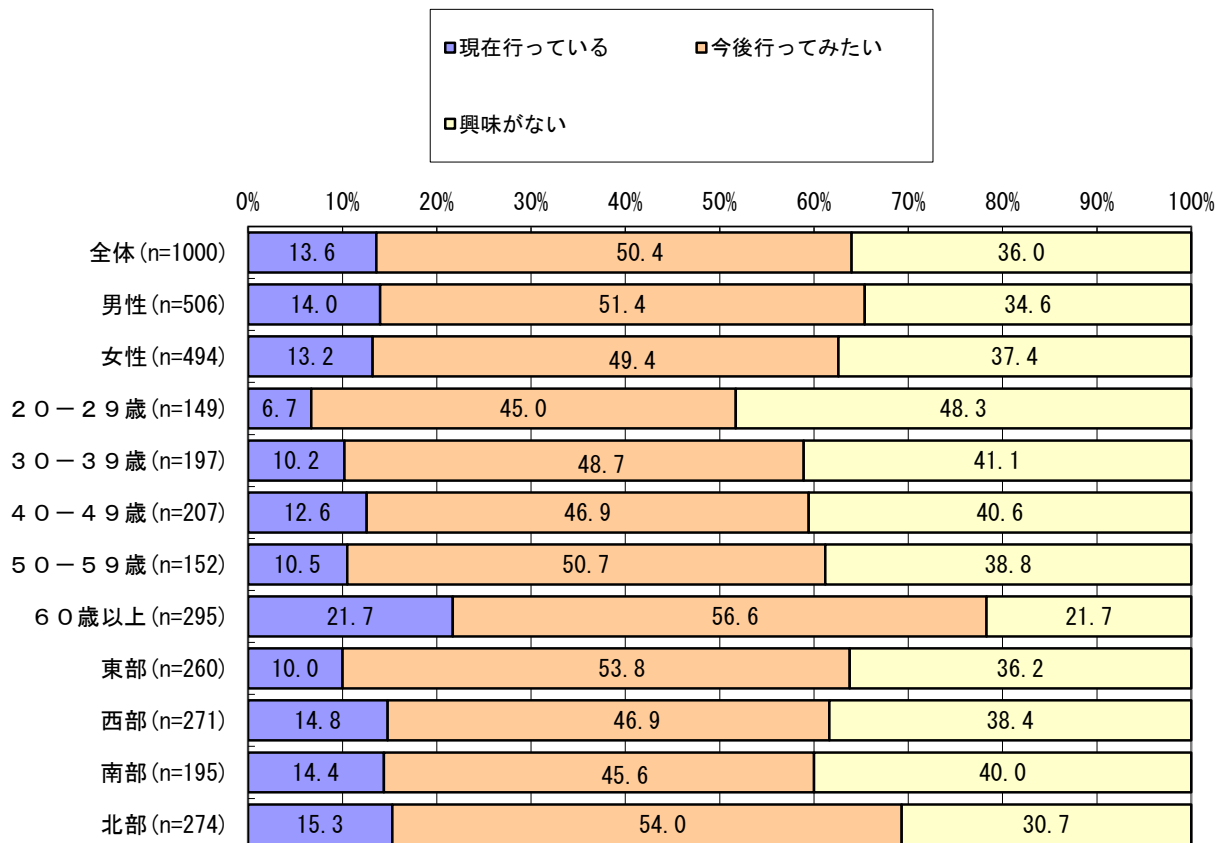


Q27. との関わりや活動について、現在行っていること、今後行ってみたいことはありますか。項目ごとに最も近いものを1つお選びください。

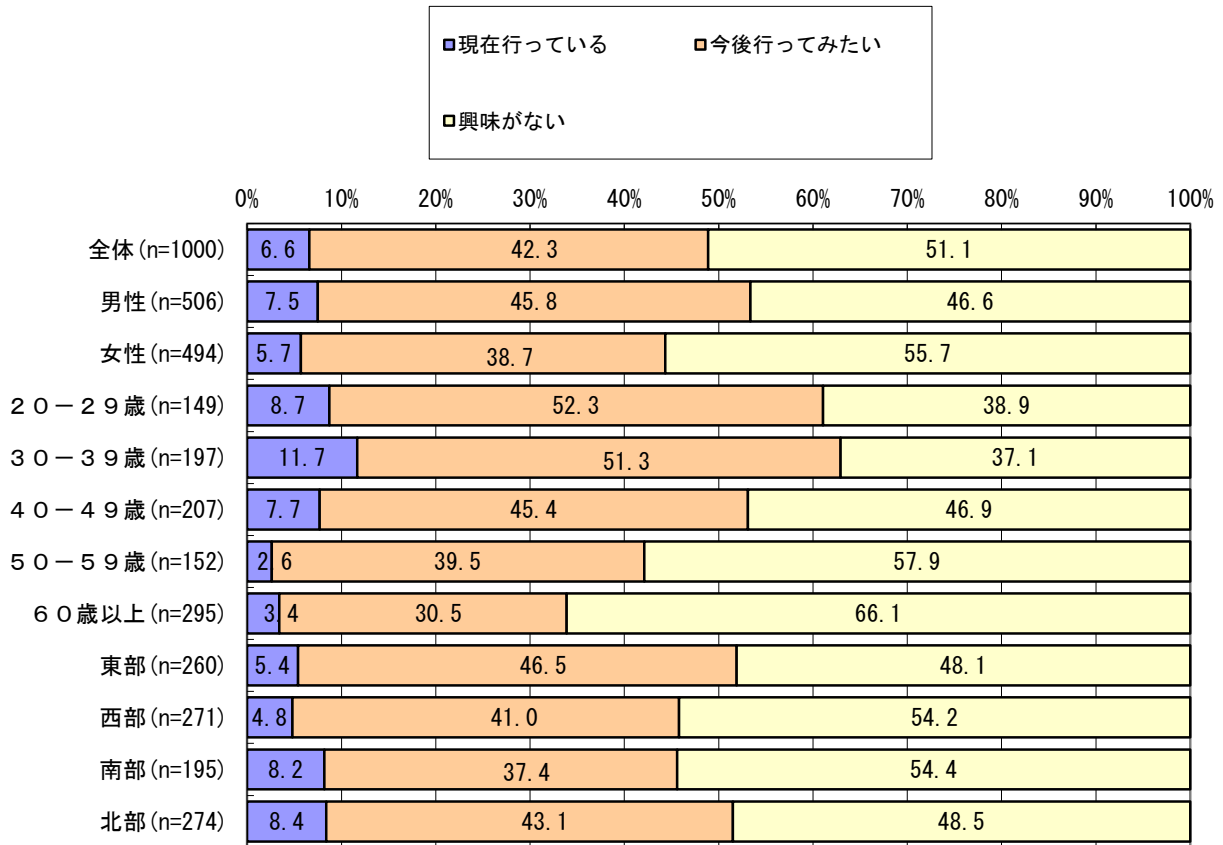
1. 森の中での散策、ウォーキング



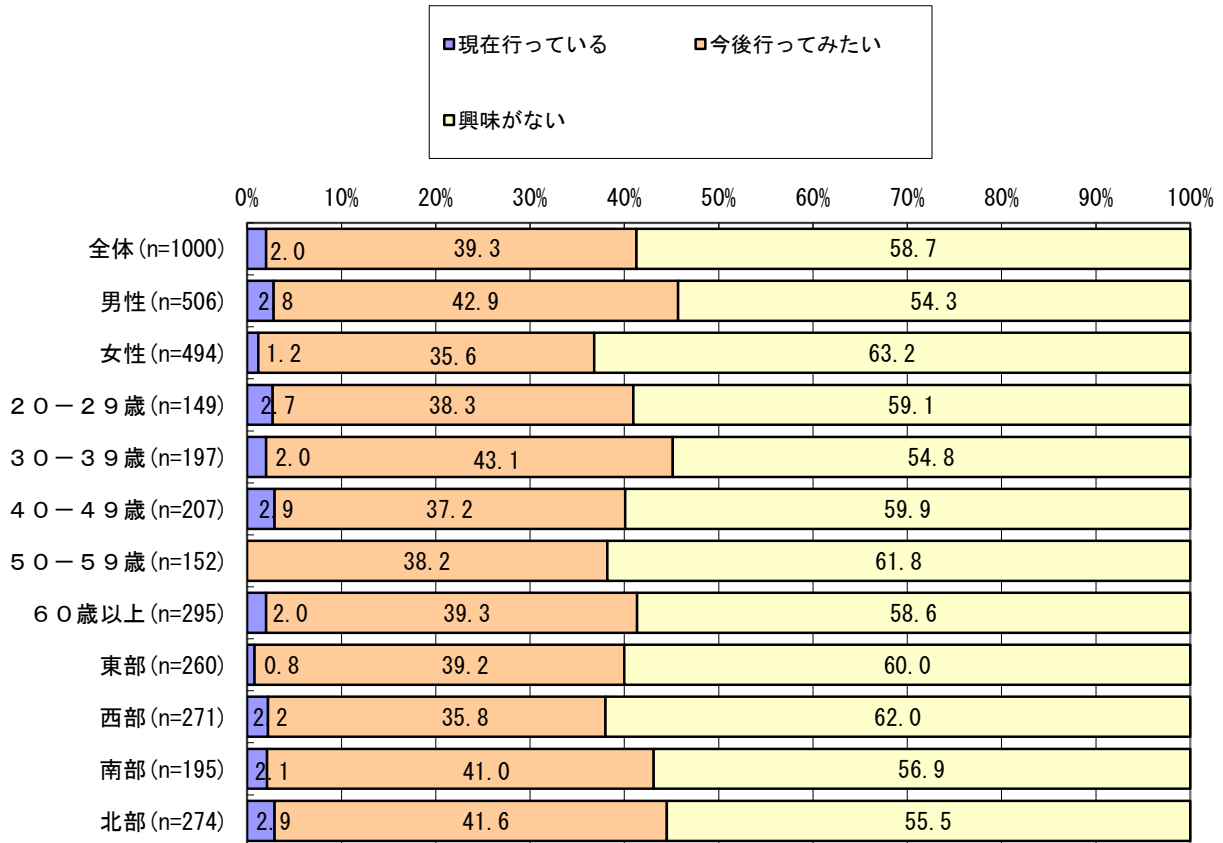
2. 森の中で花や鳥、虫などの動植物を楽しむこと



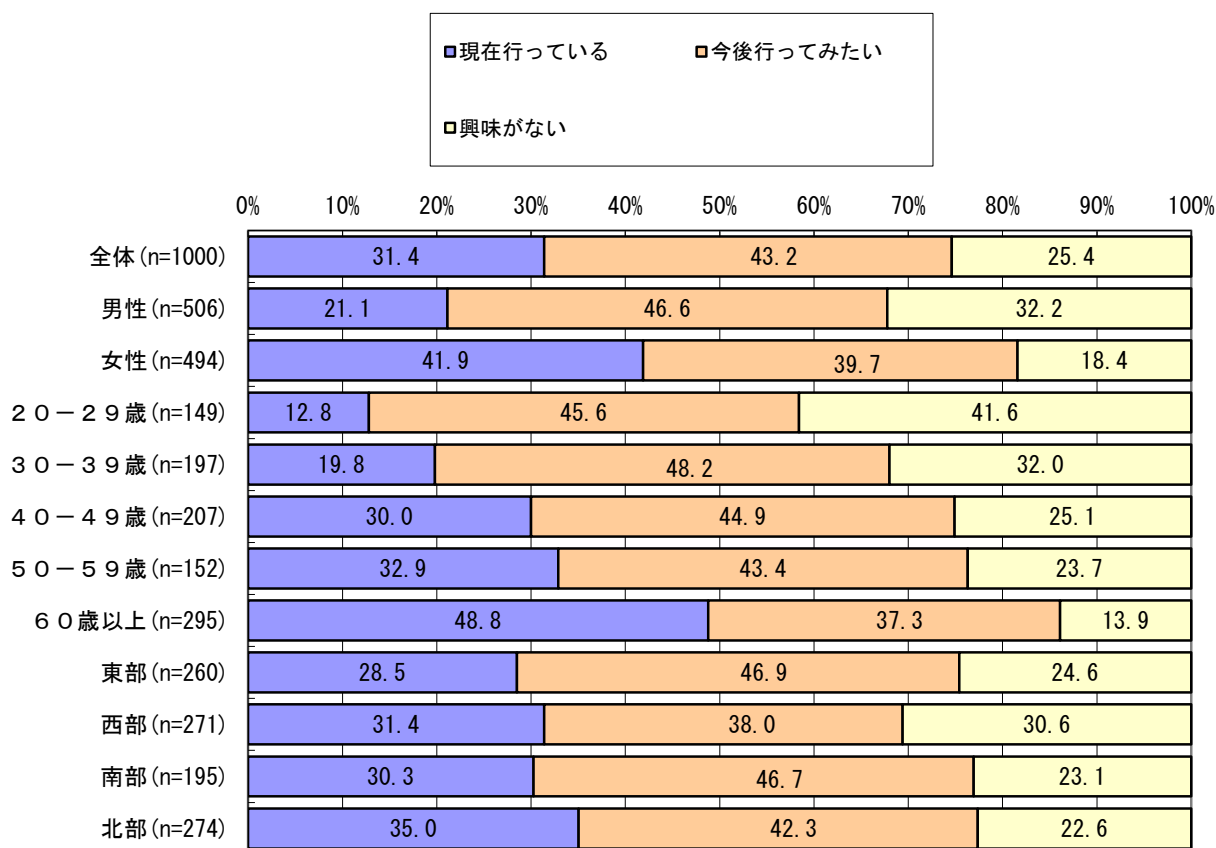
3. 森の中でのキャンプ、アスレチックなどのレクリエーション



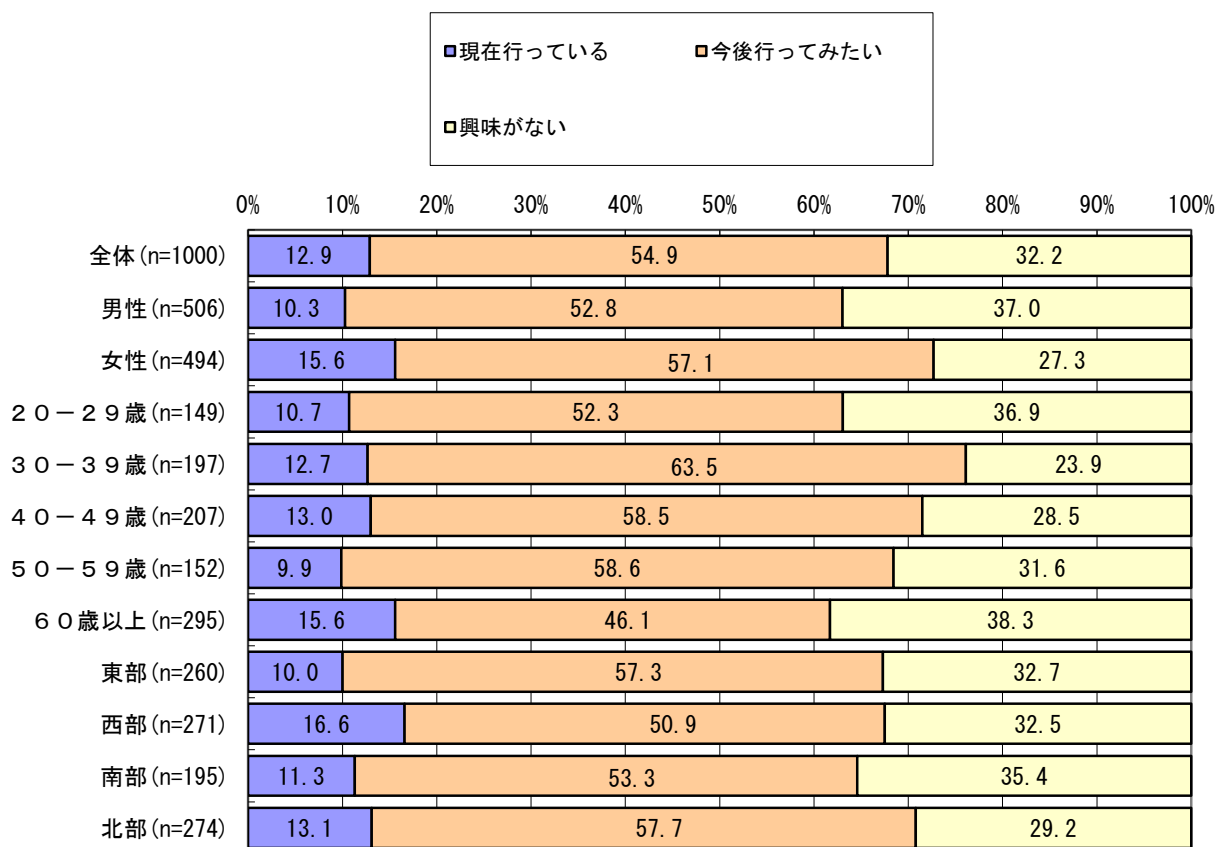
4. 森林の間伐などの維持管理活動



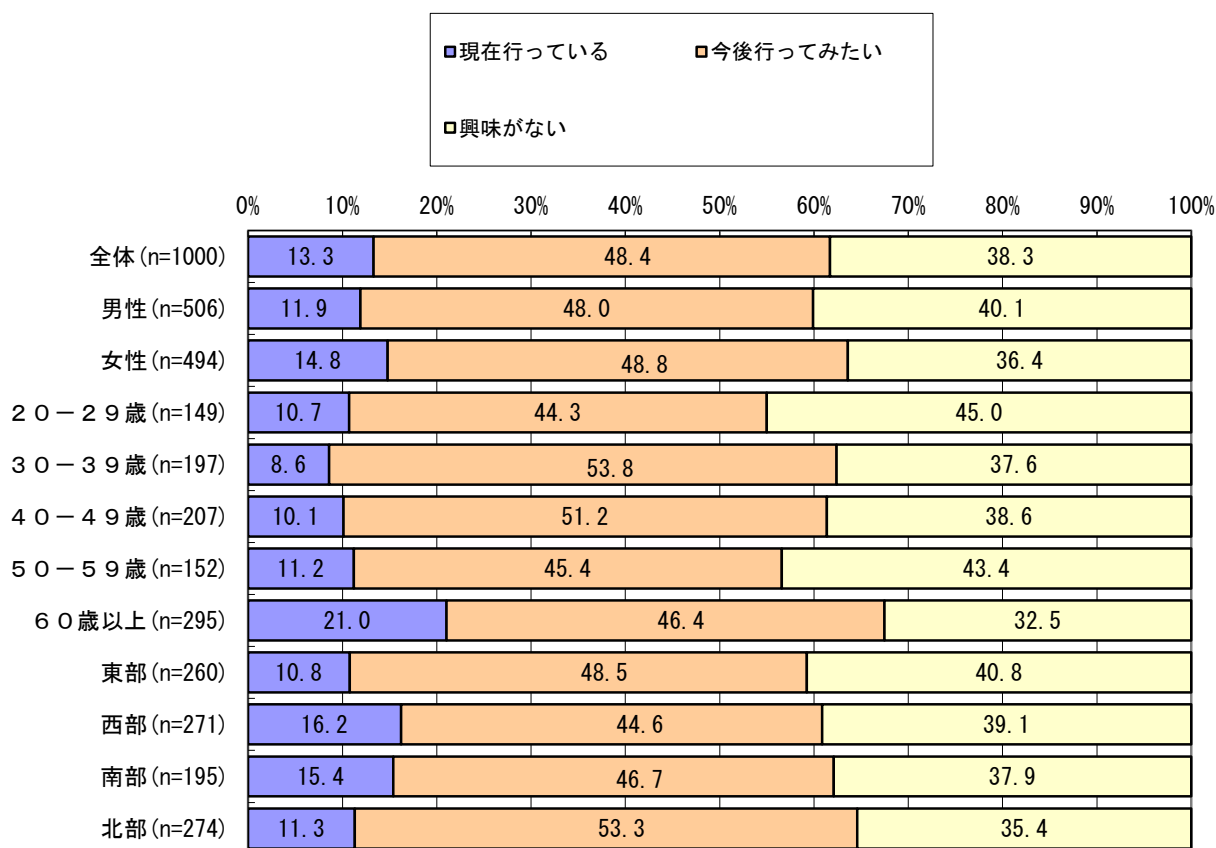
5. 横浜産の農産物を買う、食べることによる地産地消



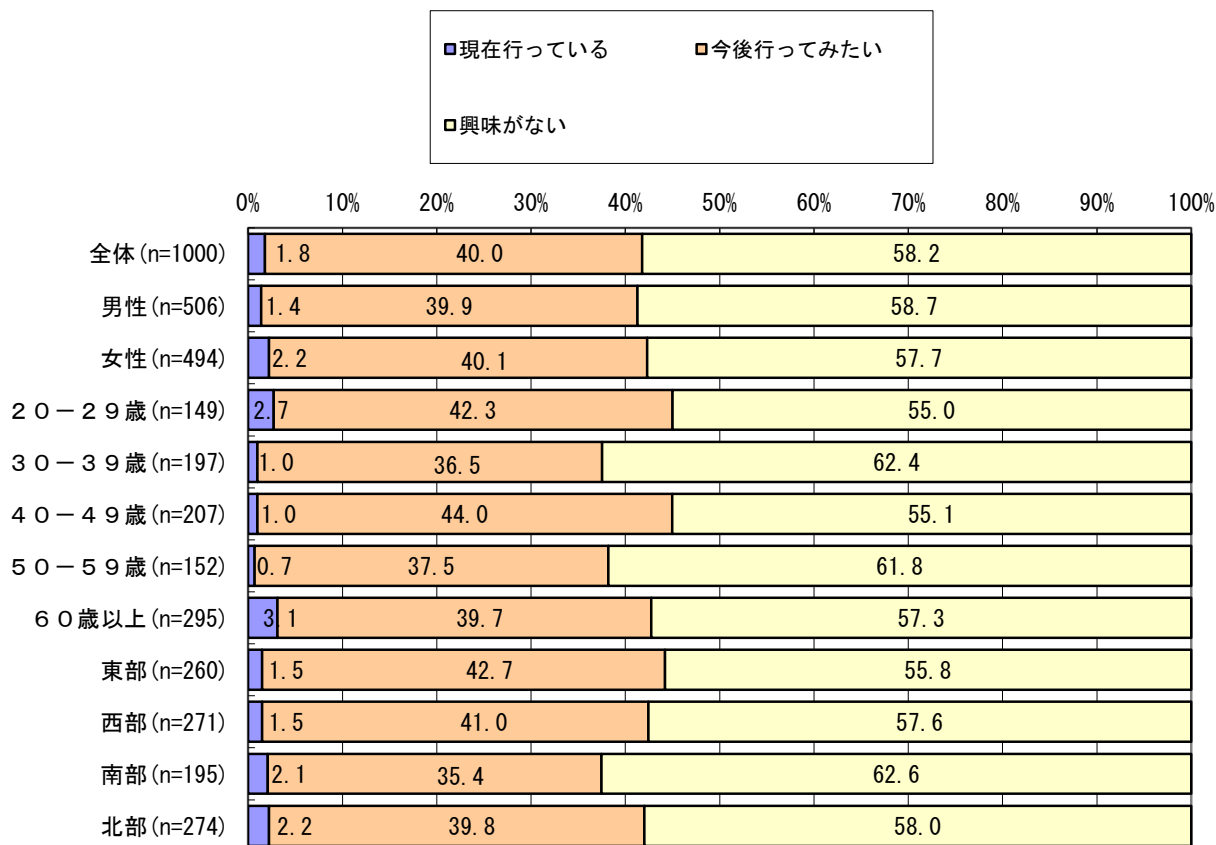
6. イチゴ狩りや芋掘りなどの収穫体験



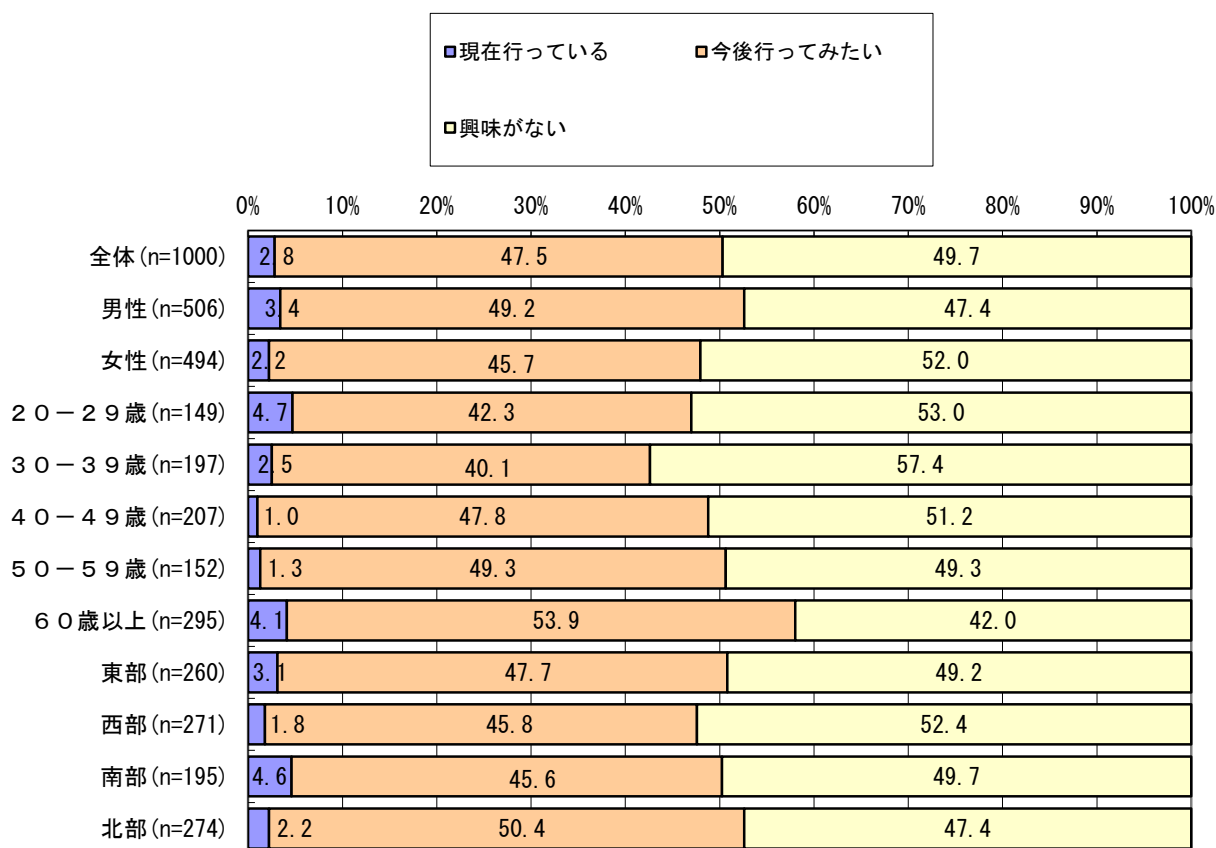
7. 一年を通しての野菜の栽培



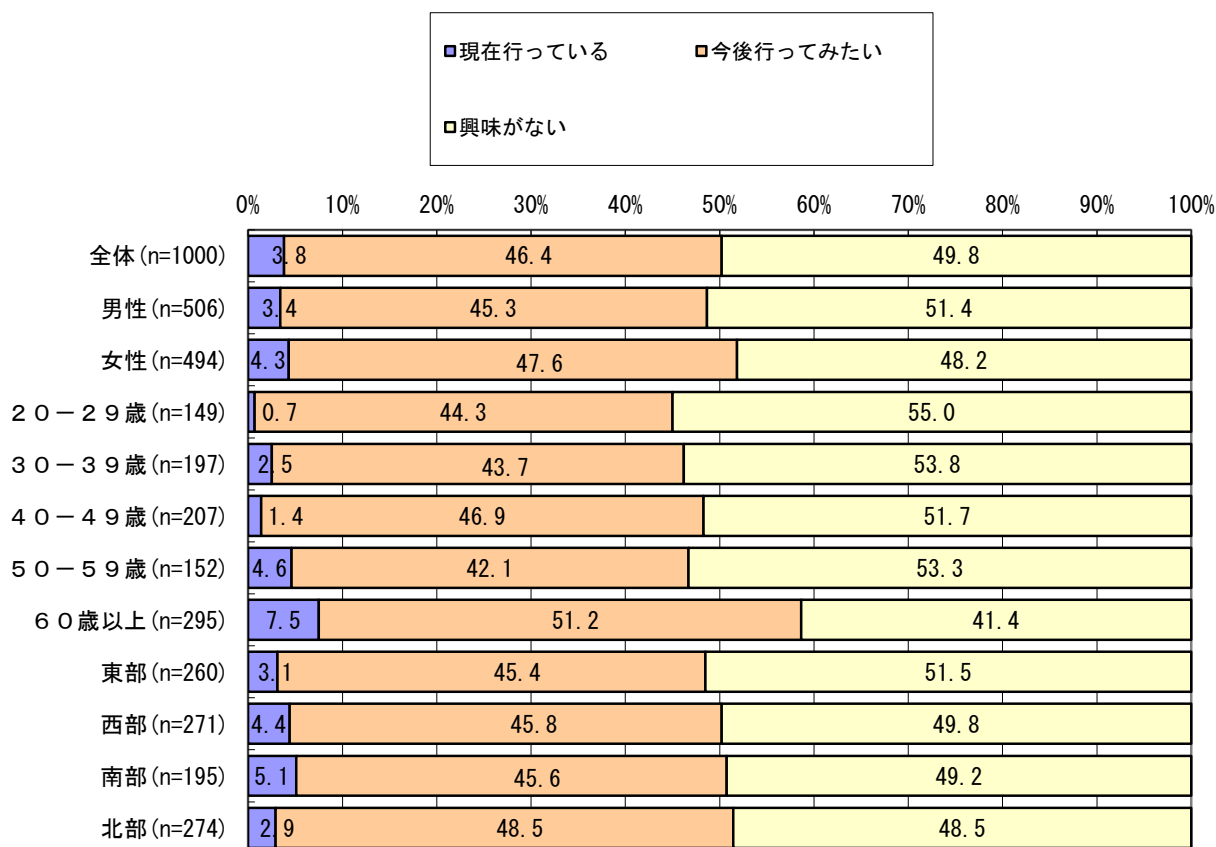
8. ボランティアなどによる農家の支援



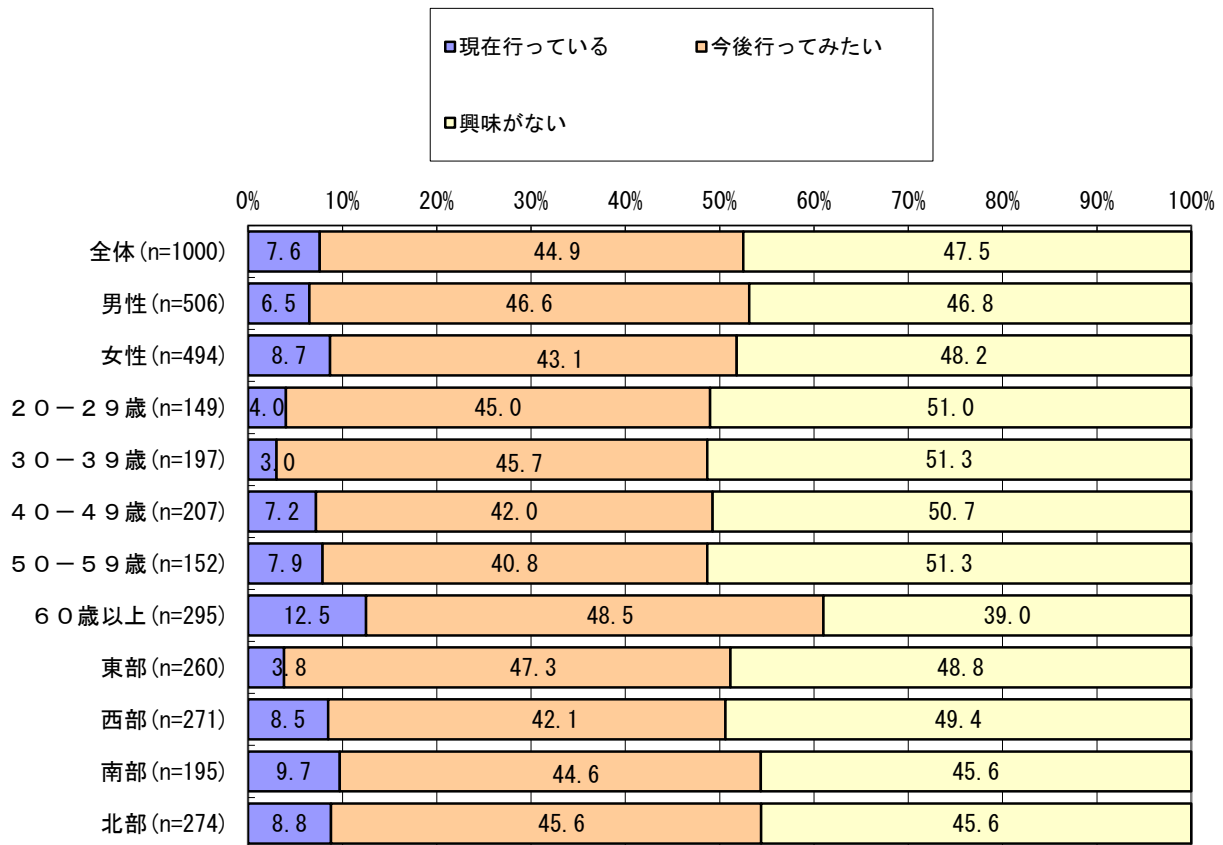
9. 谷戸や里山を守る活動



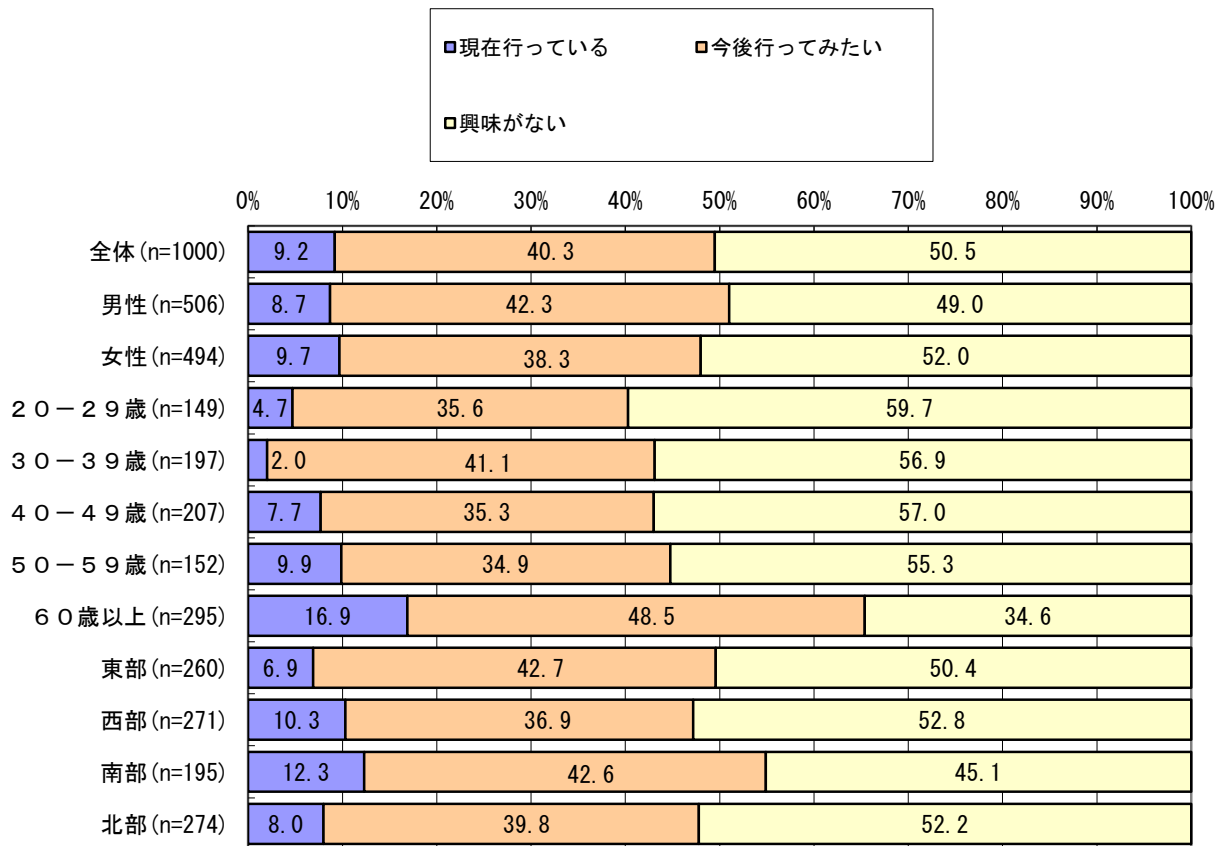
10. 公園などの公共の場所での花壇や植物の手入れ



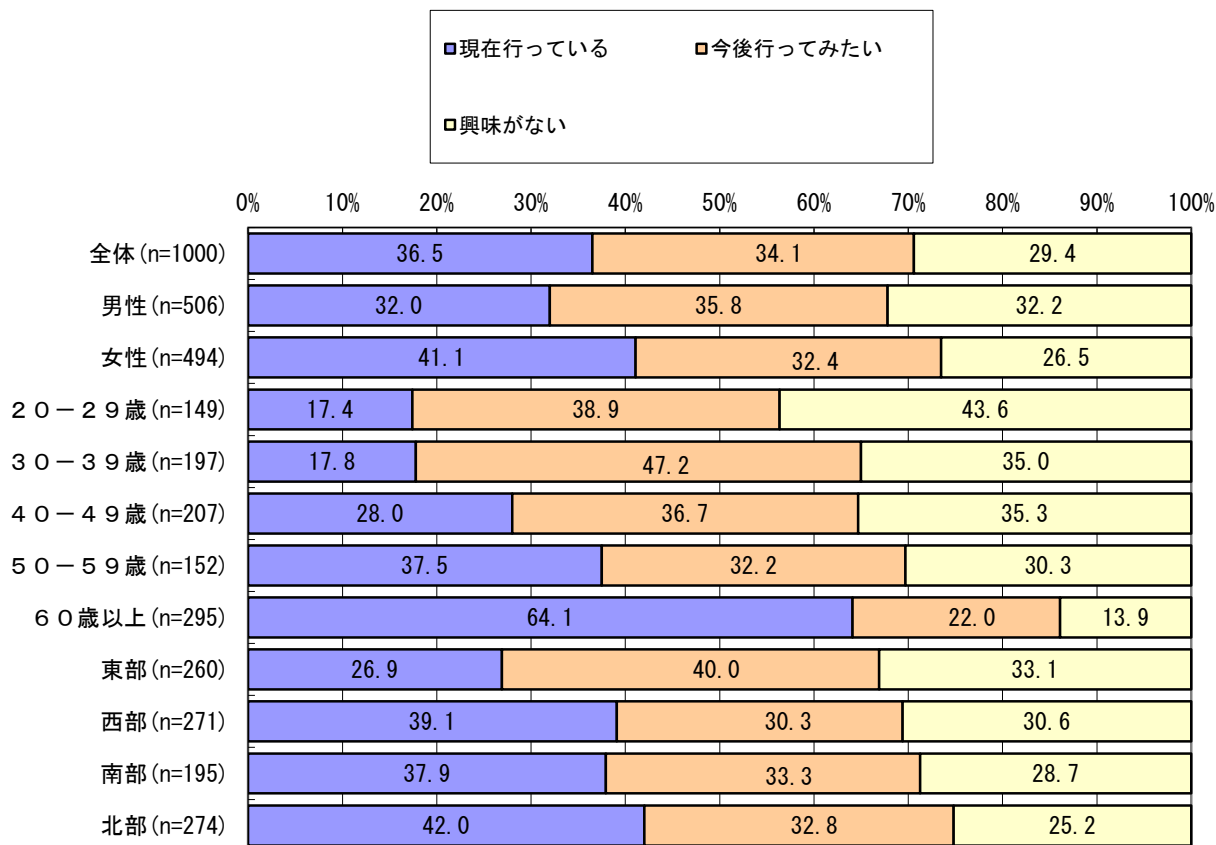
11. 公共の場所での落ち葉清掃や草刈りなど、街の景観を守る活動



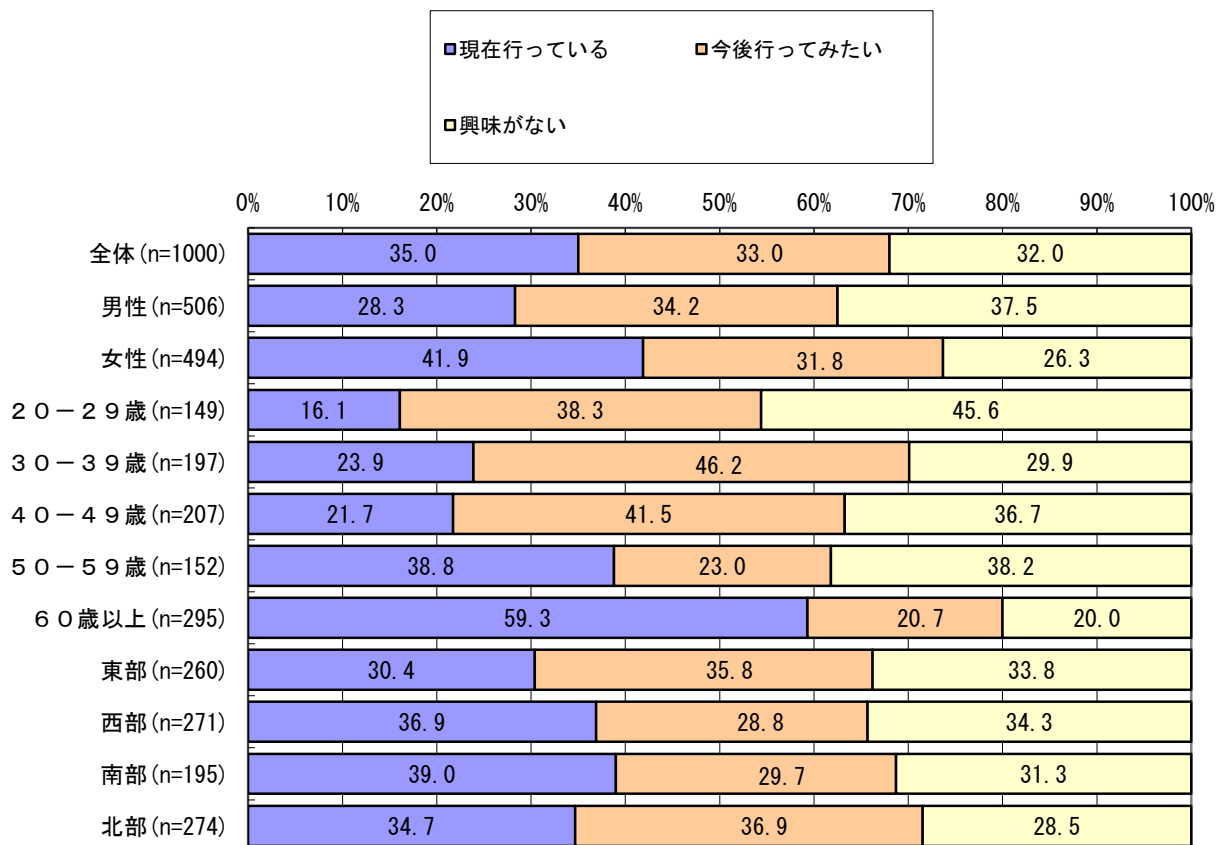
12. 町内会や管理組合、愛護会など、地域の緑に関わる活動



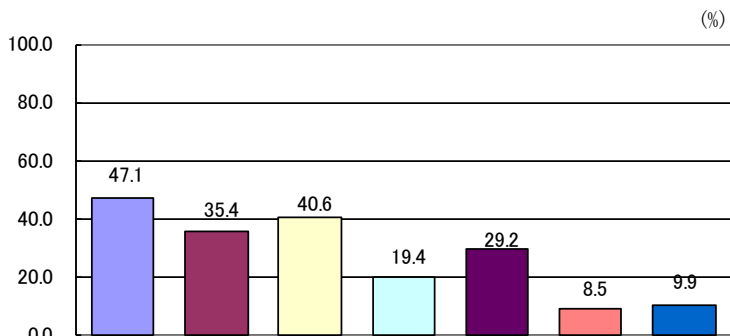
13. 自宅の庭やベランダなどのガーデニング



14. 自宅の中で観葉植物の育成



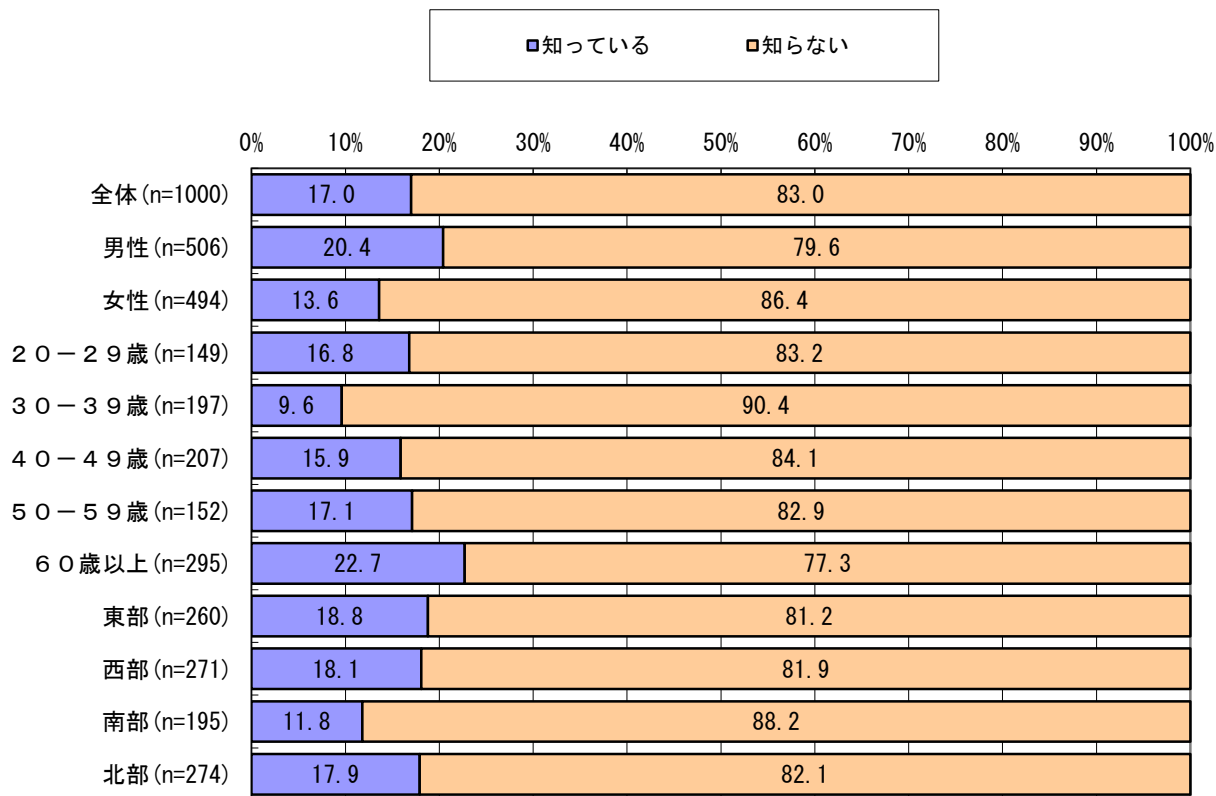
Q28. 横浜駅周辺などの都心部は、周辺部と比較して緑や水辺が多くはありません。このことについてどう考えますか。次のうち、あなたが特に優先的に必要だと考えるものを2つお選びください。



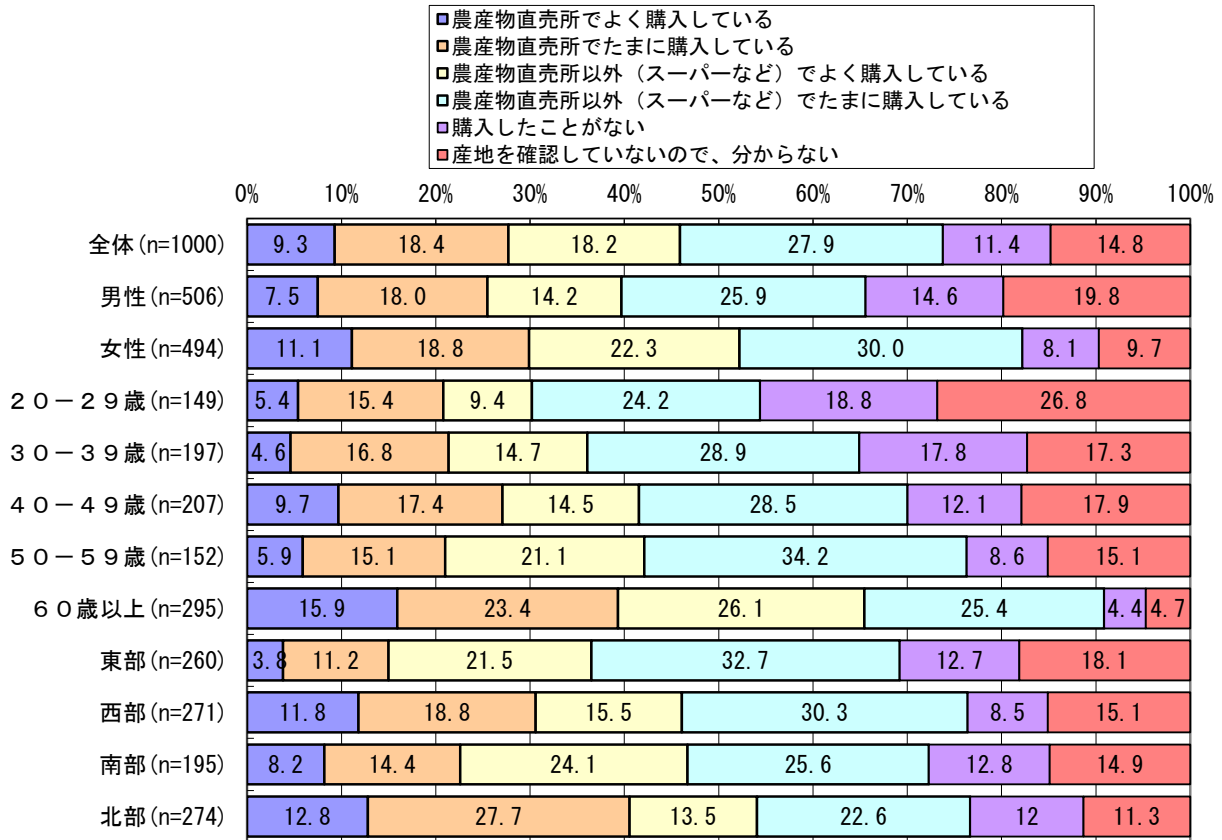
	水辺を増やすべき	公園などのオープンスペースを整備して緑を増やすべき	屋上や壁面の緑化などにより緑を増やすべき	街路樹で緑を増やすべき	緑や水辺に親しめる空間を増やすべき	親しめる空間として整備すべき	河川周辺や海辺を水にできる場所を整備すべき	市民農園などの農体験	は緑や水辺を増やす必要を感じない
全体(n=1000)	47.1	35.4	40.6	19.4	29.2	8.5	9.9		
男性(n=506)	49.0	32.0	38.7	20.8	31.2	6.1	11.1		
女性(n=494)	45.1	38.9	42.5	18.0	27.1	10.9	8.7		
20-29歳(n=149)	50.3	28.9	31.5	25.5	24.8	9.4	14.8		
30-39歳(n=197)	49.2	34.5	34.0	17.8	27.9	9.1	13.7		
40-49歳(n=207)	45.9	39.6	36.2	24.6	25.1	8.2	10.1		
50-59歳(n=152)	43.4	38.8	37.5	24.3	30.3	4.6	10.5		
60歳以上(n=295)	46.8	34.6	54.2	11.2	34.6	9.8	4.4		
東部(n=260)	50.4	39.2	40.0	21.9	25.8	7.3	7.7		
西部(n=271)	46.9	32.8	37.3	17.0	33.2	8.5	12.2		
南部(n=195)	45.1	30.8	48.7	20.5	32.8	7.7	7.2		
北部(n=274)	45.6	37.6	38.7	18.6	25.9	10.2	11.7		

Q29. 都市化の進展により地下への雨水浸透が低下し、水循環系が大きく変化しています。横浜市が住宅用雨水浸透ます※の設置に、助成金を交付する制度を設けていることを知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

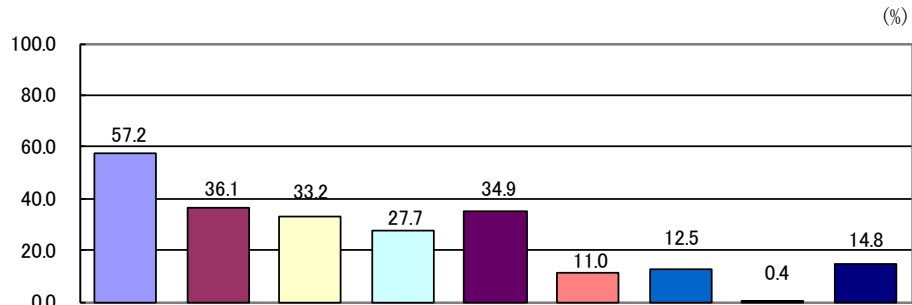
※雨水浸透ますは、設置することによって雨水を地中にしみ込みやすくするものです。



Q30. 横浜産の農産物を購入したことはありますか。次のうち、最も近いものを1つお選びください。



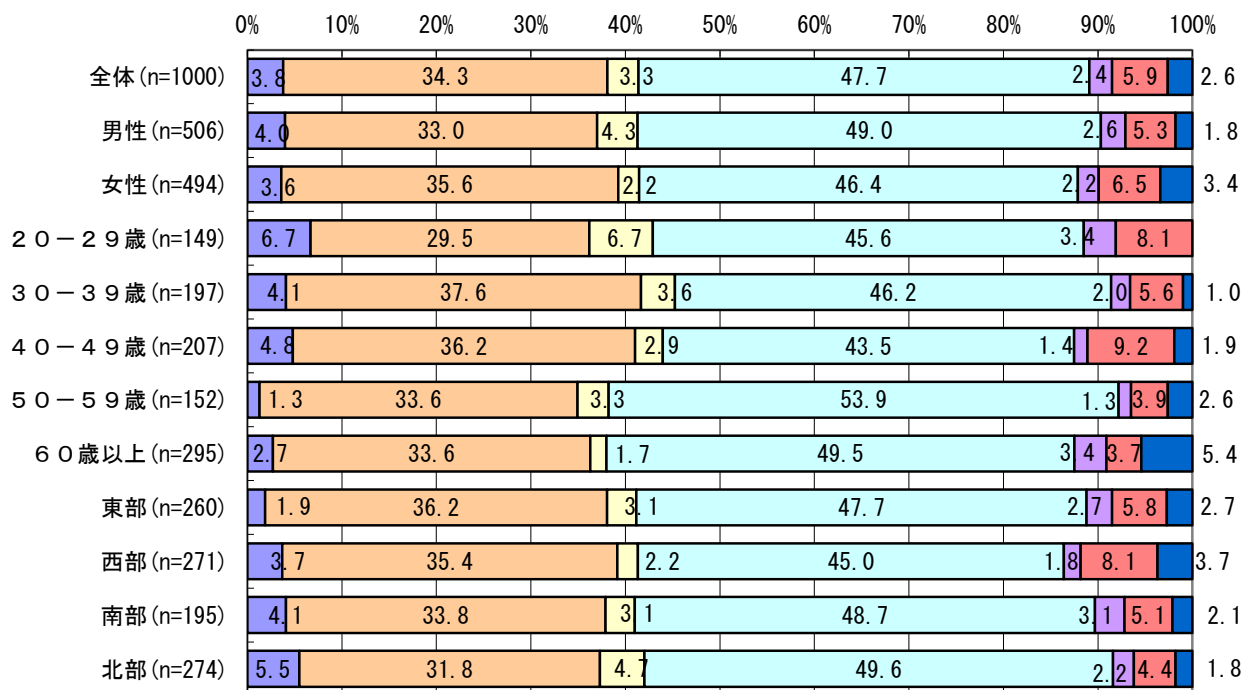
Q31. 横浜産の農産物を購入しようと思う理由について伺います。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)



	新鮮な農産物を購入した	おいしい農産物を購入し	農産物を安く購入したい	生産者の顔が見える安し	地元の農家を応援したい	近くにある店が自宅の	近売りにあるため	地元での農産物を購入する	その他の	購入したことがない
全体 (n=1000)	57.2	36.1	33.2	27.7	34.9	11.0	12.5	0.4	14.8	
男性 (n=506)	47.8	32.0	30.8	23.9	29.4	8.1	9.5	0.6	20.6	
女性 (n=494)	66.8	40.3	35.6	31.6	40.5	14.0	15.6	0.2	8.9	
20-29歳 (n=149)	36.2	32.9	30.9	14.8	27.5	10.7	4.7	-	31.5	
30-39歳 (n=197)	51.3	33.5	35.5	18.3	27.9	9.1	9.1	-	17.3	
40-49歳 (n=207)	54.1	34.8	32.9	28.0	31.9	10.6	8.2	-	18.8	
50-59歳 (n=152)	57.9	38.2	36.2	32.9	38.8	9.2	15.1	1.3	12.5	
60歳以上 (n=295)	73.6	39.3	31.5	37.6	43.4	13.6	20.3	0.7	3.1	
東部 (n=260)	56.2	38.8	35.4	26.2	38.8	7.7	12.3	0.4	12.7	
西部 (n=271)	52.8	31.4	32.1	27.7	35.4	13.7	10.0	0.7	15.5	
南部 (n=195)	57.9	33.3	27.2	30.8	28.7	5.6	10.8	0.5	15.9	
北部 (n=274)	62.0	40.1	36.5	27.0	35.0	15.3	16.4	-	15.3	

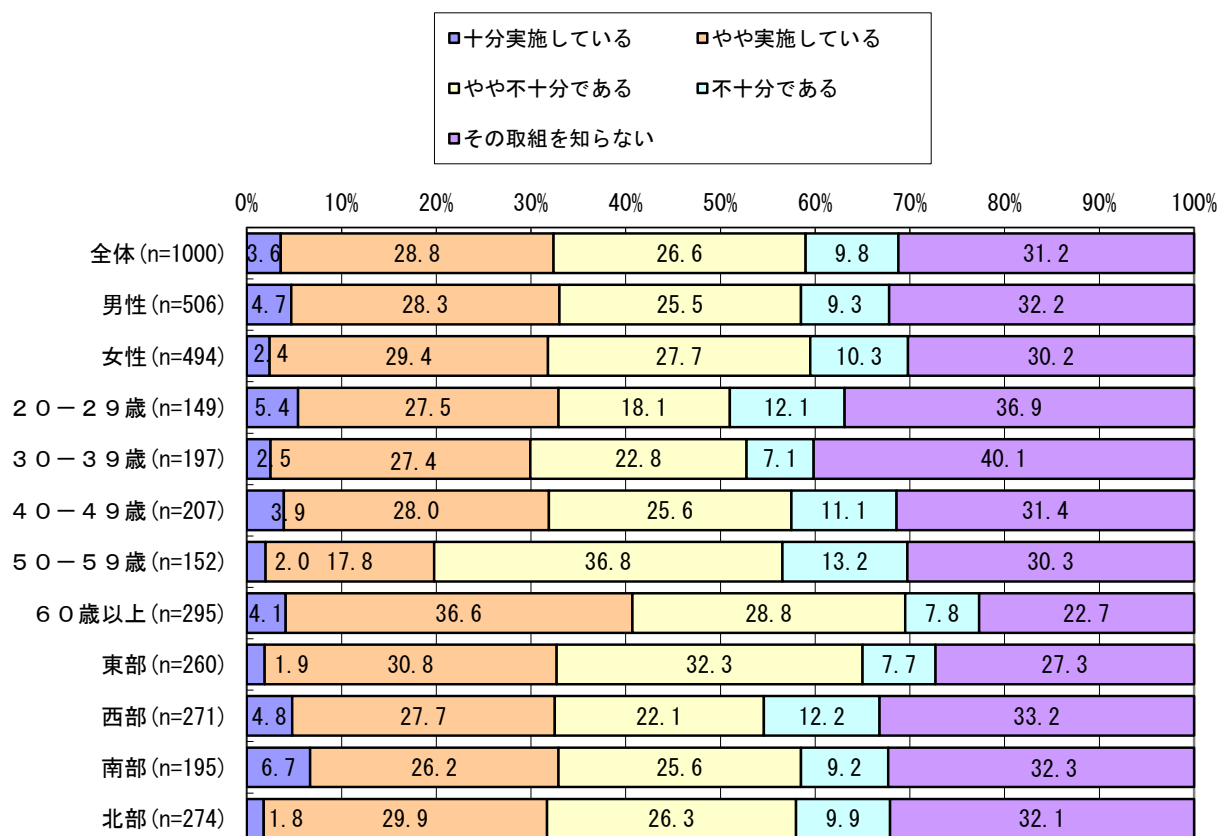
Q32. 横浜市内にある市民農園で農作業を体験してみたいと思いますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

- 現在利用しており、今後も継続して利用したい
- これまで利用したことはないが、今後利用してみたい
- 現在利用しているが、今後は利用したいと思わない
- 利用したいとは思わない
- 横浜市外の市民利用型農園を利用している(したい)
- 収穫体験など、市民利用型農園以外の農作業を体験したい
- その他

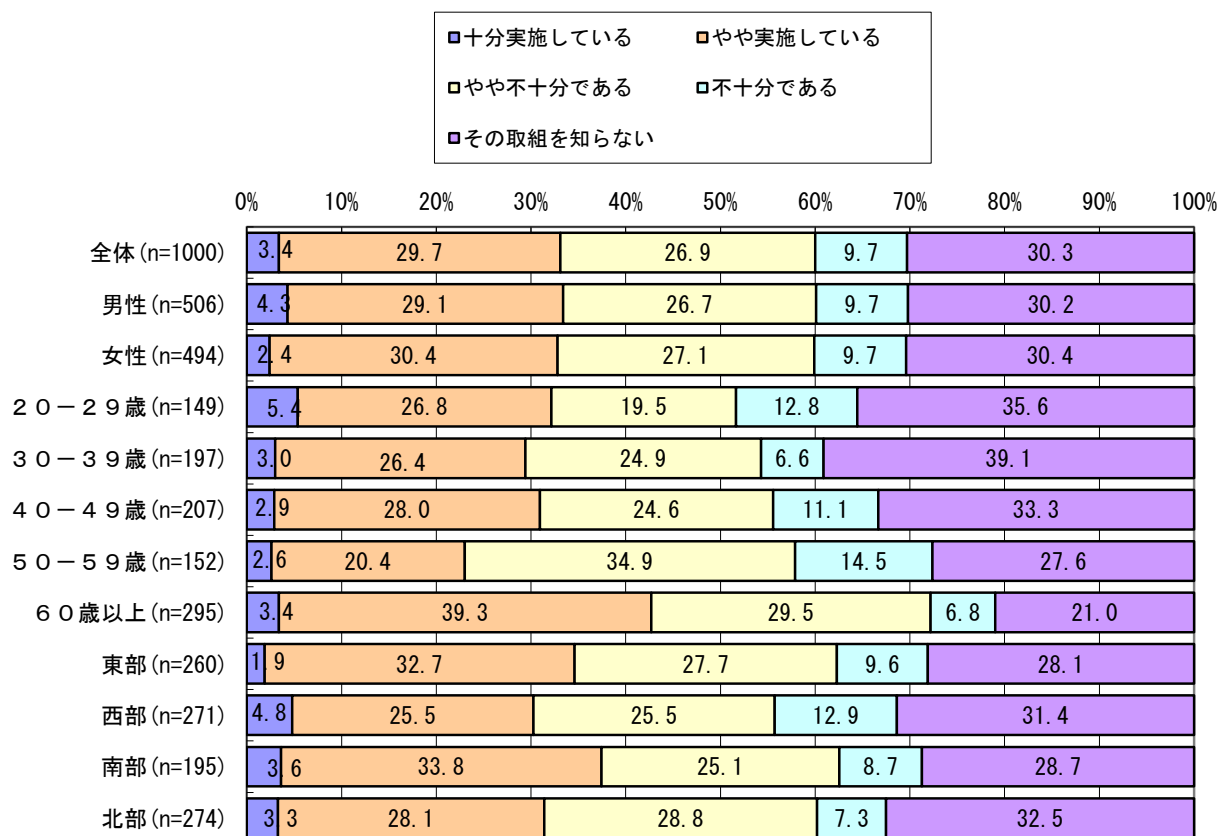


Q33. 横浜市が現在行っている環境に関する以下の取組について、どのように感じていますか。項目ごとに、最も近いものを1つお選びください。

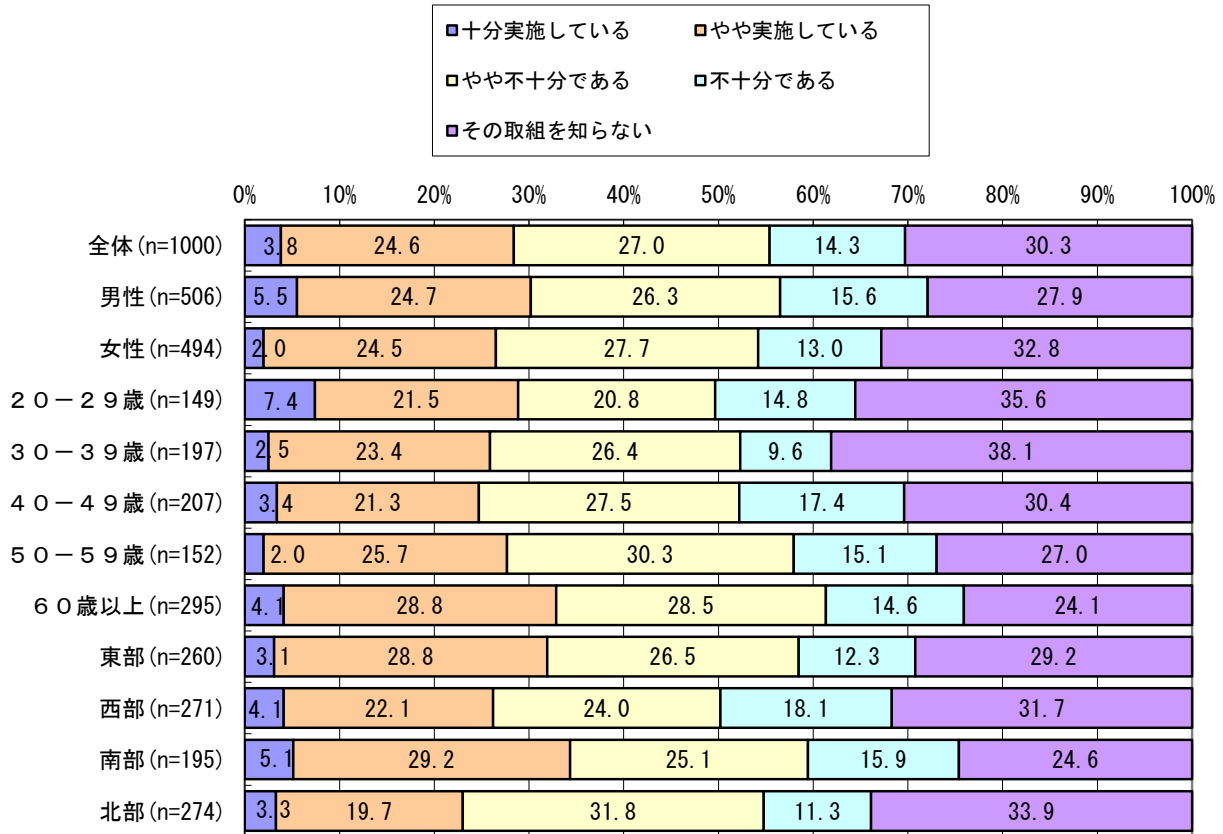
1. 地球温暖化防止への取組



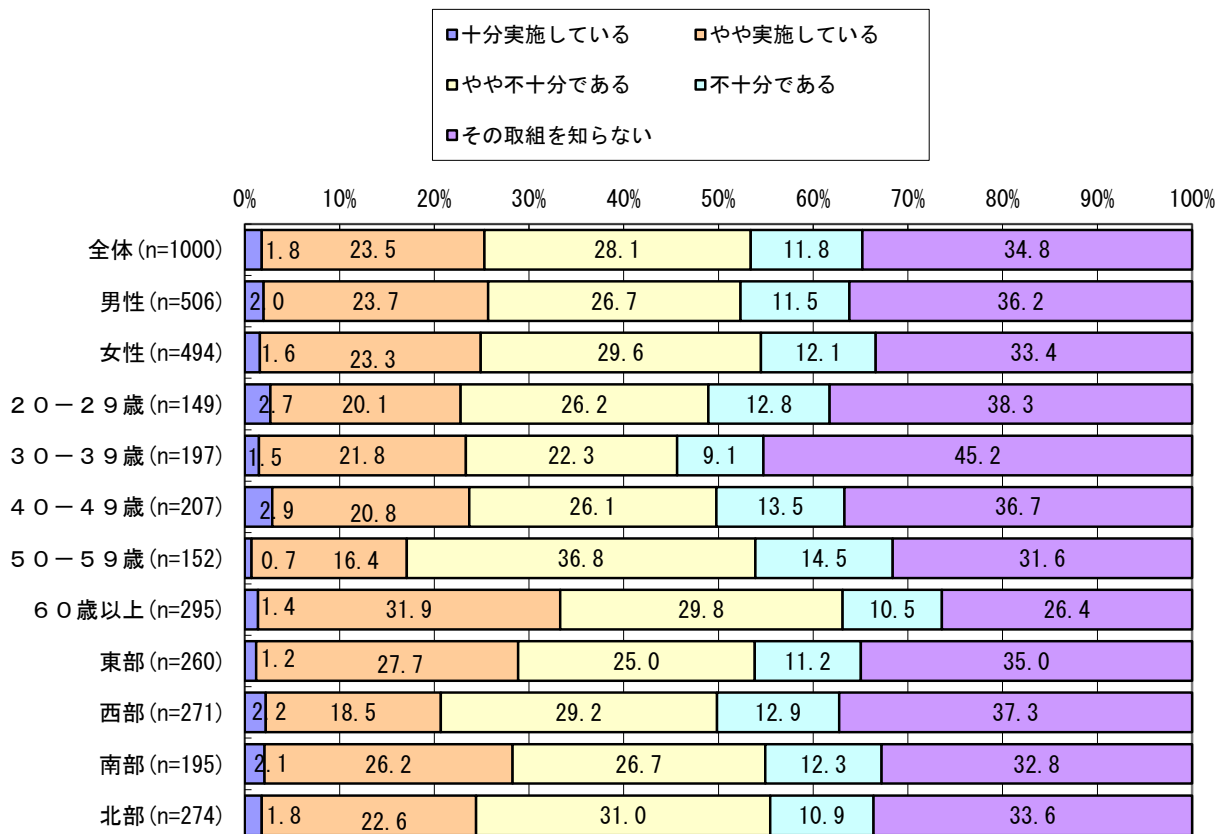
2. 省エネルギーや新エネルギーの利用の取組



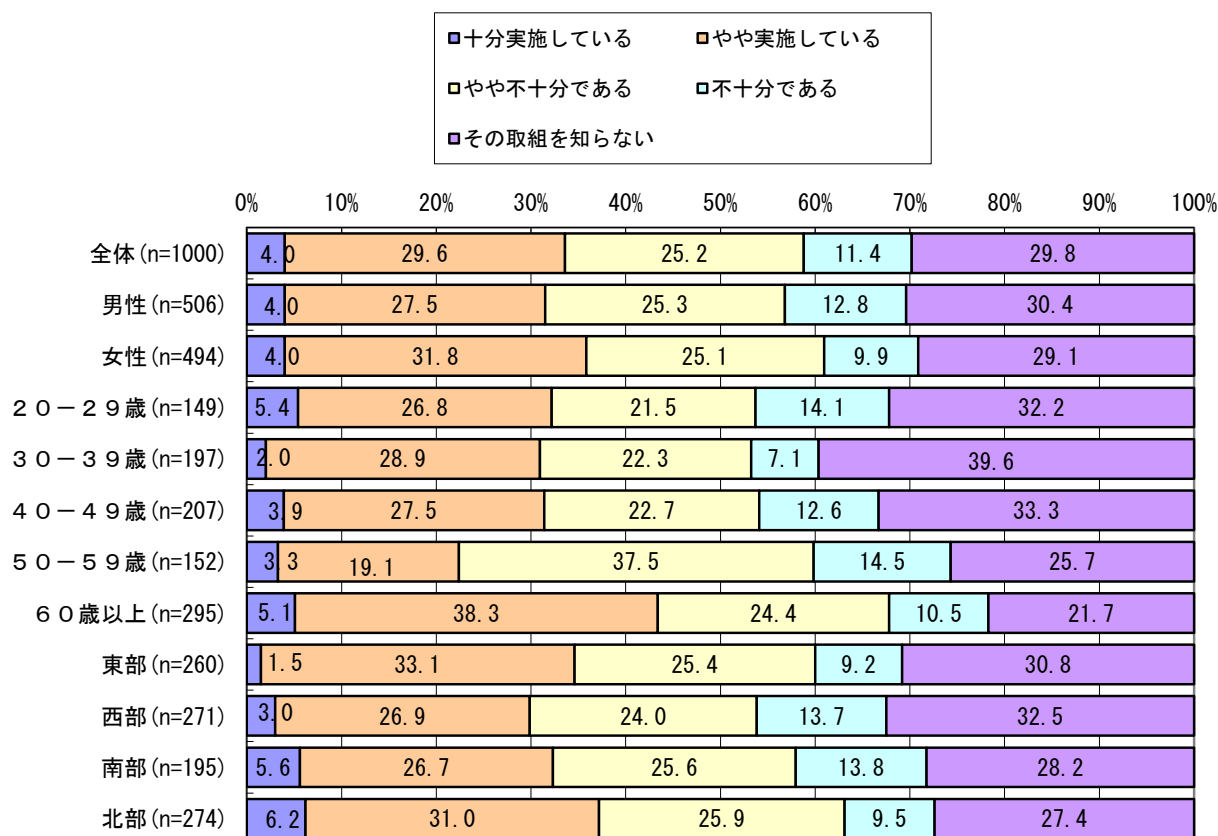
3. 燃料電池自動車等、次世代自動車の普及



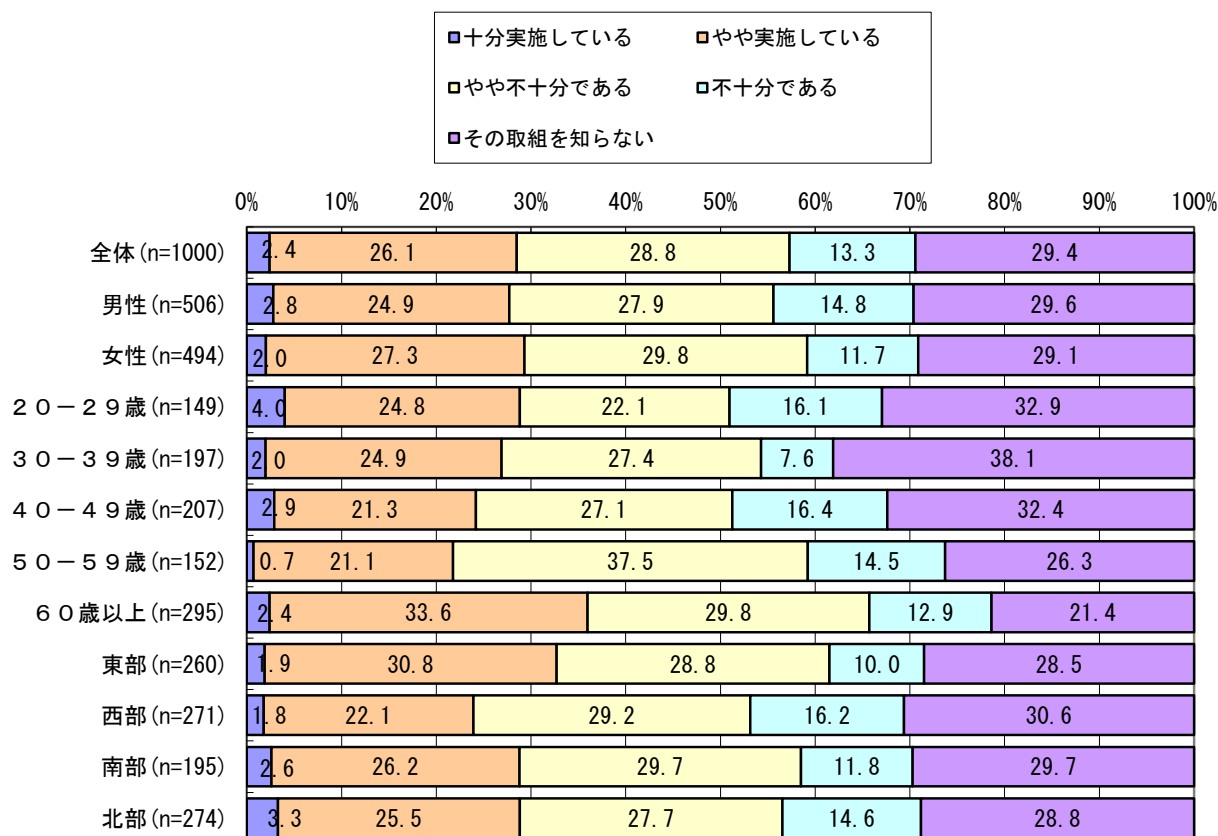
4. 生物多様性の保全、再生、創造



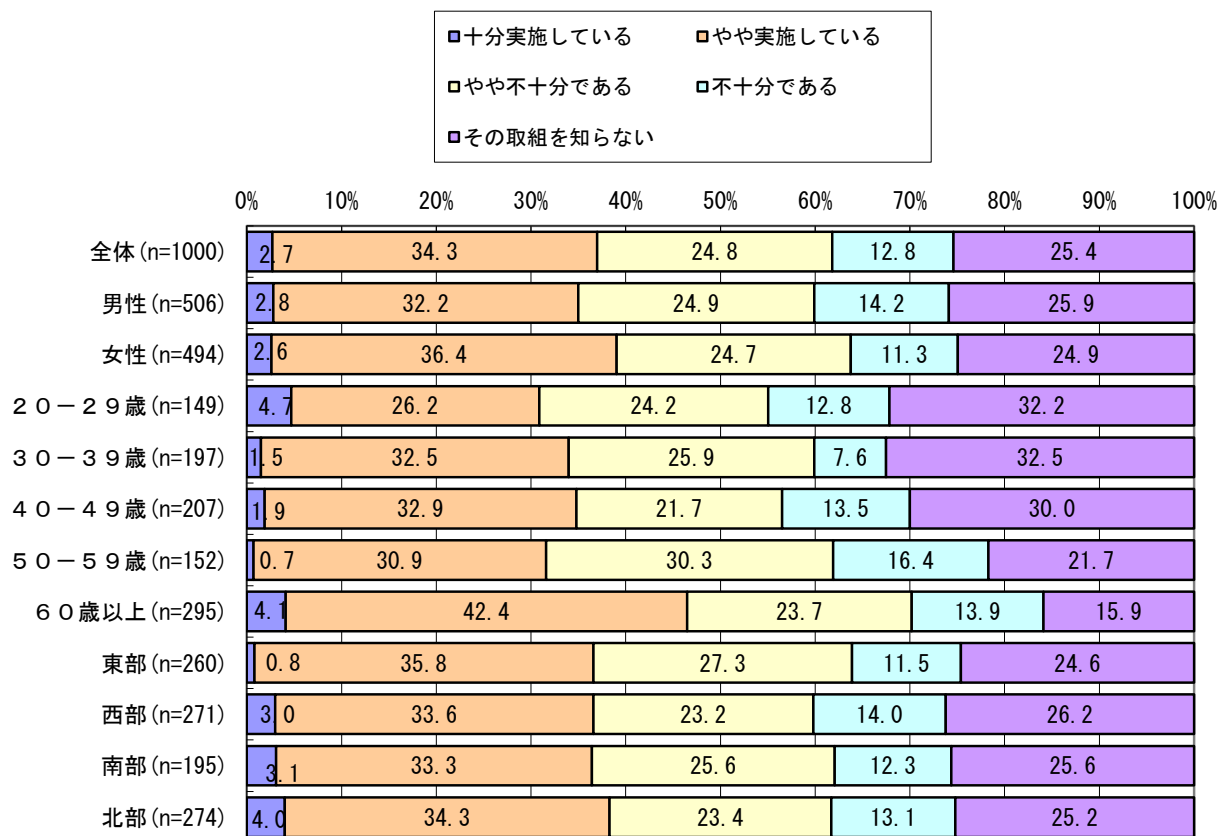
5. 郊外部のまとまった緑の保全



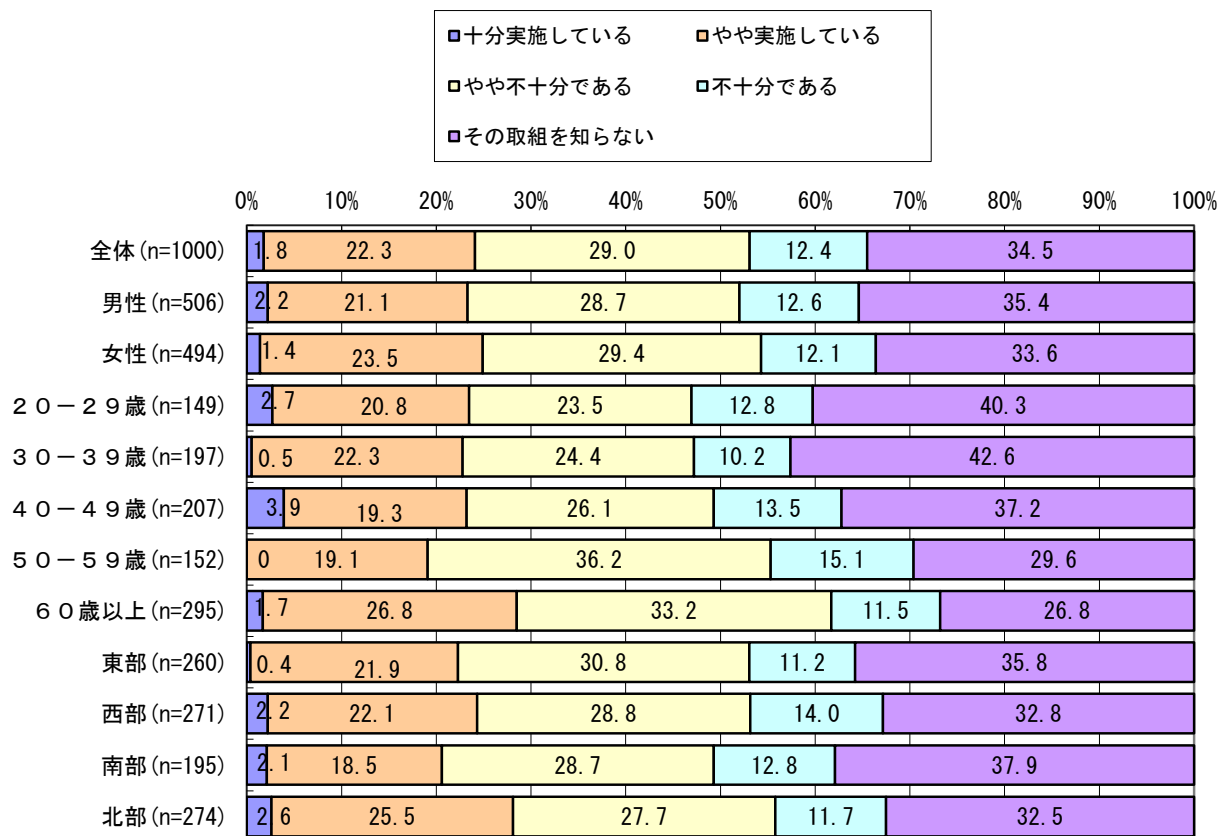
6. 都心臨海部など市街地での緑の創出



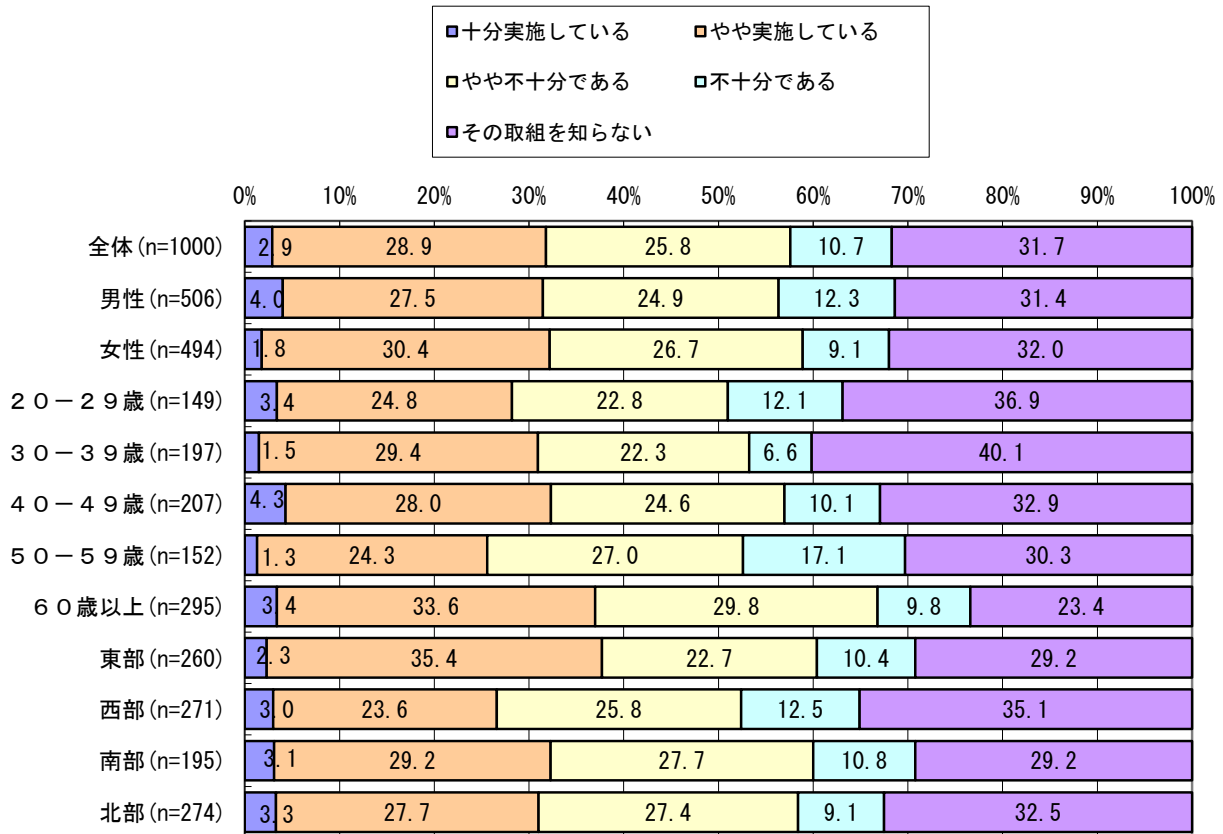
7. 公園や道路、河川沿いの緑の保全・創出



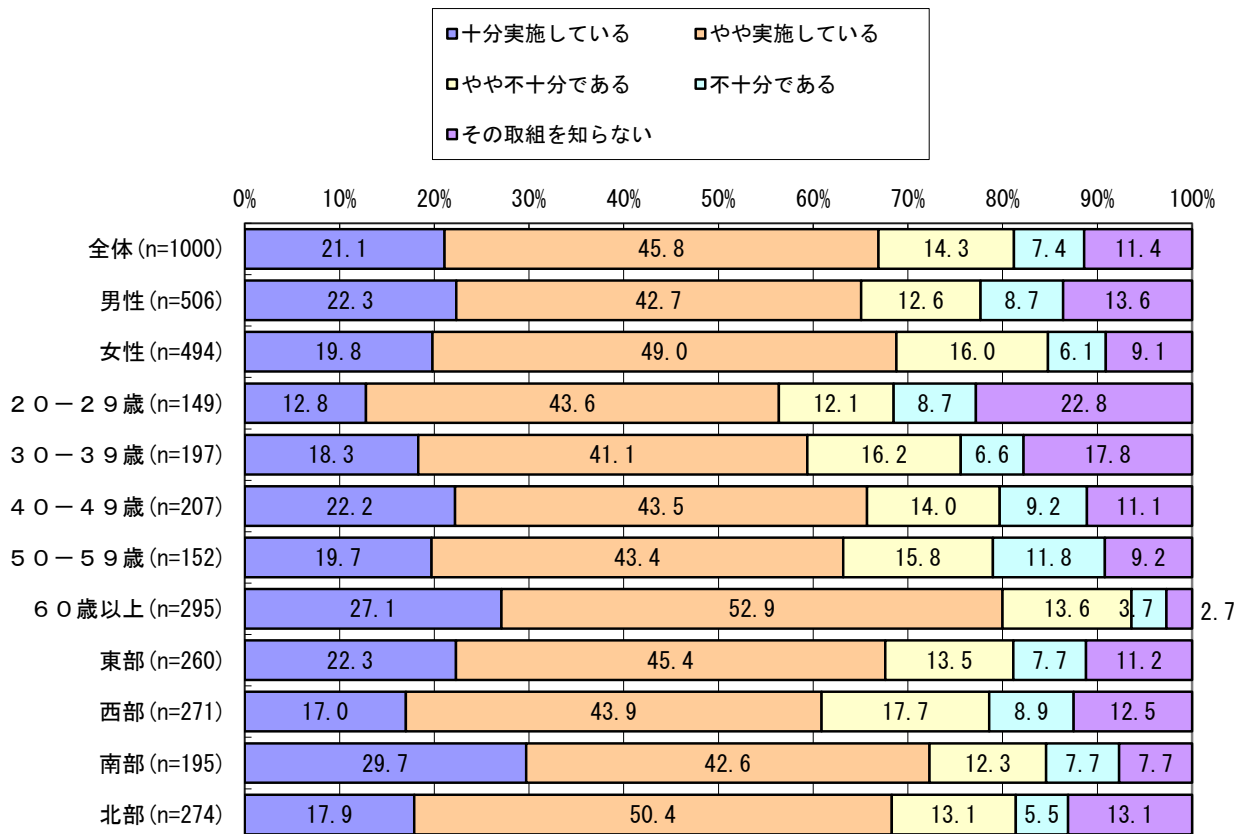
8. 農地の保全



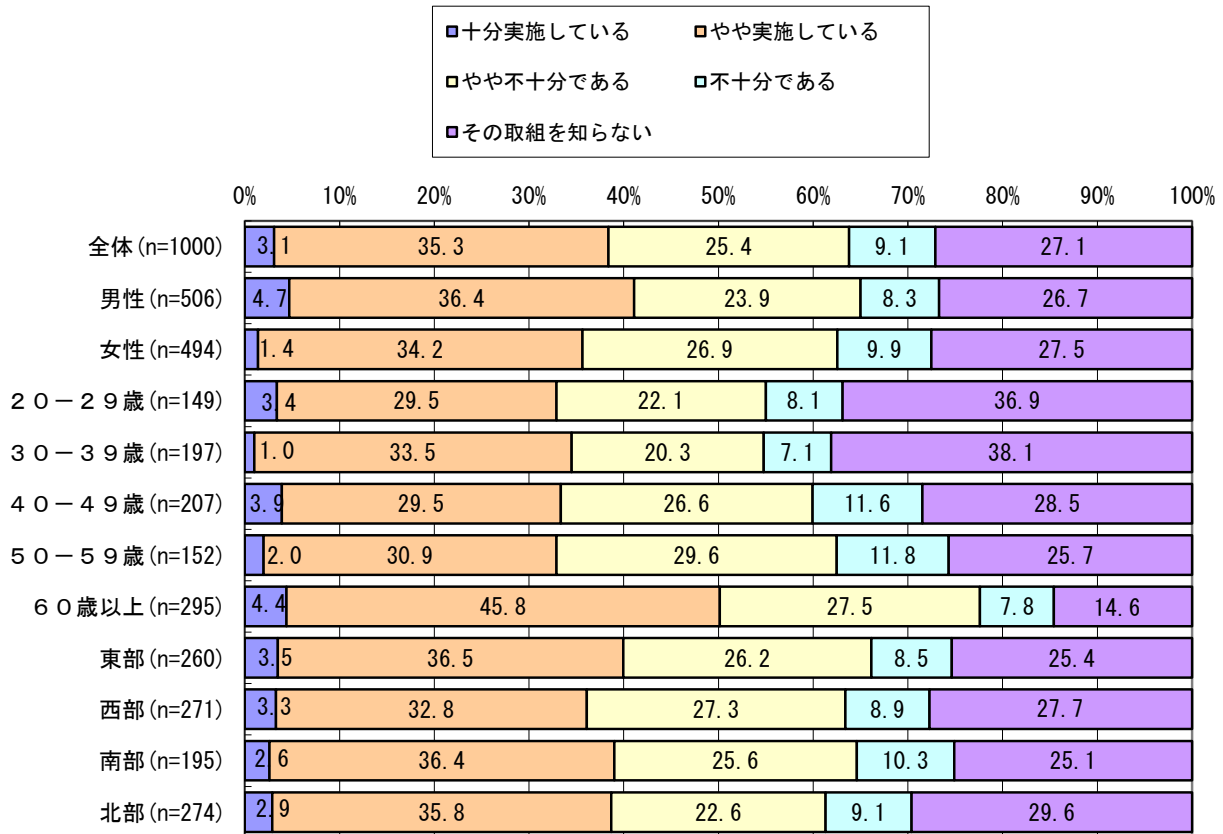
9. 水の循環機能の強化



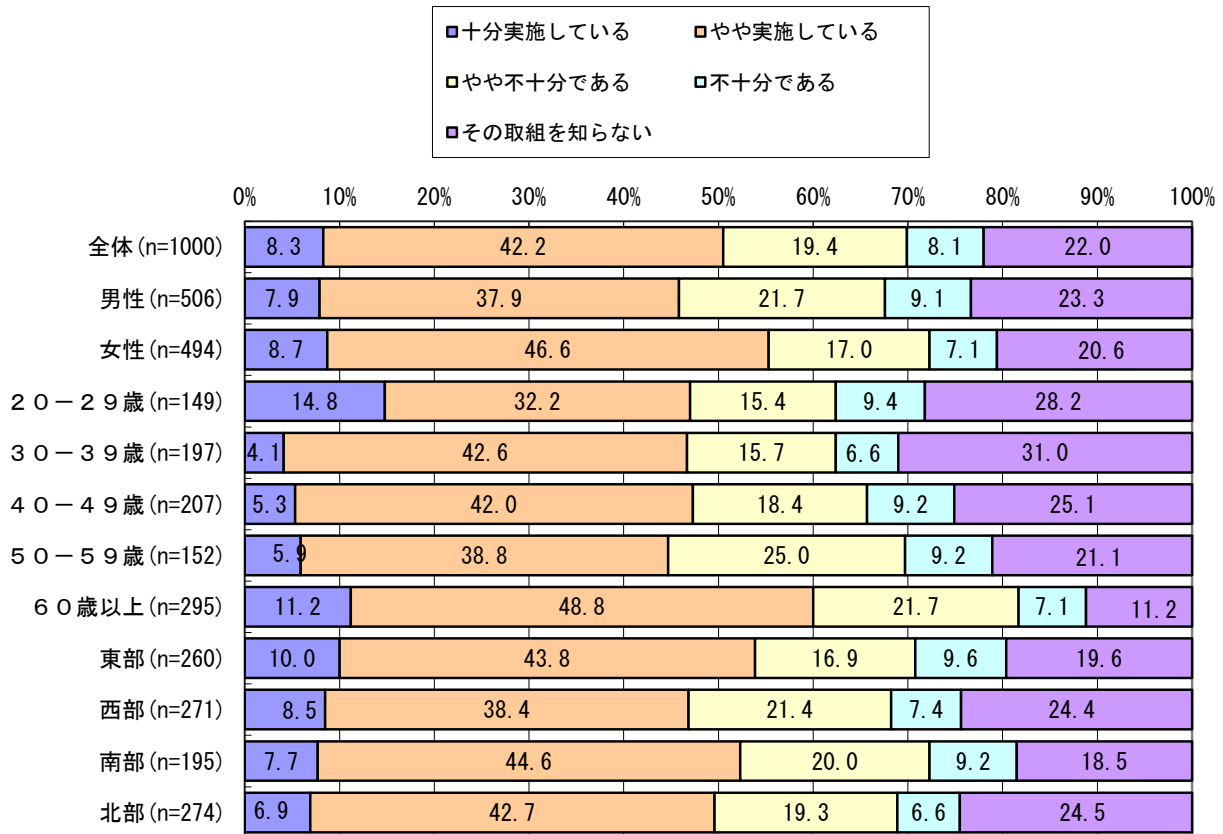
10. ごみの減量・リサイクル (3Rの推進)



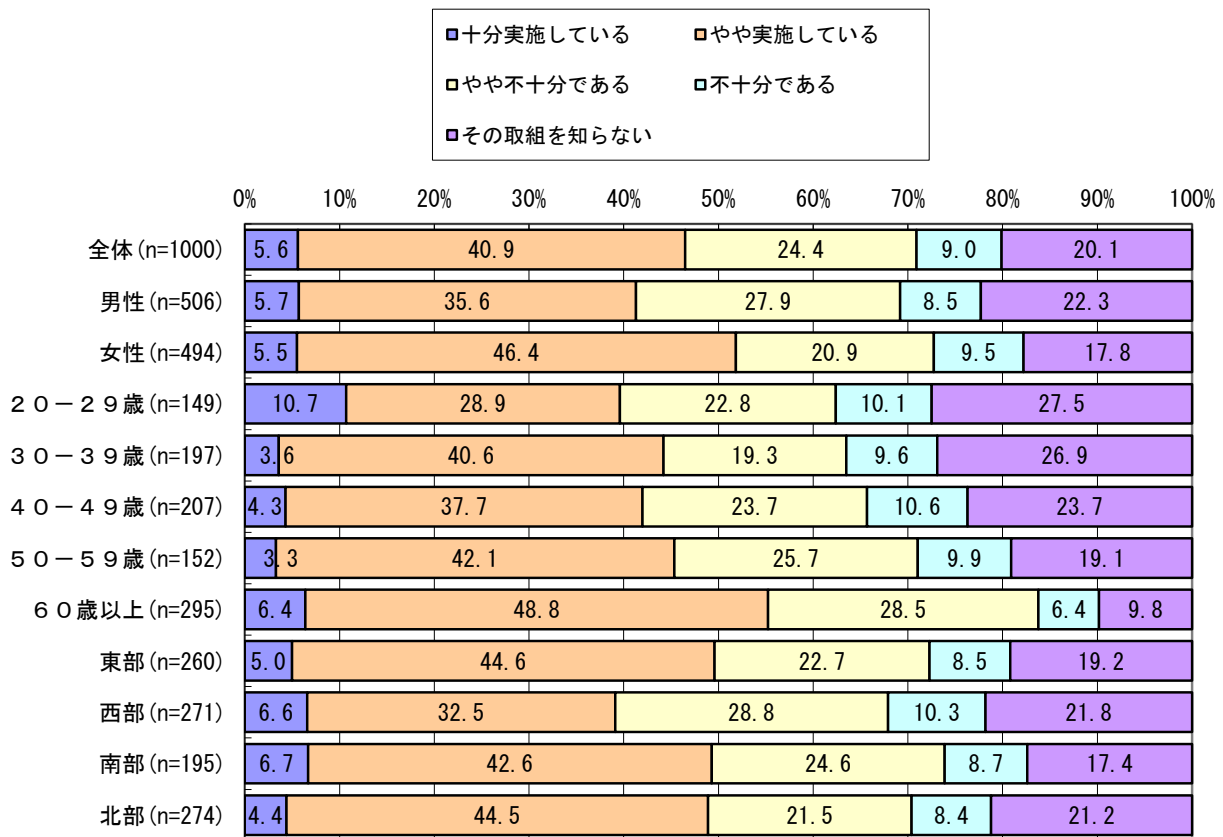
11. 生活環境の保全（公害対策）



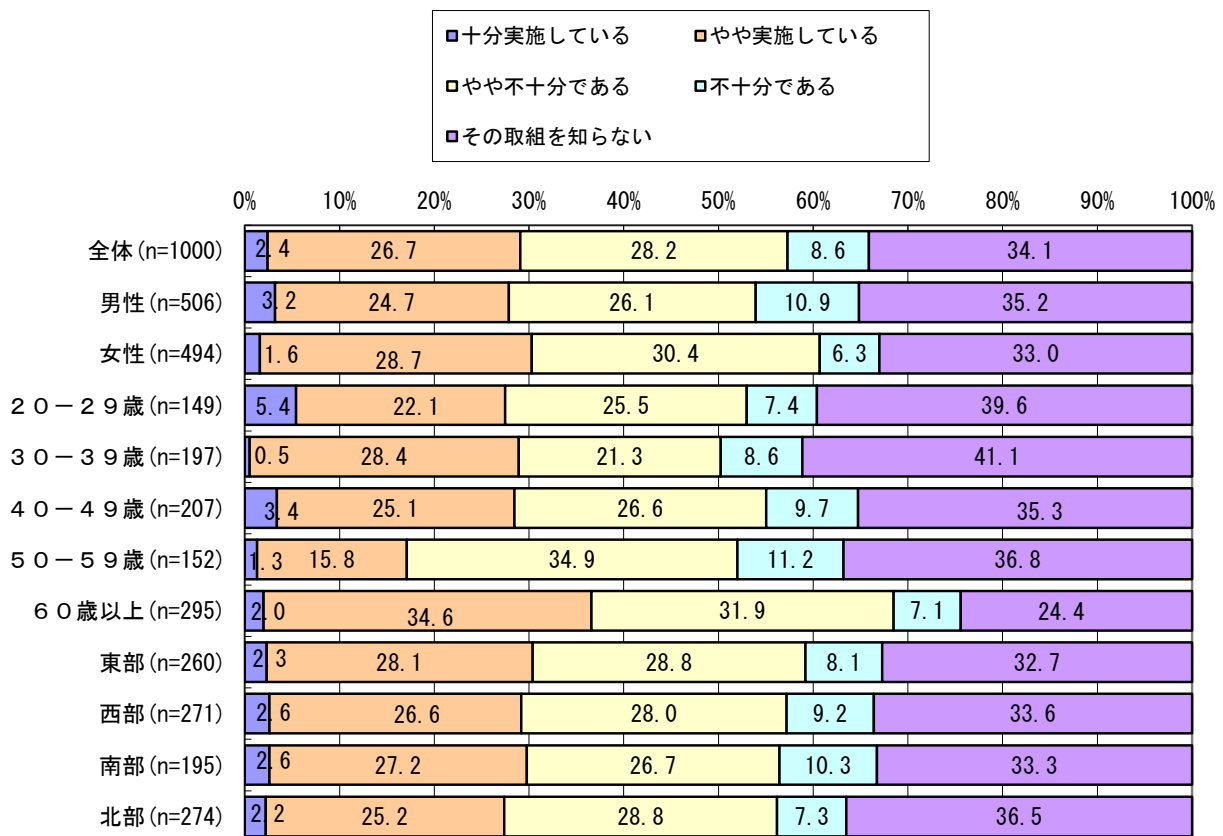
12. 横浜らしい景観の保全



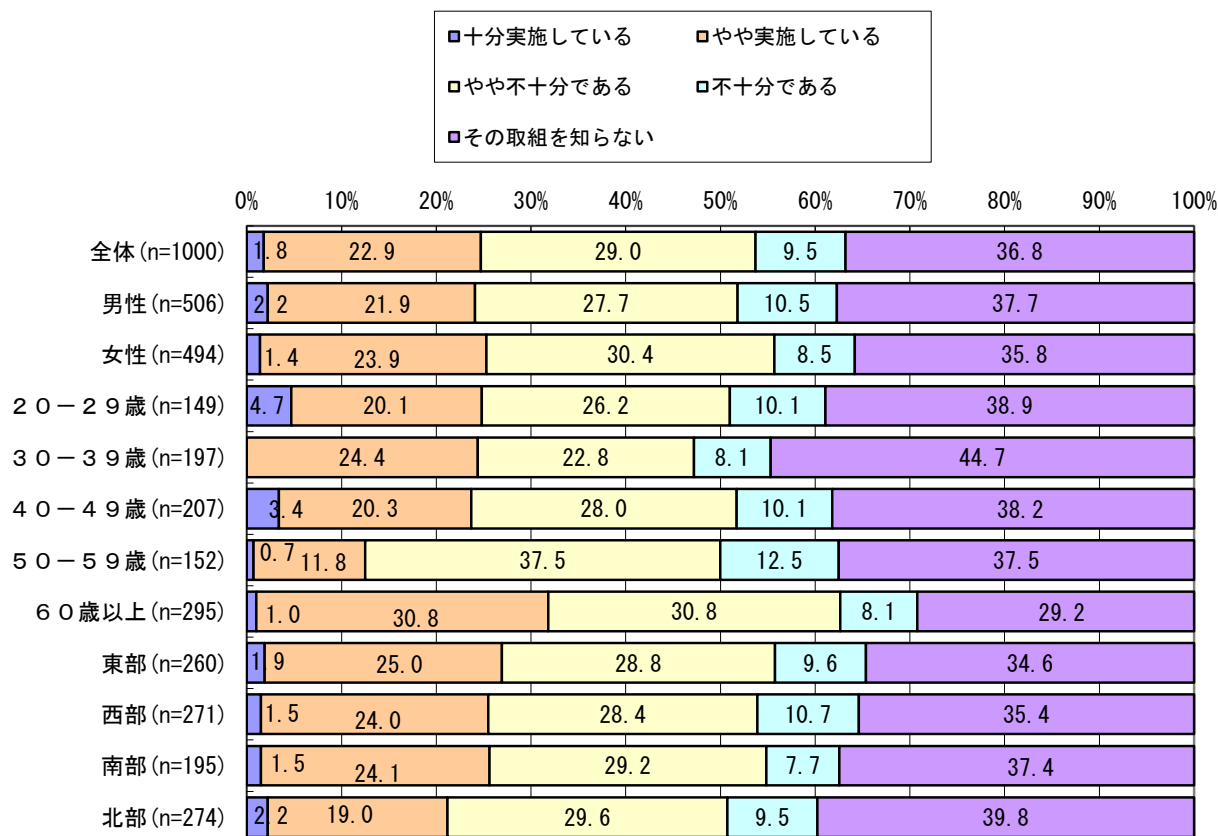
13. まちの美化



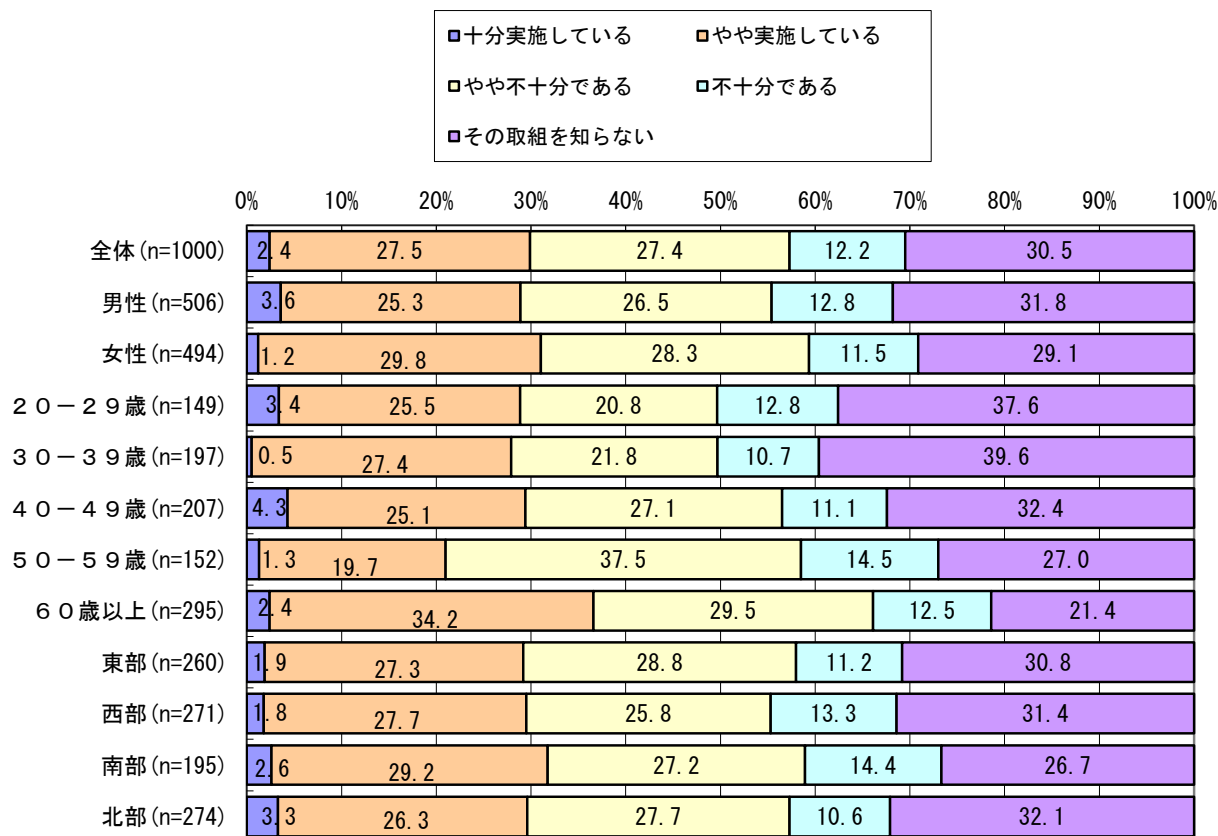
14. 環境教育・環境学習の推進



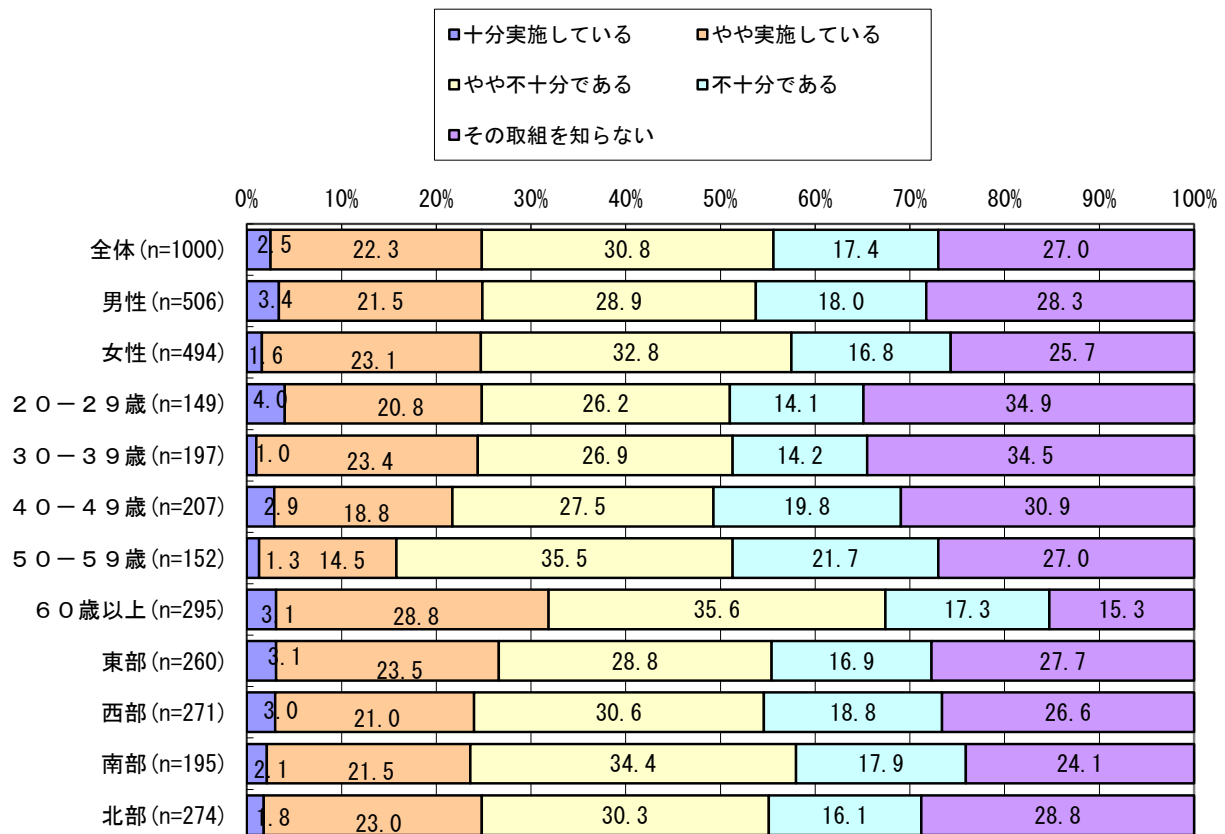
15. 環境配慮型製品の普及



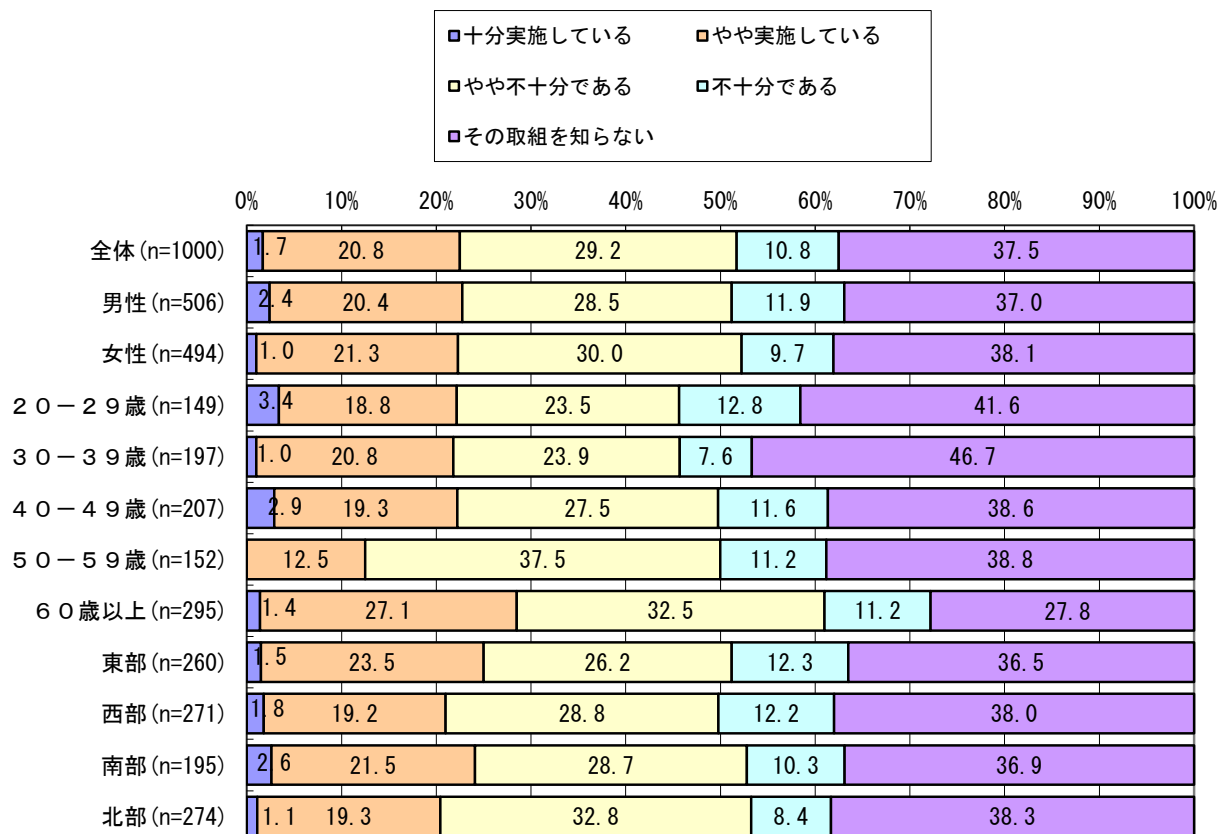
16. 道路整備や再開発事業等における環境配慮



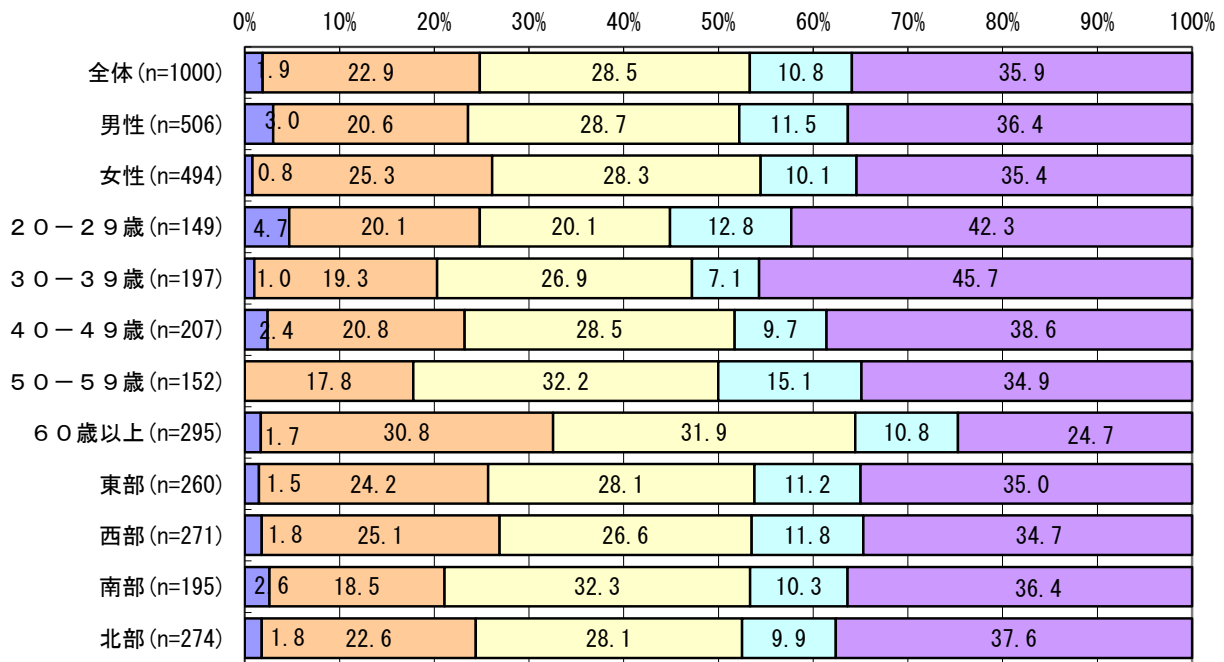
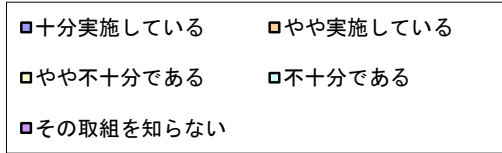
17. 情報の周知



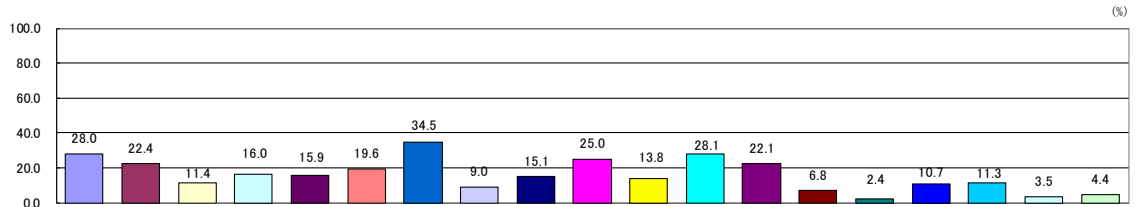
18. 技術開発、調査研究



19. 市民、環境活動団体、事業者等の環境活動への支援、協働

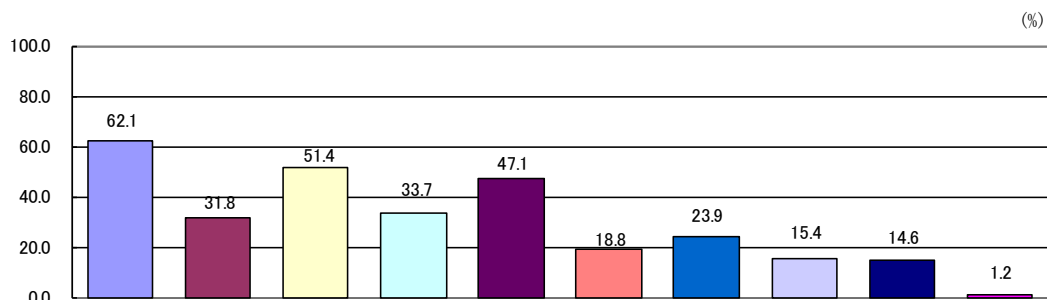


Q34. Q33の1~19のうち、今後、横浜市に優先的に取り組んで欲しい事項は何ですか。3つお選びください。



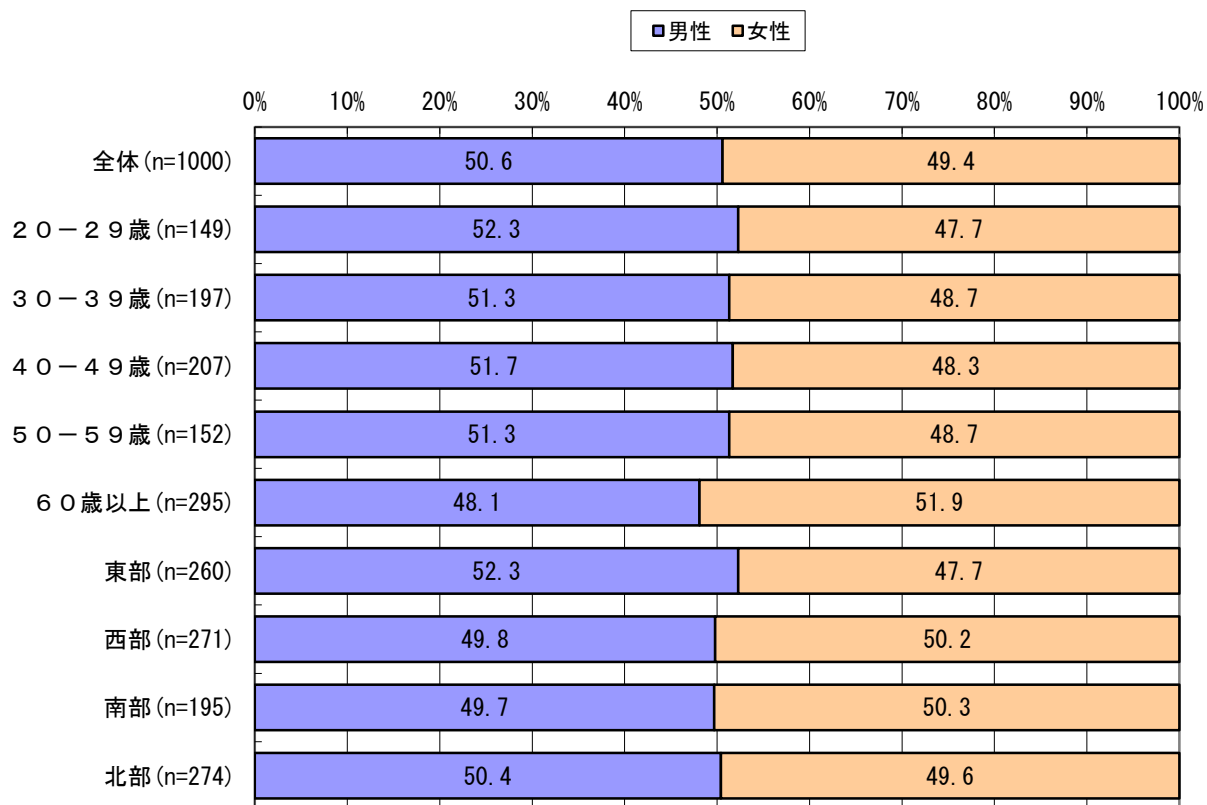
	地球温暖化防止への取組	省エネルギーの利用や新エネルギーの普及	次世代自動車等の普及	燃料電池自動車等の普及	全生物多様性の保全、再生、創造	た緑の保全	郊外部のまとまった緑の保全	街路緑化の創出	都市臨海部など市の緑の創出	公園や道路、河川沿いの緑の保全・創出	農地の保全	水の循環機能の強化	ごみの減量・リサイクル(3Rの推進)	生活環境の保全(公害対策)	横浜らしい景観の保全	まちの美化	環境教育・環境学習の推進	環境配慮型製品の普及	産業等における環境配慮	道路整備や再開発事業	情報の周知	技術開発、調査研究	市民、環境活動団体、事業者等の環境活動への支援、協働
全体(n=1000)	28.0	22.4	11.4	16.0	15.9	19.6	34.5	9.0	15.1	25.0	13.8	28.1	22.1	6.8	2.4	10.7	11.3	3.5	4.4				
男性(n=506)	26.3	21.9	16.0	16.4	16.8	22.7	37.9	9.3	13.0	21.5	11.9	26.5	20.6	6.9	1.8	9.7	11.1	4.2	5.5				
女性(n=494)	29.8	22.9	6.7	15.6	15.0	16.4	31.0	8.7	17.2	28.5	15.8	29.8	23.7	6.7	3.0	11.7	11.5	2.8	3.2				
20-29歳(n=149)	28.2	22.8	14.1	15.4	16.1	20.1	28.9	6.0	16.1	26.8	10.1	28.2	24.2	5.4	2.0	8.7	9.4	8.1	9.4				
30-39歳(n=197)	23.9	29.4	10.7	17.3	10.7	18.3	31.0	8.6	13.2	24.4	12.7	29.4	30.5	10.2	2.5	9.1	10.2	5.6	2.5				
40-49歳(n=207)	23.7	21.3	17.4	15.9	15.5	16.4	35.3	10.6	12.1	24.6	15.0	27.5	22.7	7.7	3.9	10.6	11.6	1.9	6.3				
50-59歳(n=152)	28.3	19.7	5.9	16.4	15.8	21.7	34.2	11.2	20.4	25.0	10.5	29.6	22.4	5.9	1.3	9.9	15.1	2.0	4.6				
60歳以上(n=295)	33.6	19.7	9.2	15.3	19.7	21.4	39.3	8.5	15.3	24.7	17.3	26.8	14.9	5.1	2.0	13.2	10.8	1.7	1.7				
東部(n=260)	28.5	21.5	9.6	16.9	13.1	21.5	34.6	7.7	15.0	23.8	12.7	33.1	27.3	6.5	3.1	8.8	8.1	3.5	4.6				
西部(n=271)	29.2	23.6	12.5	14.8	17.3	17.7	39.9	8.5	11.4	25.5	16.2	25.5	20.3	7.7	1.1	13.7	9.6	1.5	4.1				
南部(n=195)	27.7	19.0	10.8	16.4	15.4	19.0	30.8	8.7	19.0	29.7	12.3	31.3	21.0	4.1	3.1	10.3	12.8	4.6	4.1				
北部(n=274)	26.6	24.5	12.4	16.1	17.5	20.1	31.8	10.9	16.1	22.3	13.5	23.7	19.7	8.0	2.6	9.9	15.0	4.7	4.7				

Q35. 東日本大震災が発生して3年以上が経過しました。今後、本市が災害・減災の取組として優先的に環境施策で取り組むべきと思われることを次のうち、3つお選びください。

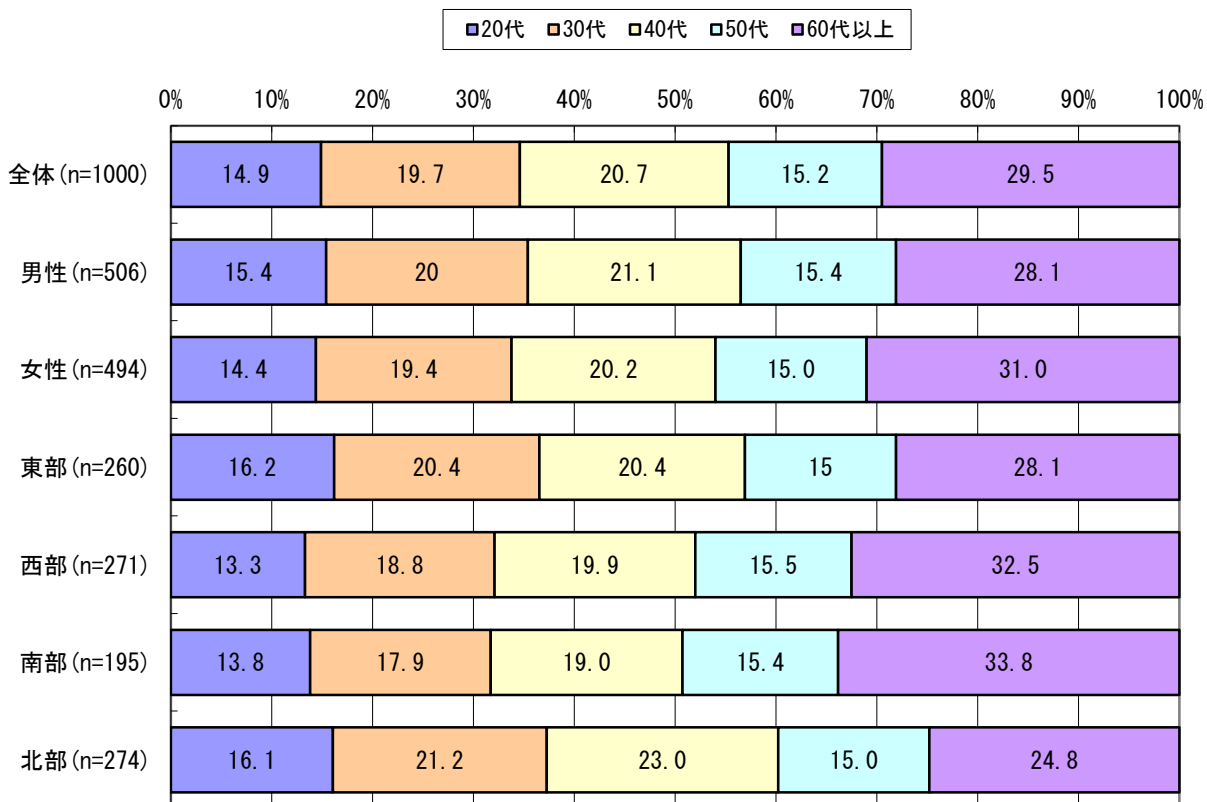


	ハザードマップの作成	省エネや節電対策の継続的な普及啓発	防災拠点（避難所）において自立的に電源を確保するために、太陽光発電等の再生可能エネルギーや蓄電池を利用した非常電源の設置	津波、高潮、洪水などによる浸水への対策（防潮堤、護岸等の点検、整備）	災害に強い下水道施設の整備	河川施設の防災対策	災害廃棄物（し尿・ごみ）の処理方法の検討	市内の環境中の放射線測定結果の情報提供	放射性物質による汚染への対策	その他
全体(n=1000)	62.1	31.8	51.4	33.7	47.1	18.8	23.9	15.4	14.6	1.2
男性(n=506)	61.9	36.8	53.8	34.6	45.3	17.8	23.5	14.6	10.7	1.2
女性(n=494)	62.3	26.7	49.0	32.8	49.0	19.8	24.3	16.2	18.6	1.2
20-29歳(n=149)	64.4	32.2	43.0	45.6	43.6	21.5	17.4	16.8	15.4	-
30-39歳(n=197)	61.9	34.0	50.3	35.5	38.6	23.9	20.8	14.2	20.3	0.5
40-49歳(n=207)	63.3	31.9	48.3	34.3	48.3	17.4	24.6	16.4	13.5	1.9
50-59歳(n=152)	57.2	33.6	58.6	32.9	48.7	18.4	23.0	12.5	12.5	2.6
60歳以上(n=295)	62.7	29.2	54.9	26.4	52.9	15.3	29.2	16.3	12.2	1.0
東部(n=260)	59.6	30.4	50.0	44.6	41.2	19.2	24.6	12.3	16.5	1.5
西部(n=271)	67.9	33.6	46.1	32.5	47.2	18.1	23.6	15.5	13.7	1.8
南部(n=195)	56.9	28.7	57.9	32.3	52.3	15.4	25.1	17.9	12.8	0.5
北部(n=274)	62.4	33.6	53.3	25.5	48.9	21.5	22.6	16.4	15.0	0.7

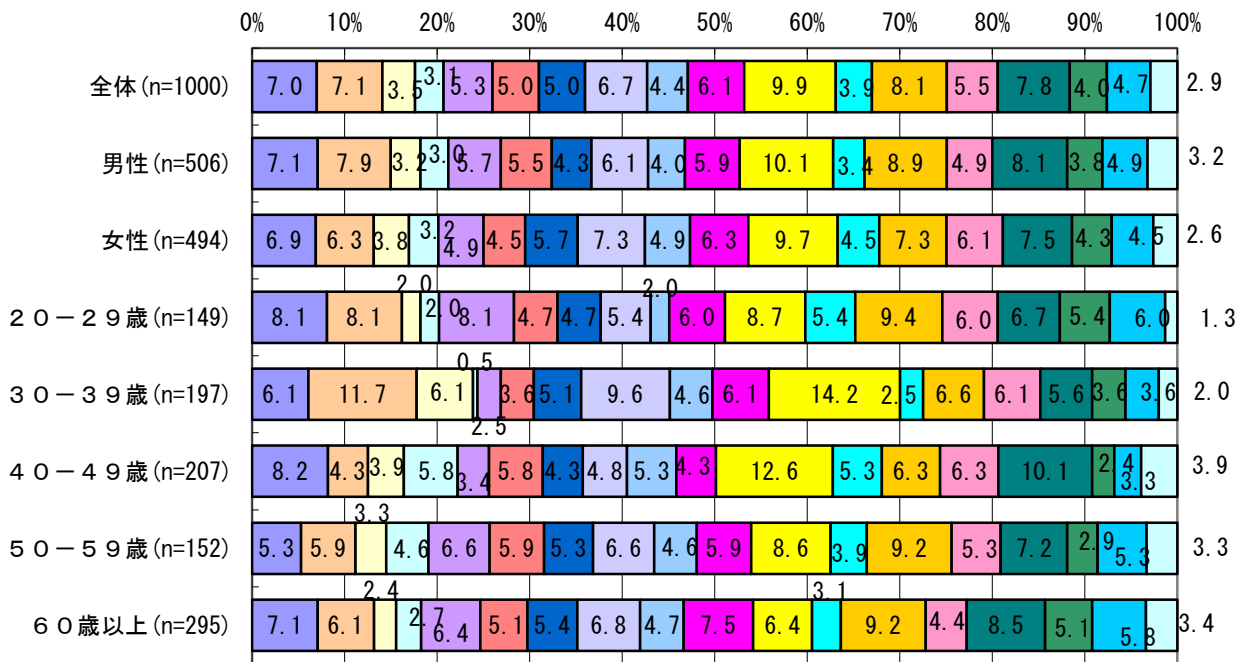
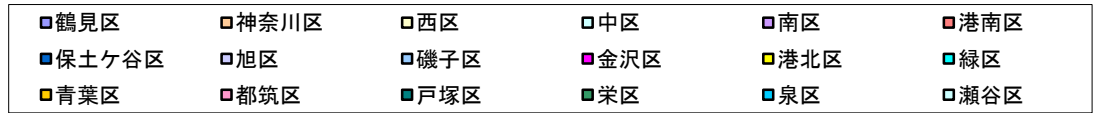
性別



年代



居住地区



職業

